

**「第二次湖南省総合計画後期基本計画」
策定に係る
まちづくりアンケート調査
結果報告書**

令和2年3月

湖南省

【 目 次 】

第1部 調査の概要

1. 調査対象	2
2. 調査方法	2
3. 調査基準日	2
4. 調査期間	2
5. 回収率	2

第2部 一般市民調査結果

1. 回答者の属性	4
2. 住みごころ	5
1) 住みごころ	5
2) 住みごころの理由	8
3. まちの将来イメージ	16
4. まちづくりへの市民参加	19
1) まちづくりで市民が参加できること	19
2) まちづくりで自分が参加できること	21
5. 湖南市の取り組みに関する満足度	23
1) 満足度	23
2) 満足度の点数化による比較	25
6. 今後のまちづくりに必要なこと	28
1) 重要度	28
2) 人権尊重のまちづくり	30
3) 自立・自助のまちづくり	33
4) 自然を活かし、自然と共生するまちづくり	36
5) 産業がさかんで賑わいのあるまちづくり	38
6) 健康で暮らし続けられるまちづくり	40
7) 安全で安心なまちづくり	43
8) 誇りとなる市民文化を創造するまちづくり	46
9) 定住・移住に必要な取り組み	49
7. 自由記述	51

第3部 中学生調査結果

1. 回答者の属性	54
2. いまの湖南省について	55
1) 湖南省が好きかどうか	55
2) 好きな(好きでない)理由	57
3. まちづくりへの参加について	63
4. 将来のことについて	65
1) 定住意向	65
2) 定住意向理由	67
5. 湖南省の将来のイメージについて	73
6. 自由記述	76

第4部 高校生調査結果

1. 回答者の属性	78
2. いまの湖南省について	79
1) 湖南省が好きかどうか	79
2) 好きな(好きでない)理由	81
3. 湖南省の将来のイメージについて	87
4. 結婚や子どものことについて	91
1) 結婚について	91
2) 子どものいる暮らしについて	93
5. 将来のことについて	95
1) 定住意向	95
2) 定住意向理由	97
3) Uターン意向	101
6. 自由記述	103

第1部 調査の概要

1. 調査対象

一般市民：市内に在住する16歳以上の住民4,000人を無作為抽出

中学生：市内の中学校に在籍する2年生および3年生949人

高校生：市内の高校に在籍する2年生352人

2. 調査方法

一般市民：郵送による配布・回収

中学生：教員による直接配布・回収

高校生：教員による直接配布・回収

3. 調査基準日

令和元年（2019年）11月1日

4. 調査期間

令和元年（2019年）11月29日から令和元年（2019年）12月27日まで

5. 回収率

	配 布 数	有 効 回 答 数	回 収 率
一 般 市 民	4,000	1,041	26.0%
中 学 生	949	859	90.5%
高 校 生	352	337	95.7%

第2部 一般市民調查結果

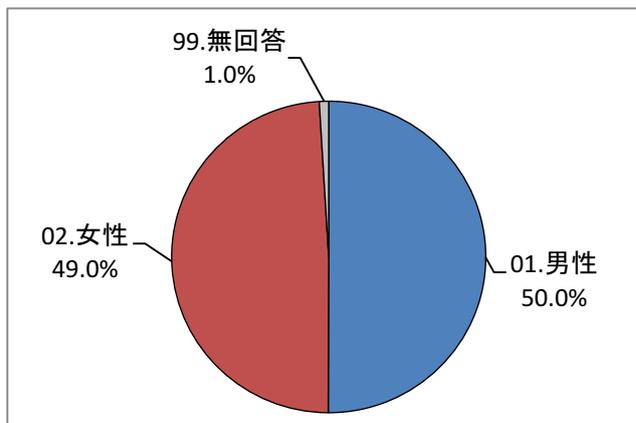
1. 回答者の属性

一般

◆あなたの性別（1つ選択）

◆回答者の性別

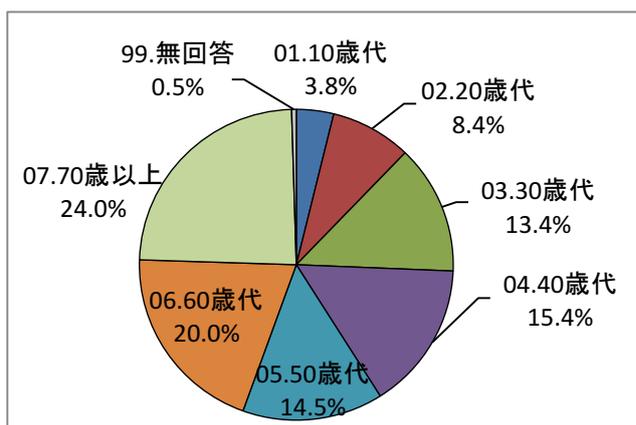
性別	回収数	構成比
01. 男性	521	50.0%
02. 女性	510	49.0%
99. 無回答	10	1.0%
合計	1,041	100.0%



◆あなたの年齢（1つ選択）

◆回答者の年齢

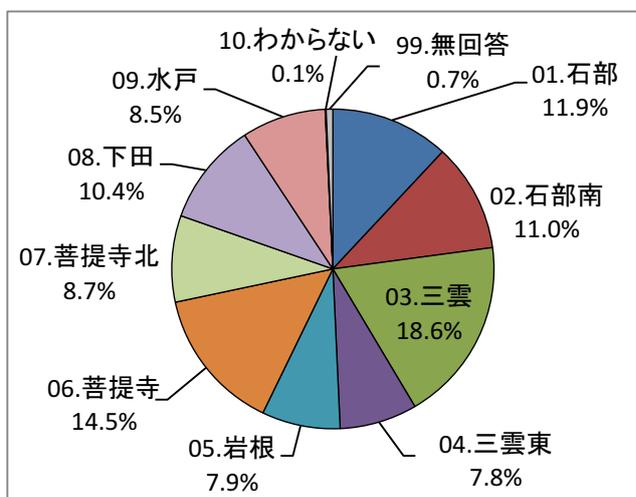
年齢別	回収数	構成比
01. 10歳代	40	3.8%
02. 20歳代	87	8.4%
03. 30歳代	140	13.4%
04. 40歳代	160	15.4%
05. 50歳代	151	14.5%
06. 60歳代	208	20.0%
07. 70歳以上	250	24.0%
99. 無回答	5	0.5%
合計	1,041	100.0%



◆あなたのお住まいの地域（1つ選択）

◆回答者の居住地

地区別	回収数	構成比
01. 石部小学校区	124	11.9%
02. 石部南小学校区	114	11.0%
03. 三雲小学校区	194	18.6%
04. 三雲東小学校区	81	7.8%
05. 岩根小学校区	82	7.9%
06. 菩提寺小学校区	151	14.5%
07. 菩提寺北小学校区	91	8.7%
08. 下田小学校区	108	10.4%
09. 水戸小学校区	88	8.5%
10. わからない	1	0.1%
99. 無回答	7	0.7%
合計	1,041	100.0%



2. 住みごこち

1) 住みごこち

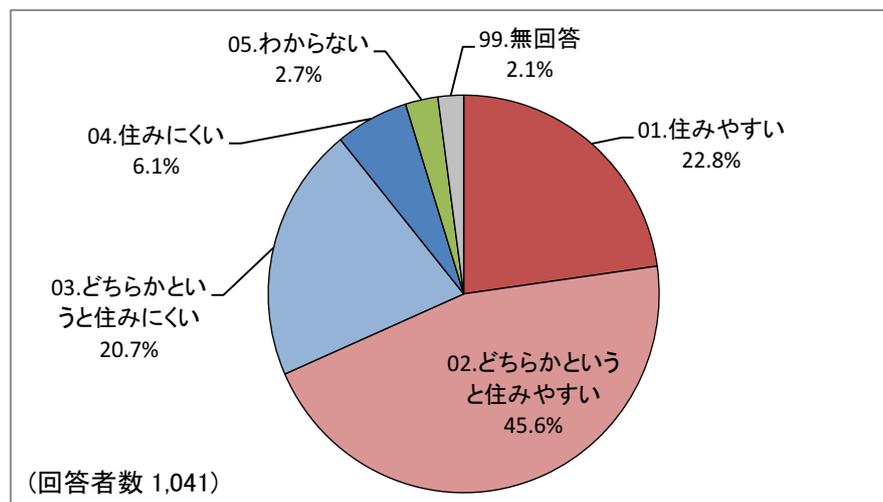
一般 湖南省が住みやすいかどうか

問1：湖南省は、住みやすいと思いますか。（1つ選択）

(1) 全体の傾向

現在の住みごこちに対する評価は、「01.住みやすい」が22.8%、「02.どちらかというに住みやすい」が45.6%で、合わせると回答者の68.4%が「住みやすい」と回答しています。

一方、「03.どちらかというに住みにくい」が20.7%、「04.住みにくい」が6.1%で、合わせると回答者の26.8%が「住みにくい」と回答しています。



小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

(2) 年齢別の傾向

60歳代で「01.住みやすい」、「02.どちらかというに住みやすい」の合計が最も多く、回答者の70.2%が「住みやすい」と回答しています。次いで30歳代(70.0%)、40歳代(69.4%)、20歳代(69.0%)の順となっています。

一方、50歳代で「03.どちらかというに住みにくい」、「04.住みにくい」の合計が最も多く、回答者の33.2%が「住みにくい」と回答しています。

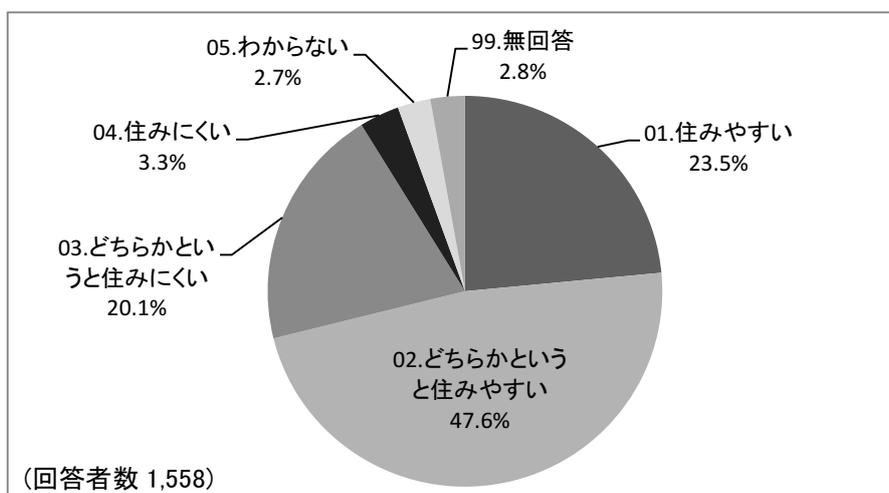
(3) 居住地区別の傾向

三雲東で「01.住みやすい」、「02.どちらかというに住みやすい」の合計が最も多く、回答者の80.3%が「住みやすい」と回答しています。次いで、水戸(78.4%)、石部(76.6%)、三雲(71.1%)の順となっています。

一方、菩提寺北で「03.どちらかというに住みにくい」、「04.住みにくい」の合計が最も多く、回答者の45.1%が「住みにくい」と回答しています。

(4) 前回調査結果(平成 26 年実施)との比較

前回の調査結果と比較すると、大きな傾向に相違はありません。今回の調査では「01. 住みやすい」「02. どちらかという住みやすい」が若干減少し、「04. 住みにくい」が若干増加しています。



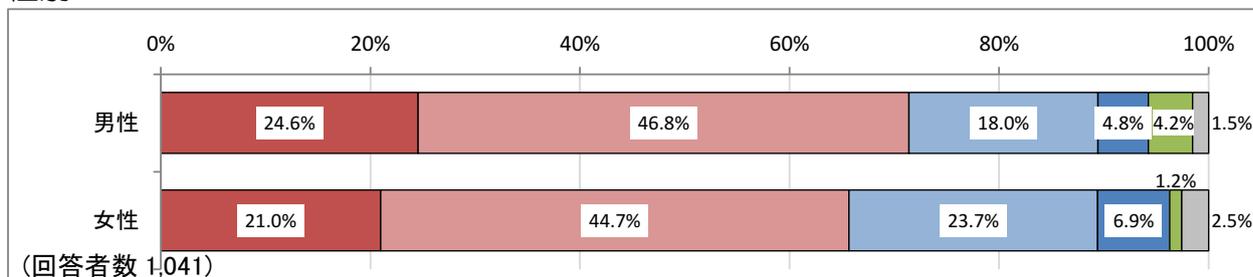
小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までを表記しているため、合計が必ずしも 100%にならない場合があります。

凡例

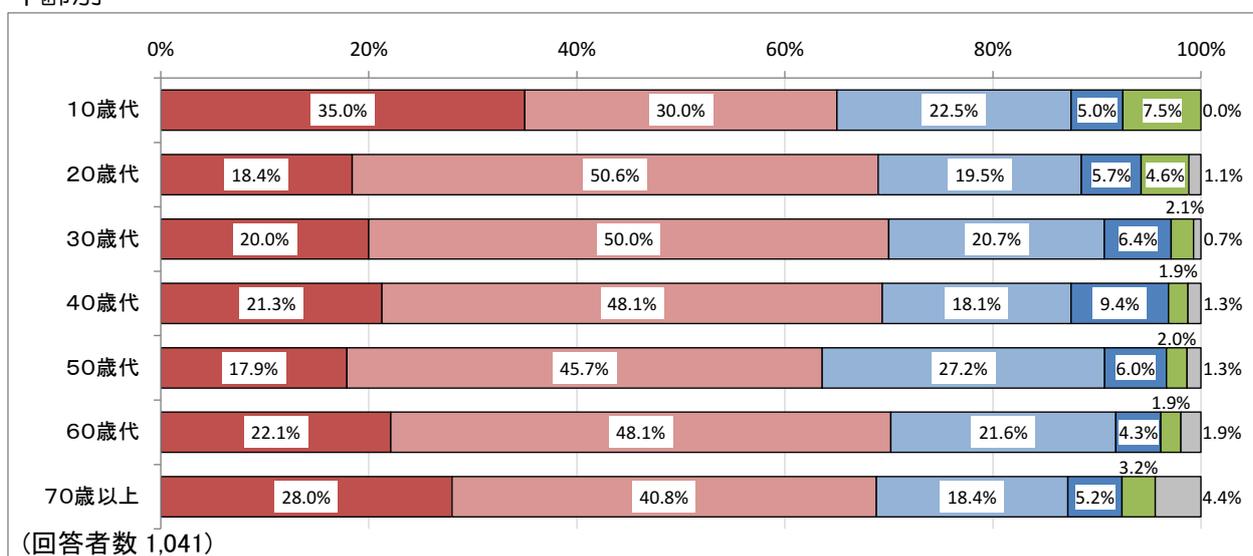
■ 01.住みやすい ■ 02.どちらかと ■ 03.どちらかと ■ 04.住みにくい ■ 05.わからない ■ 99.無回答
 いうと住みやすい いうと住みにくい

小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

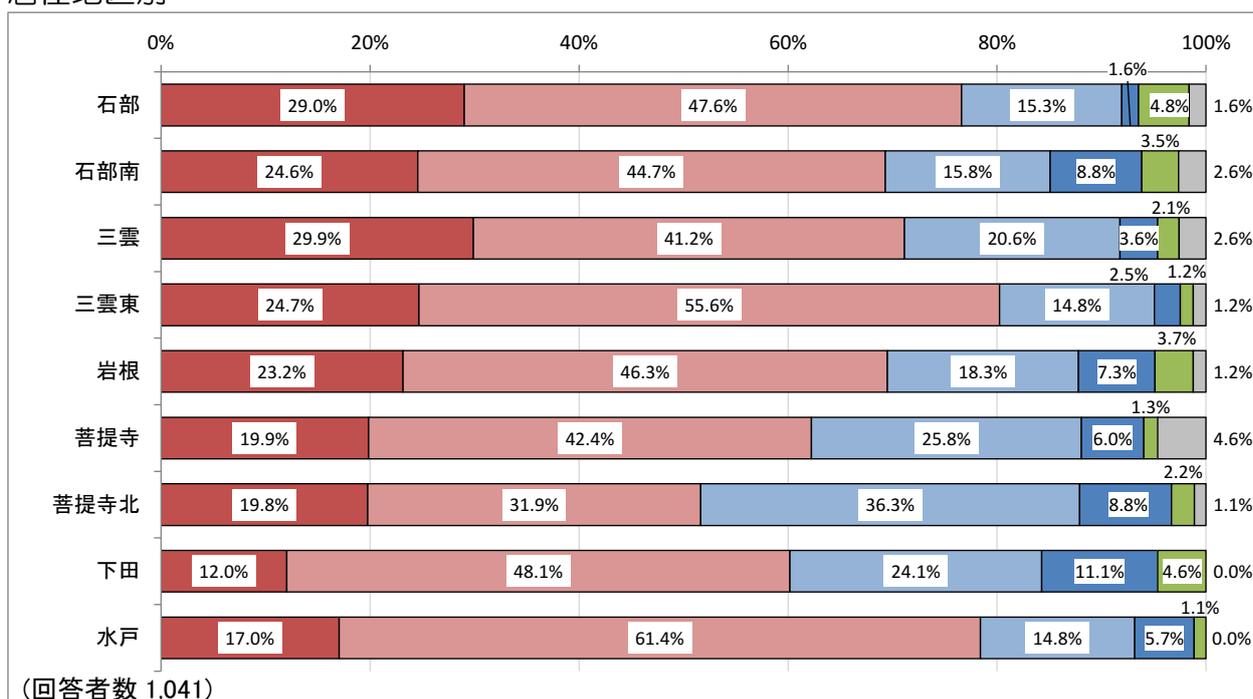
性別



年齢別



居住地区別



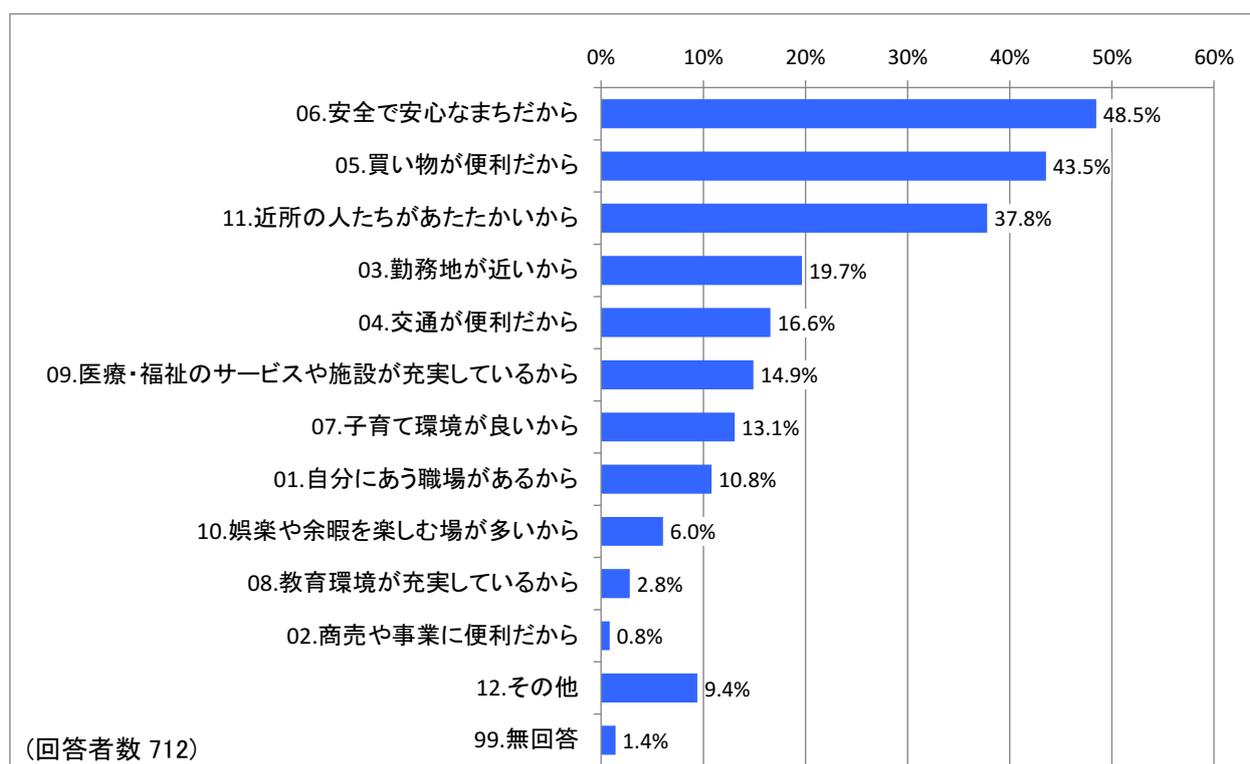
2) 住みごこちの理由

一般 住みやすい理由

問2：問1で、「01.住みやすい」、「02.どちらかというに住みやすい」を選んだ方にお聞きします。住みやすいと思う主な理由は何ですか。（3つまで選択）

(1) 全体の傾向

「住みやすい」とした方の選択理由は、「06.安全で安心なまちだから」が最も多く、回答者の48.5%が選択しています。次いで「05.買い物が便利だから」、「11.近所の人たちがあたたかいから」の順となっています。



(2) 年齢別の傾向

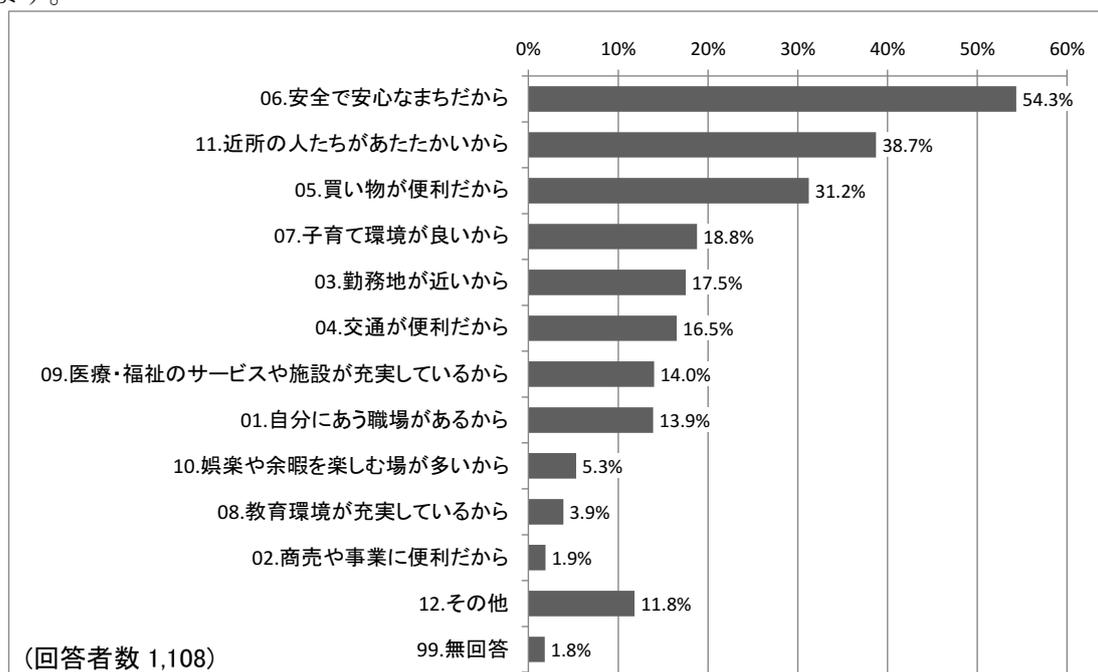
10歳代と50歳以上は「06.安全で安心なまちだから」を、20歳から40歳代は「05.買い物が便利だから」を選択する割合が最も高くなっています。

(3) 居住地区別の傾向

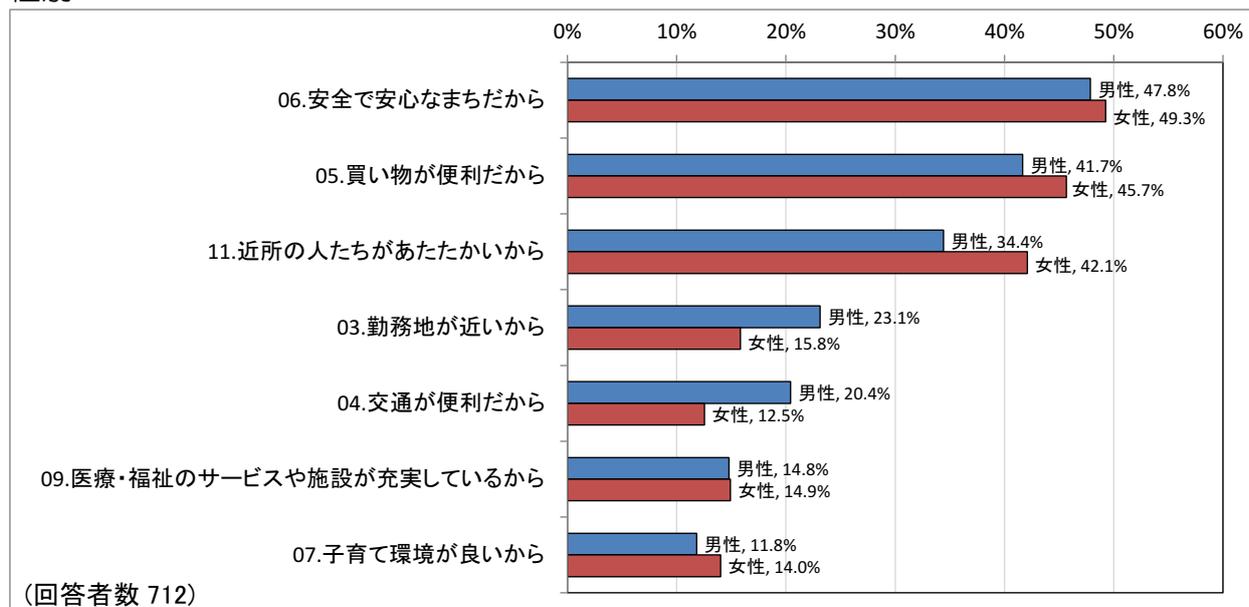
菩提寺・菩提寺北・下田は「06.安全で安心なまちだから」を、石部・三雲・三雲東・岩根・水戸は「05.買い物が便利だから」を、石部南は「11.近所の人たちがあたたかいから」を選択する割合が最も高くなっています。特に菩提寺では「06.安全で安心なまちだから」が、岩根は「05.買い物が便利だから」が60%を超えています。また「05.買い物が便利だから」を選択する割合が、岩根では60%を超える一方、菩提寺・菩提寺北・下田では20%台と地域差がみられます。

(4) 前回調査報告(平成27年1月)との比較

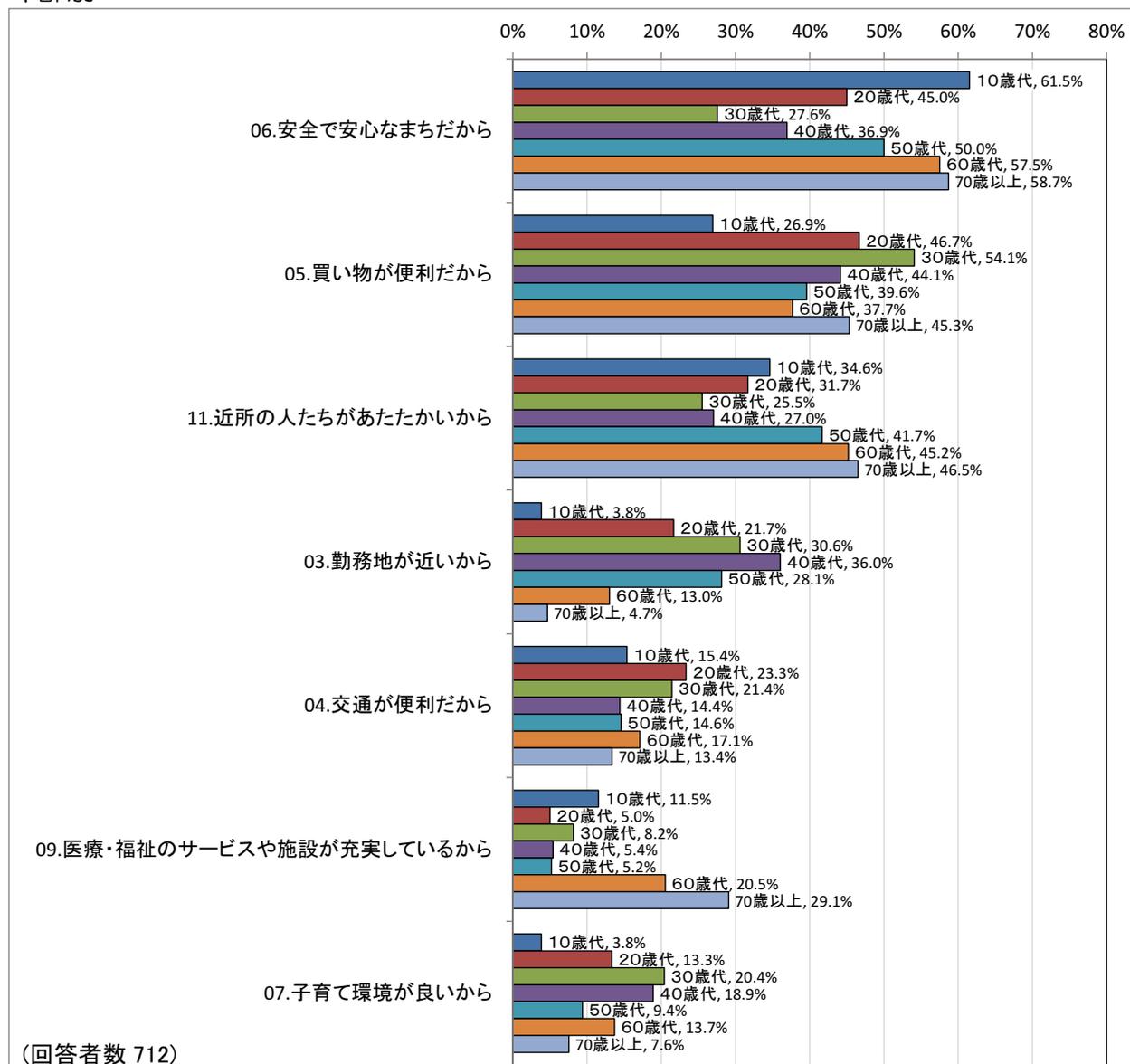
前回の調査結果と比較すると、「05. 買い物が便利だから」を選択する割合が大きく上昇しています。



性別

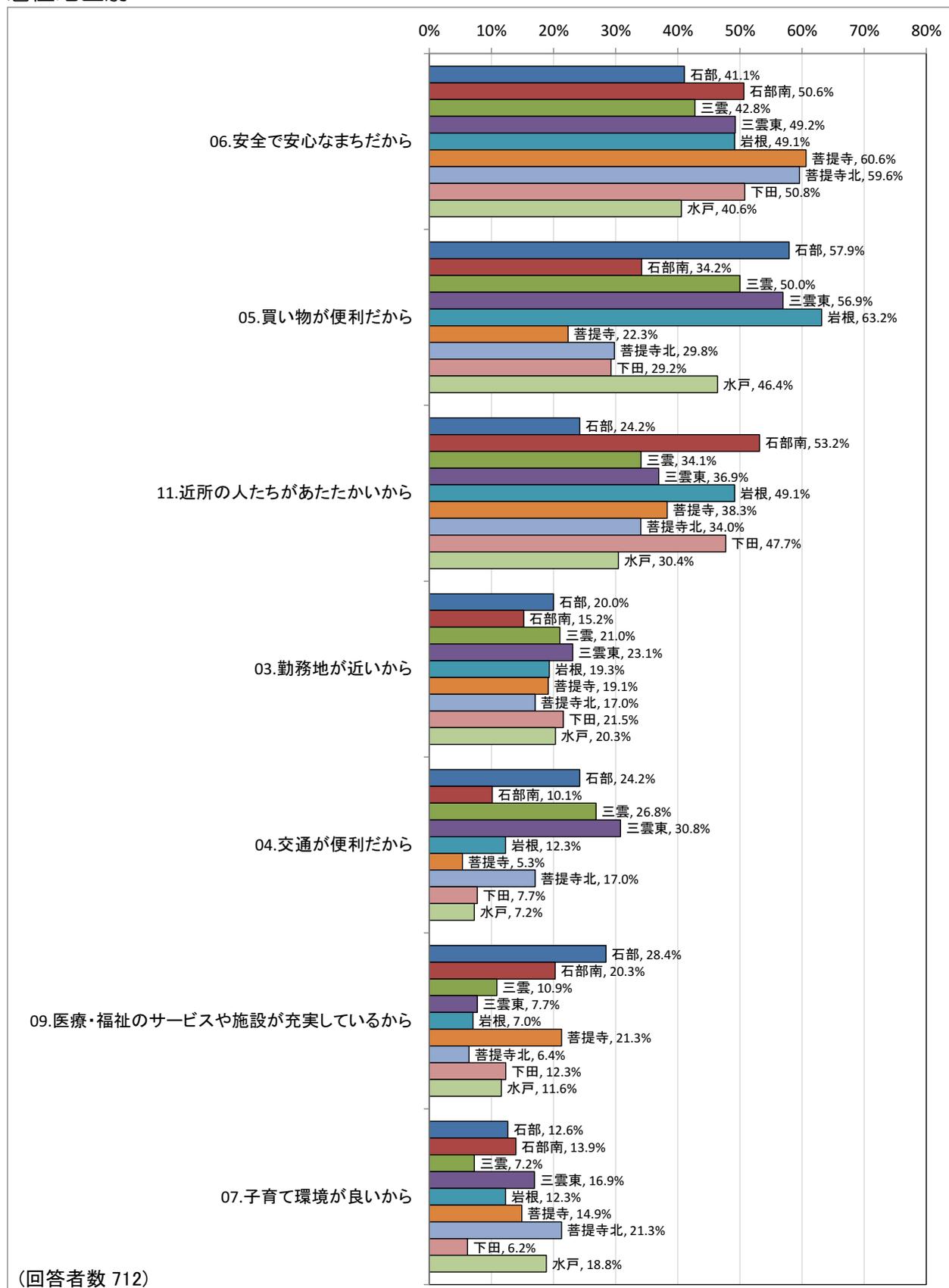


年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

居住地区別

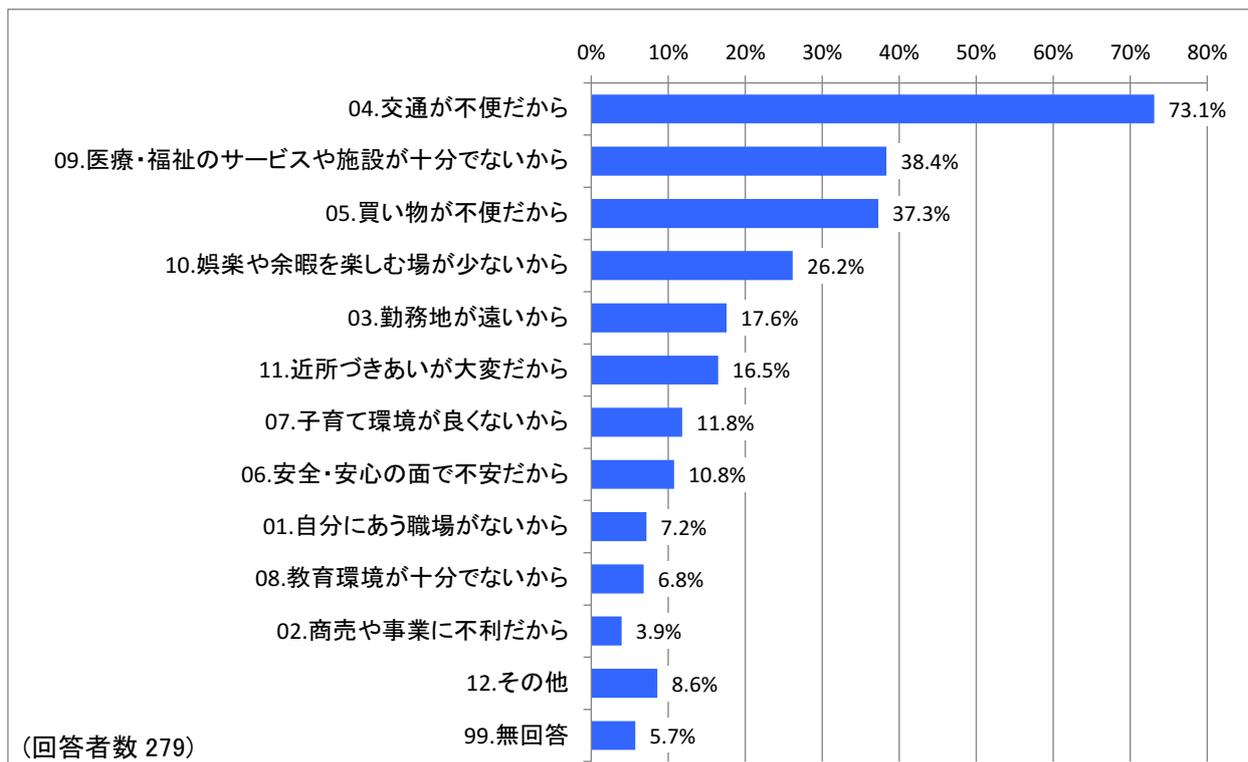


(選択率の高い、上位7位までを表示)

問3：問1で、「03.どちらかという住みにくい」、「04.住みにくい」を選んだ方にお聞きします。住みにくいと思う主な理由は何ですか。（3つまで選択）

(1) 全体の傾向

「住みにくい」とした方の選択理由は、「04. 交通が不便だから」が最も多く、回答者の73.1%が選択しています。次いで「09. 医療・福祉のサービスや施設が十分でないから」、「05. 買い物が不便だから」の順となっています。



(2) 年齢別の傾向

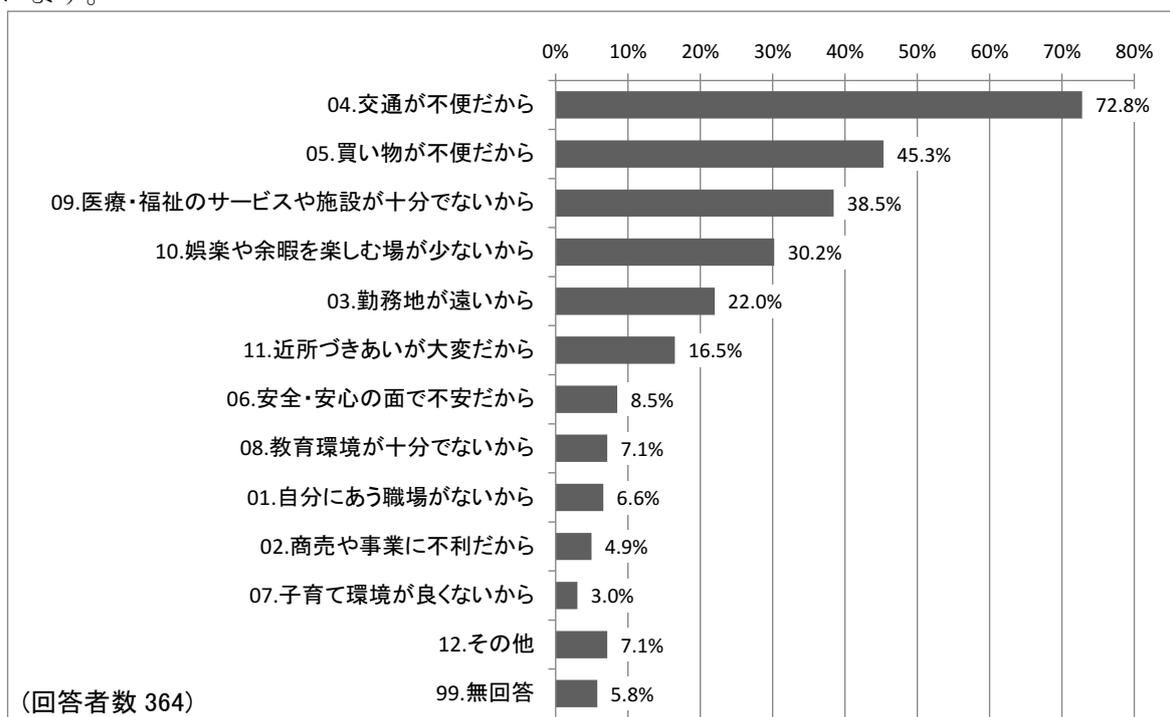
全ての年齢において、「04. 交通が不便だから」が高くなっており、特に50歳以上は回答者の80%以上が選択しています。年齢が高いほど「05. 買い物が不便だから」を選択する割合が高く、70歳以上は回答者の60%を超えています。一方、年齢が低くなるほど「10. 娯楽や余暇を楽しむ場が少ないから」を選択する割合が高く、10歳代では回答者の60%を超えています。

(3) 居住地区別の傾向

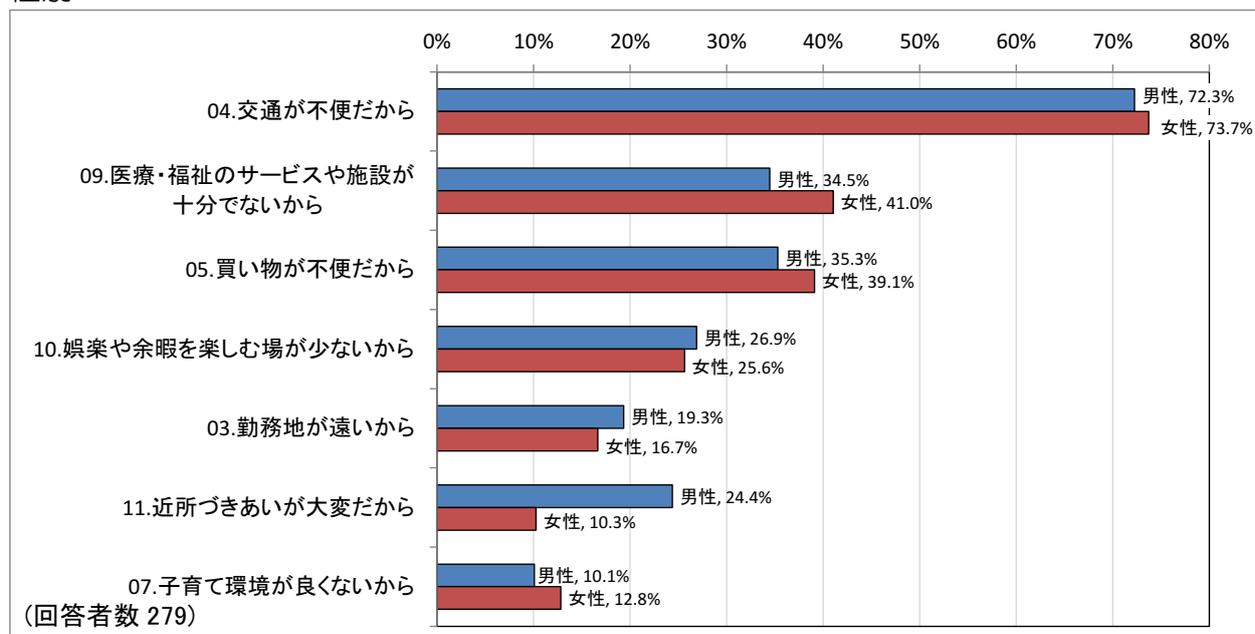
三雲東を除く全ての地区では「04. 交通が不便だから」の割合が最も高く、特に石部南では回答者の90%以上が選択しています。三雲東では「09. 医療・福祉のサービスや施設が十分でないから」の割合が最も高く、回答者の70%が選択しています。

(4) 前回調査報告（平成 26 年実施）との比較

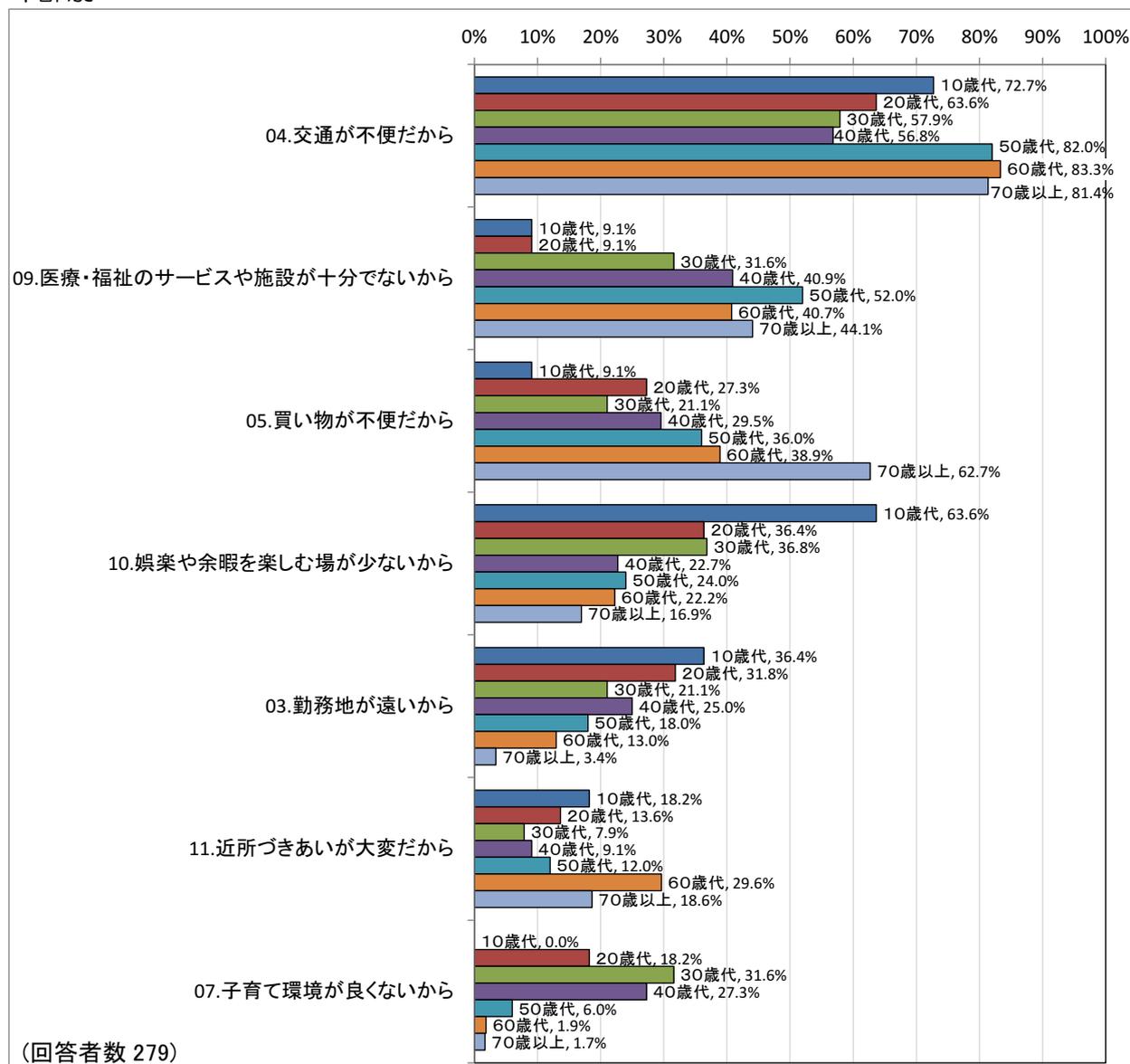
前回の調査結果と比較すると、「05. 買い物が不便だから」を選択する割合が大きく低下しています。



性別

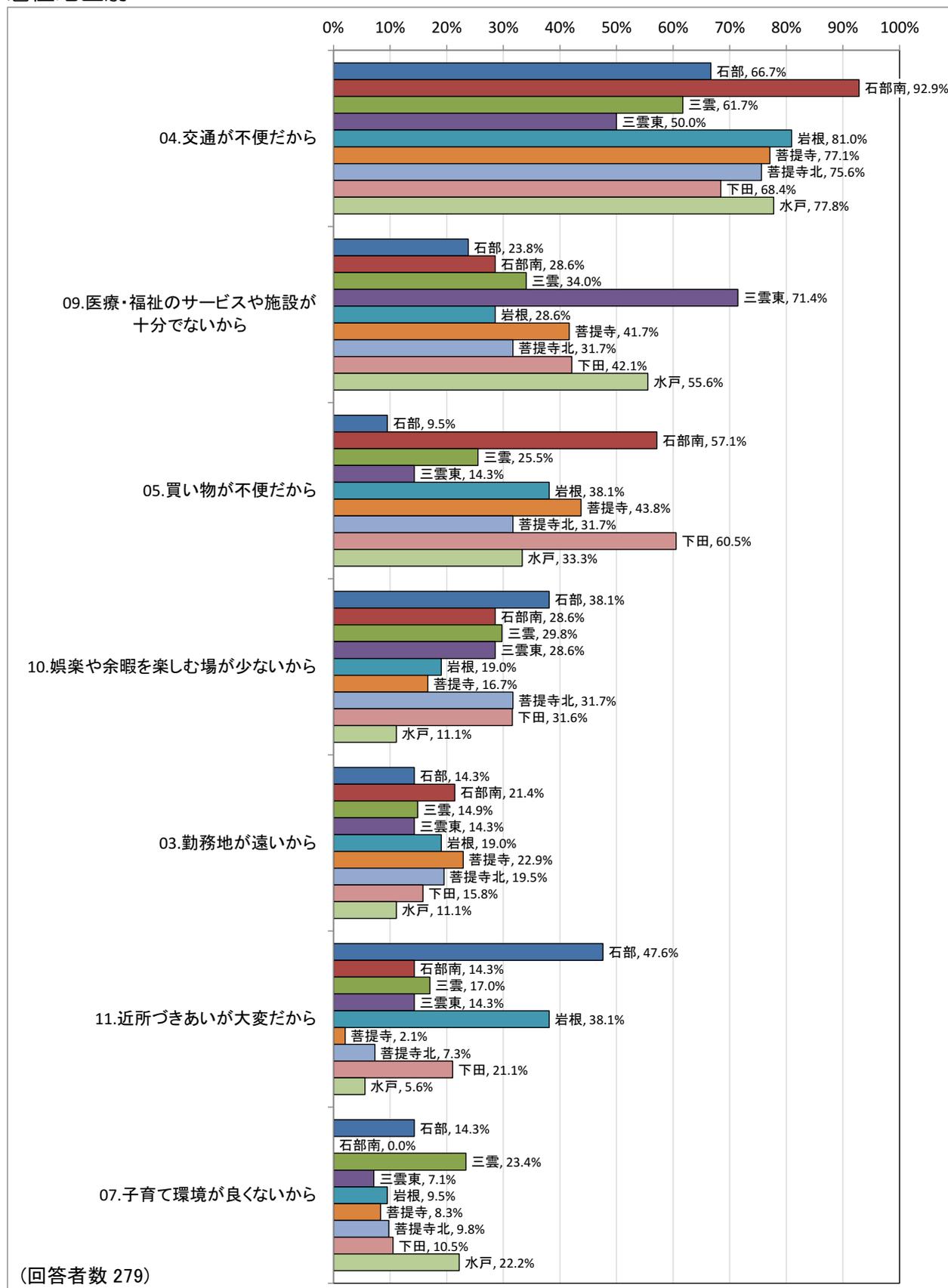


年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

居住地区別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

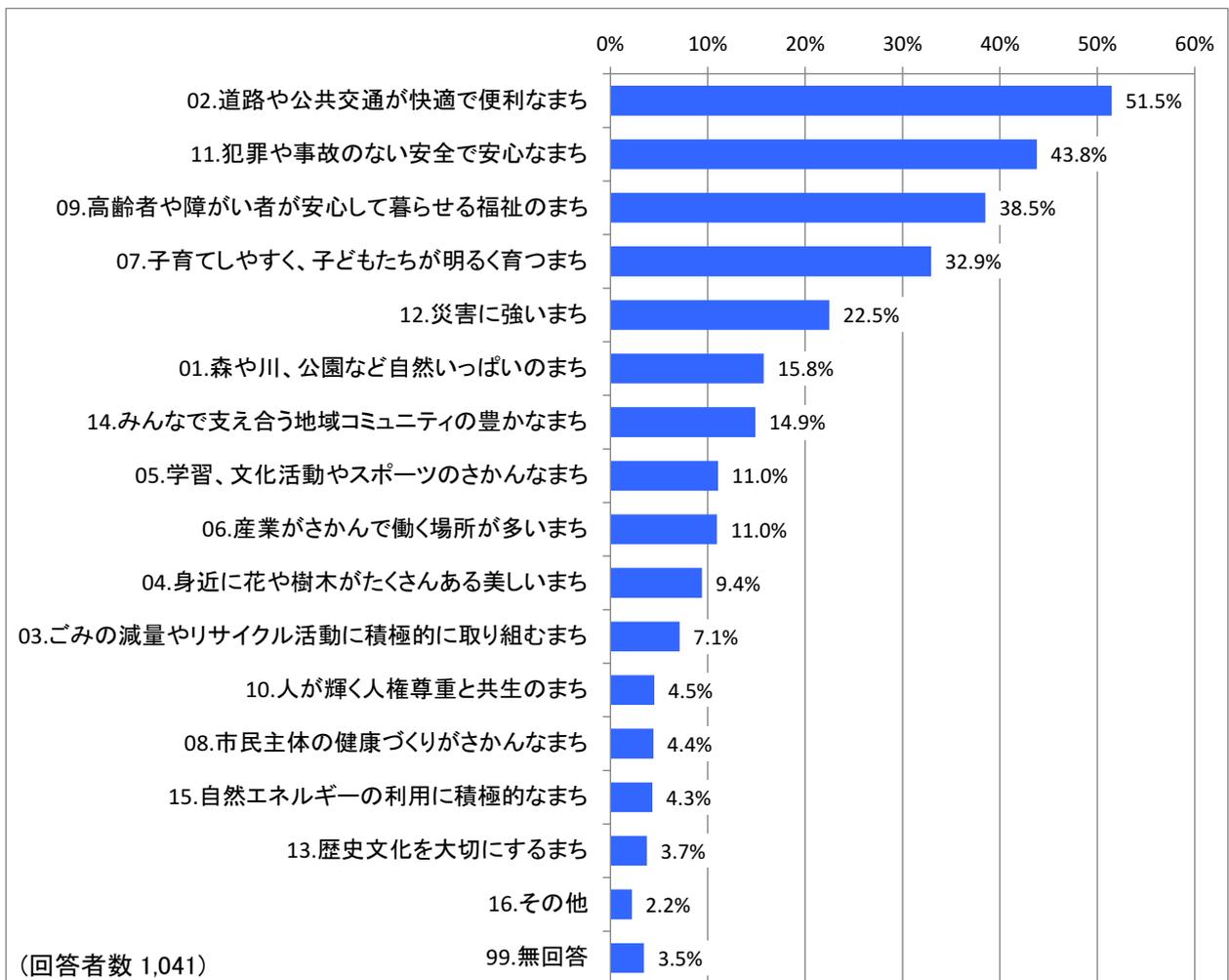
3. まちの将来イメージ

一般 どんなまちにしたいか

問4：みんなが住み続けたい湖南省にするためには、あなたならどのようなまちにしたいですか。（3つまで選択）

(1) 全体の傾向

どのようなまちにしたいかについては、「02. 道路や公共交通が快適で便利なまち」が最も多く、回答者の 51.5%となっています。次いで「11. 犯罪や事故のない安全で安心なまち」、「09. 高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉のまち」、「07. 子育てしやすく、子どもたちが明るく育つまち」となっています。



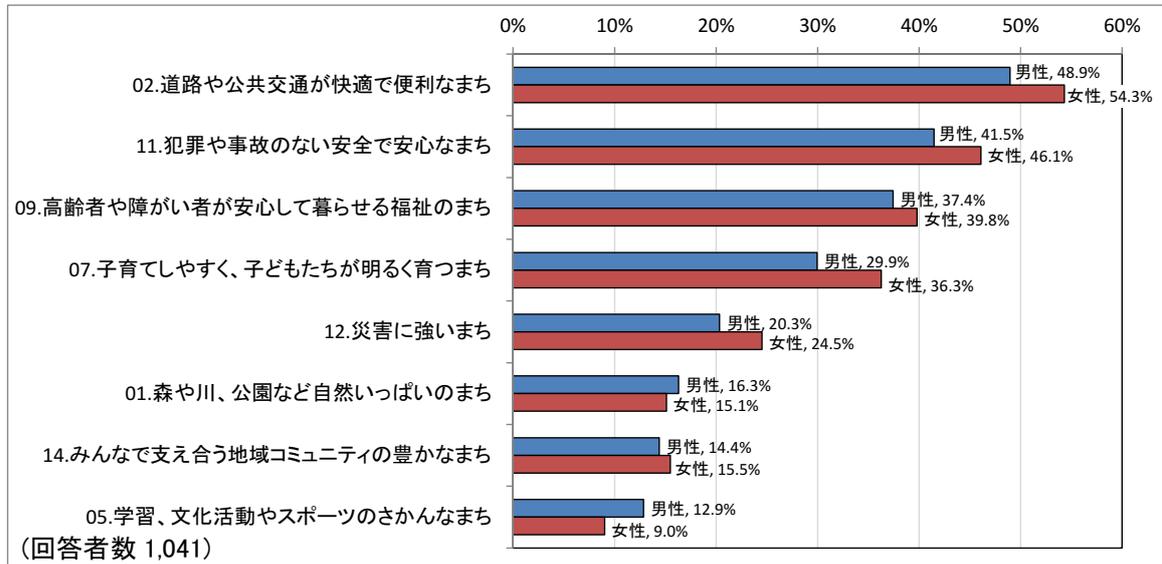
(2) 年齢別の傾向

10歳代・50歳代・60歳代は「02. 道路や公共交通が快適で便利なまち」を、20歳代・40歳代は「11. 犯罪や事故のない安全で安心なまち」を、30歳代は「07. 子育てしやすく、子どもたちが明るく育つまち」を、70歳以上は「09. 高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉のまち」の割合が最も高くなっています。年齢が高くなるにつれ、「09. 高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉のまち」を選択する割合が高くなり、60歳以上では、回答者の半数以上を占めています。

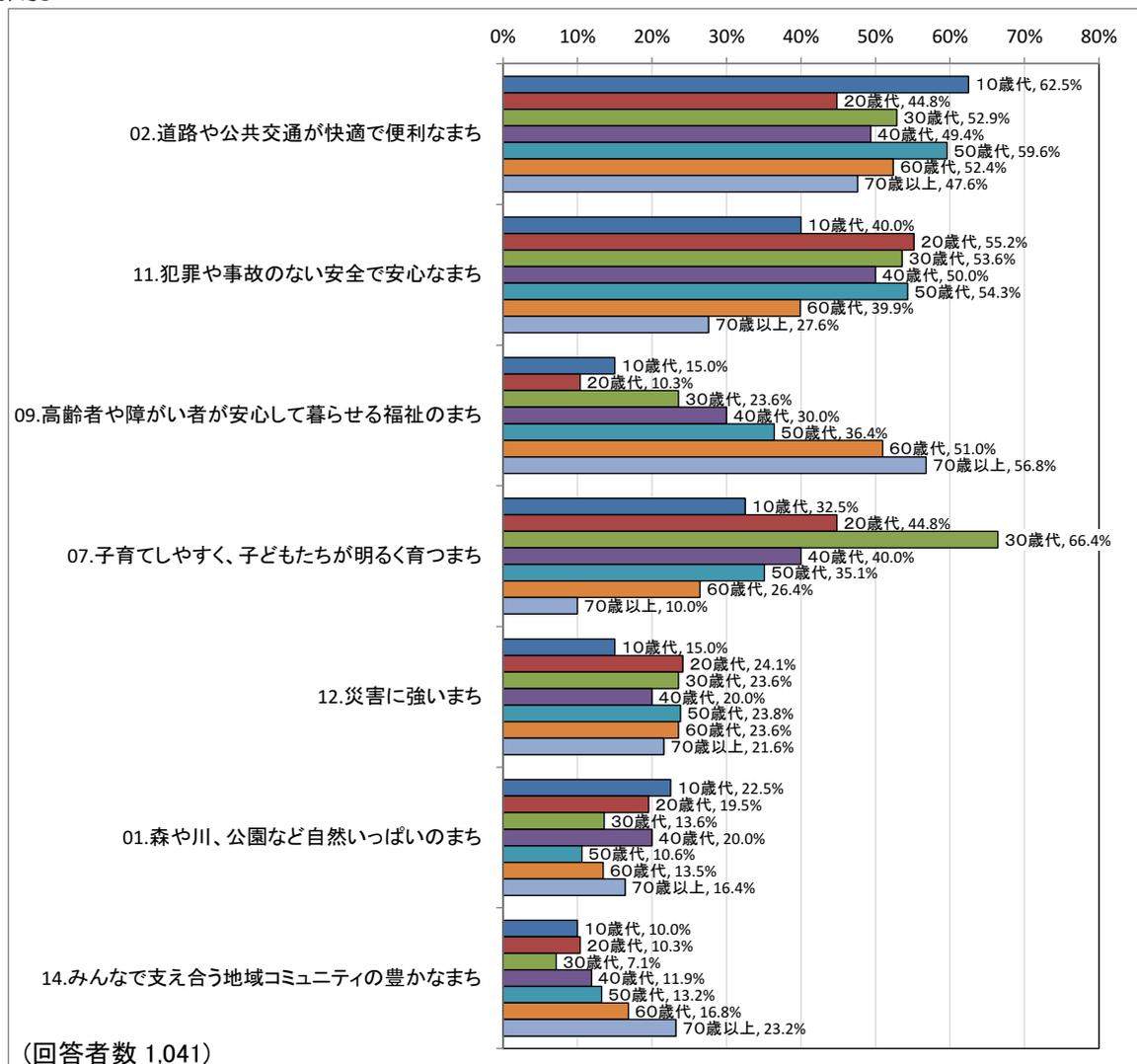
(3) 居住地区別の傾向

岩根を除く全ての地区では「02. 道路や公共交通が快適で便利なまち」を、岩根・水戸では「11. 犯罪や事故のない安全で安心なまち」を選択する割合が最も高くなっています。

性別

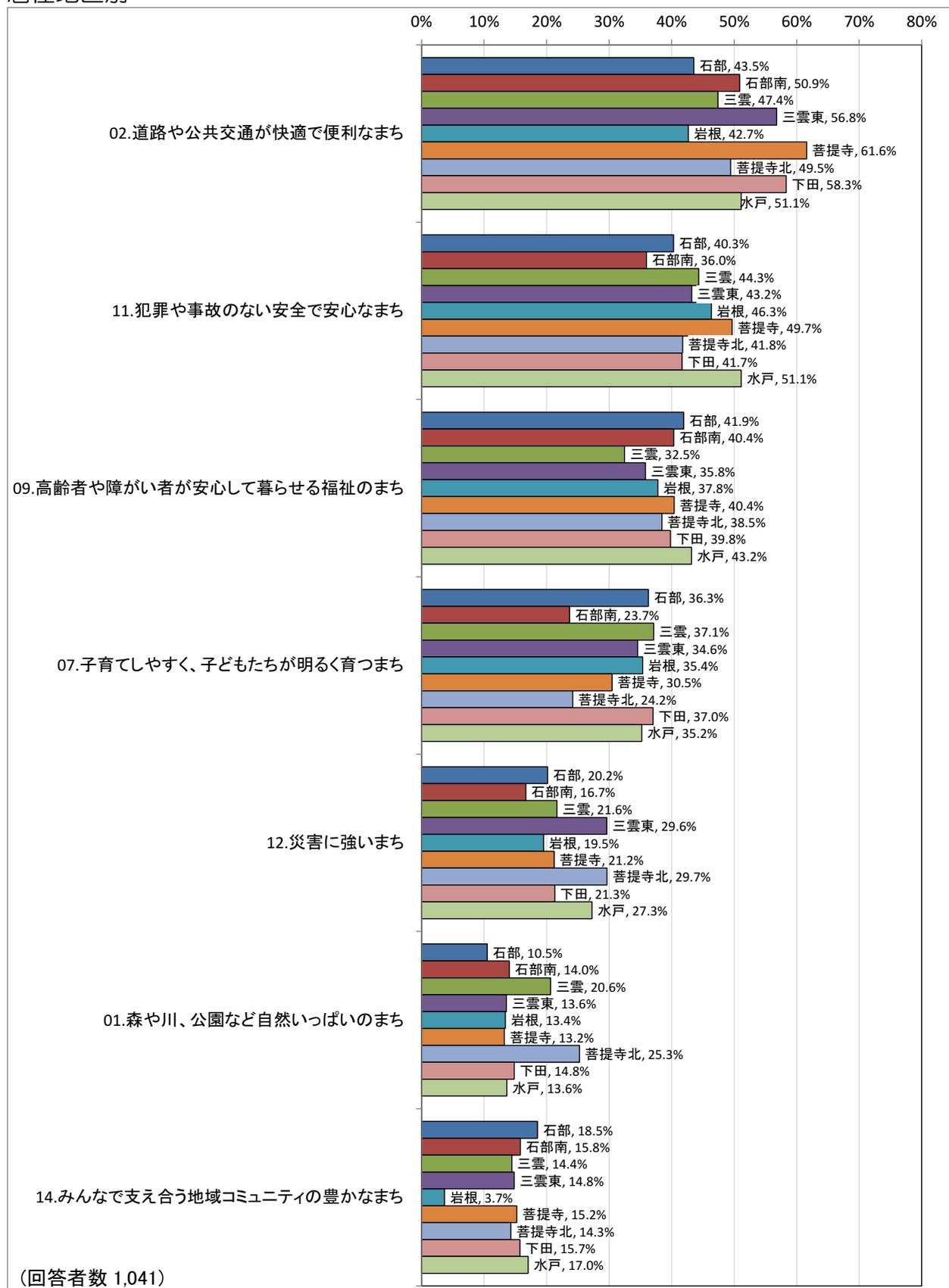


年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

居住地区別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

4. まちづくりへの市民参加

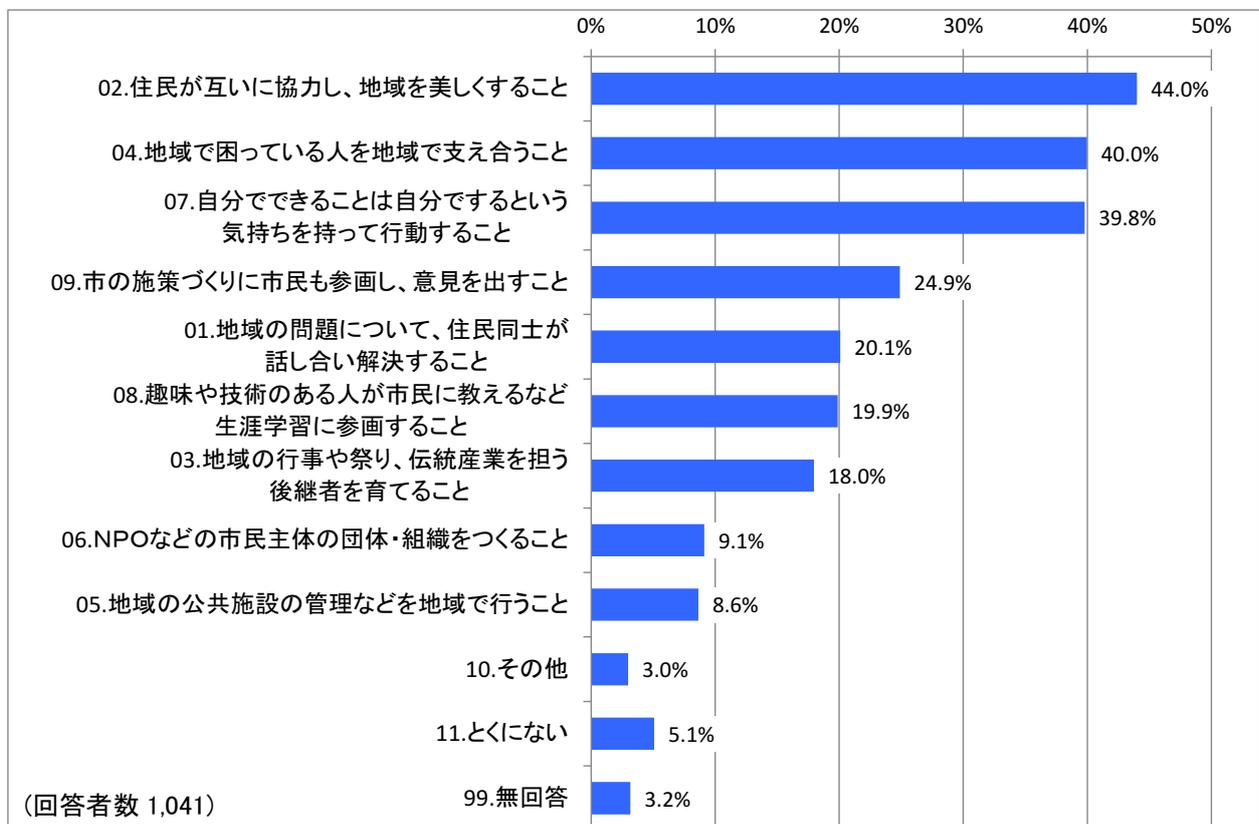
1) まちづくりで市民が参加できること

一般

問5：住みよいまちづくりのためには、市民の皆さんの関わりが重要です。湖南市をもっと住みよいまちにするために、市民の皆さんができることはどのようなことだと思いますか。（3つまで選択）

(1) 全体の傾向

市民の皆さんができることについては、「02. 住民が互いに協力し、地域を美しくすること」が最も多く、回答者の44.0%となっています。次いで「04. 地域で困っている人を地域で支え合うこと」、「07. 自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること」の順となっています。



(2) 年齢別の傾向

10歳代では、「04. 地域で困っている人を地域で支え合うこと」の割合が最も高く、回答者の60%が選択しています。20～40歳代と60歳代では「02. 住民が互いに協力し、地域を美しくすること」を、50歳代と70歳以上では「07. 自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること」を選択する割合が最も高くなっています。

また、10歳代では「07. 自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること」の割合も高く、半数以上が選択しています。

(3) 居住地区別の傾向

石部南・三雲・菩提寺・下田・水戸では「02.住民が互いに協力し、地域を美しくすること」を、石部・三雲東では「04.地域で困っている人を地域で支え合うこと」を、岩根・菩提寺北では「07.自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること」を選択する割合が最も高くなっています。

性別

(回答者数 1,041)

	男性	女性
1	02.住民が互いに協力し、地域を美しくすること 43.4%	02.住民が互いに協力し、地域を美しくすること 45.3%
2	07.自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること 40.3%	04.地域で困っている人を地域で支え合うこと 43.3%
3	04.地域で困っている人を地域で支え合うこと 36.7%	07.自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること 39.6%

年齢別

(回答者数 1,041)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1	04.地域で困っている人を地域で支え合うこと 60.0%	02.住民が互いに協力し、地域を美しくすること 40.2%	02.住民が互いに協力し、地域を美しくすること 43.6%	02.住民が互いに協力し、地域を美しくすること 41.9%	07.自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること 41.7%	02.住民が互いに協力し、地域を美しくすること 49.5%	07.自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること 52.4%
2	07.自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること 55.0%	04.地域で困っている人を地域で支え合うこと 34.5%	04.地域で困っている人を地域で支え合うこと 39.3%	04.地域で困っている人を地域で支え合うこと 40.0%	02.住民が互いに協力し、地域を美しくすること 38.4%	04.地域で困っている人を地域で支え合うこと 41.3%	02.住民が互いに協力し、地域を美しくすること 46.0%
3	02.住民が互いに協力し、地域を美しくすること 42.5%	03.地域の行事や祭り、伝統産業を担う後継者を育てること 25.3%	07.自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること 34.3%	07.自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること 35.6%	04.地域で困っている人を地域で支え合うこと 37.7%	07.自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること 34.1%	04.地域で困っている人を地域で支え合うこと 38.8%

居住地区別

(回答者数 1,041)

	石部	石部南	三雲	三雲東	岩根	菩提寺	菩提寺北	下田	水戸
1	04.地域で困っている人を地域で支え合うこと 43.5%	02.住民が互いに協力し、地域を美しくすること 43.9%	02.住民が互いに協力し、地域を美しくすること 43.8%	04.地域で困っている人を地域で支え合うこと 42.0%	07.自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること 50.0%	02.住民が互いに協力し、地域を美しくすること 46.4%	07.自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること 46.2%	02.住民が互いに協力し、地域を美しくすること 48.1%	02.住民が互いに協力し、地域を美しくすること 47.7%
2	07.自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること 38.7%	07.自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること 41.2%	04.地域で困っている人を地域で支え合うこと 41.2%	02.住民が互いに協力し、地域を美しくすること 39.5%	02.住民が互いに協力し、地域を美しくすること 46.3%	07.自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること 45.7%	02.住民が互いに協力し、地域を美しくすること 45.1%	04.地域で困っている人を地域で支え合うこと 38.9%	04.地域で困っている人を地域で支え合うこと 40.9%
3	02.住民が互いに協力し、地域を美しくすること 36.3%	04.地域で困っている人を地域で支え合うこと 36.8%	07.自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること 36.1%	07.自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること 32.1%	01.地域の問題について、住民同士が話し合いを解決すること 31.7%	04.地域で困っている人を地域で支え合うこと 41.7%	04.地域で困っている人を地域で支え合うこと 40.7%	07.自分でできることは自分ですという気持ちを持って行動すること 36.1%	09.市の施策づくりに市民も参画し、意見を出すこと 33.0%

(選択率の高い、上位3位までを表示)

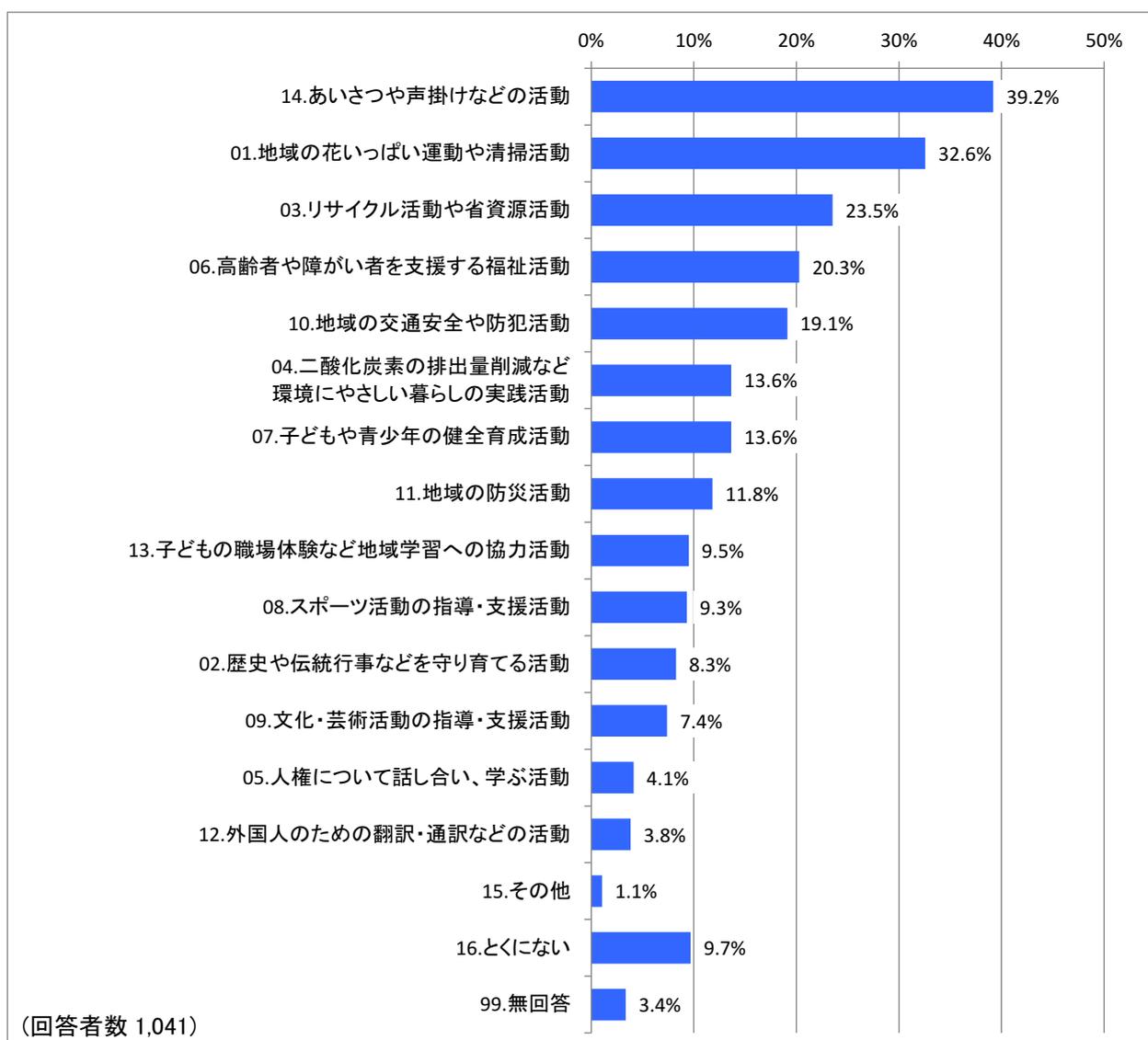
2) まちづくりで自分が参加できること

一般 自分が参加できること

問6：では、あなたが『何かに参加する』とすれば、どのようなことができると思いますか。
(3つまで選択)

(1) 全体の傾向

回答者自身が参加することについては、「14. あいさつや声掛けなどの活動」が最も多く、回答者の 39.2%となっています。次いで「01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動」、「03. リサイクル活動や省資源活動」、「06. 高齢者や障がい者を支援する福祉活動」の順になっています。



(2) 年齢別の傾向

10～20歳代と40歳代と60歳以上は「14. あいさつや声掛けなどの活動」を、30歳代と50歳代では「01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動」を選択する割合が最も高くなっています。

(3) 居住地区別の傾向

全ての地区で「14. あいさつや声掛けなどの活動」を選択する割合が最も高くなっています。

性別

(回答者数 1,041)

	男性	女性
1	14. あいさつや声掛けなどの活動 34.5%	14. あいさつや声掛けなどの活動 43.5%
2	01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動 28.0%	01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動 37.3%
3	03. リサイクル活動や省資源活動 23.8%	03. リサイクル活動や省資源活動 23.7%

年齢別

(回答者数 1,041)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1	14. あいさつや声掛けなどの活動 40.0%	14. あいさつや声掛けなどの活動 33.3%	01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動 34.3%	14. あいさつや声掛けなどの活動 40.6%	01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動 38.4%	14. あいさつや声掛けなどの活動 43.8%	14. あいさつや声掛けなどの活動 43.2%
2	01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動 35.0%	01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動 29.9%	14. あいさつや声掛けなどの活動 31.4%	01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動 24.4%	14. あいさつや声掛けなどの活動 34.4%	01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動 38.9%	01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動 28.0%
3	03. リサイクル活動や省資源活動 27.5%	10. 地域の交通安全や防犯活動 24.1%	07. 子どもや青少年の健全育成活動 25.7%	03. リサイクル活動や省資源活動 21.3%	03. リサイクル活動や省資源活動 27.2%	06. 高齢者や障がい者を支援する福祉活動 29.3%	06. 高齢者や障がい者を支援する福祉活動 26.4%

居住地区別

(回答者数 1,041)

	石部	石部南	三雲	三雲東	岩根	菩提寺	菩提寺北	下田	水戸
1	14. あいさつや声掛けなどの活動 41.1%	14. あいさつや声掛けなどの活動 37.7%	14. あいさつや声掛けなどの活動 38.7%	14. あいさつや声掛けなどの活動 39.5%	14. あいさつや声掛けなどの活動 36.6%	14. あいさつや声掛けなどの活動 37.7%	14. あいさつや声掛けなどの活動 44.0%	14. あいさつや声掛けなどの活動 42.6%	14. あいさつや声掛けなどの活動 36.4%
2	01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動 32.3%	03. リサイクル活動や省資源活動 27.2%	01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動 36.6%	01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動 33.3%	01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動 28.0%	01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動 32.5%	03. リサイクル活動や省資源活動 29.7%	01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動 36.1%	01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動 35.2%
3	06. 高齢者や障がい者を支援する福祉活動 19.4%	01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動 26.3%	03. リサイクル活動や省資源活動 24.7%	03. リサイクル活動や省資源活動 21.0%	07. 子どもや青少年の健全育成活動 24.4%	06. 高齢者や障がい者を支援する福祉活動 25.2%	01. 地域の花いっぱい運動や清掃活動 28.6%	03. リサイクル活動や省資源活動 24.1%	06. 高齢者や障がい者を支援する福祉活動 26.1%

(選択率の高い、上位3位までを表示)

5. 湖南省の取り組みに関する満足度

1) 満足度

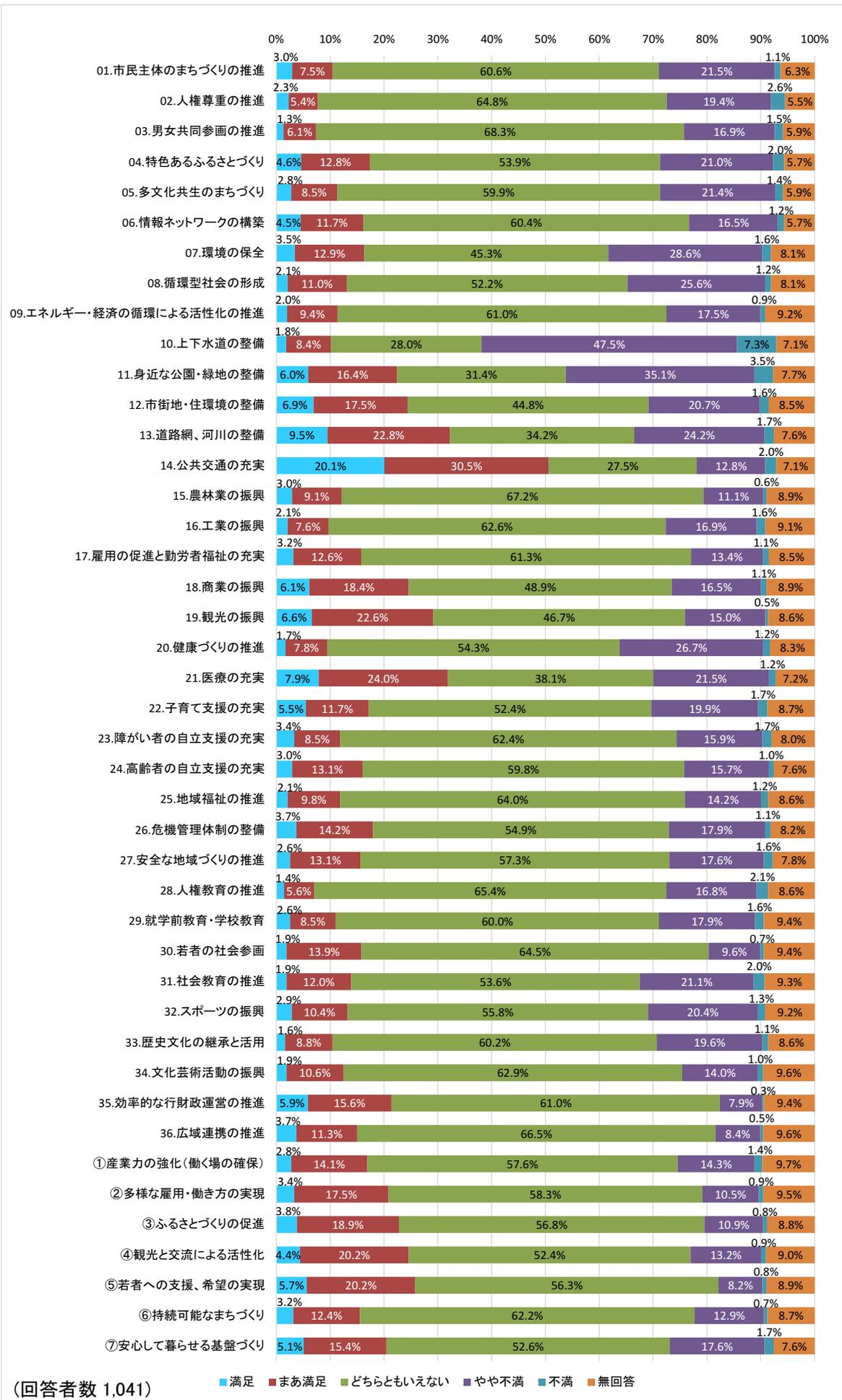
一般

問7：次に示すこれまでの湖南省の取り組みについて、あなたはどの程度満足していますか。
(1つ選択)

満足度（「満足」と「まあ満足」の合計）の高い取り組みは、「14. 公共交通の充実」が最も多く、回答者の50.6%となっています。次いで「13. 道路網、河川の整備」、「21. 医療の充実」となっています。

不満足度（「やや不満」と「不満」の合計）の高い取り組みは、「10. 上下水道の整備」が最も多く、回答者の54.8%となっており、次いで「11. 身近な公園・緑地の整備」となっています。

※グラフ内の①から⑦の項目は、第7章の重点プロジェクトの施策



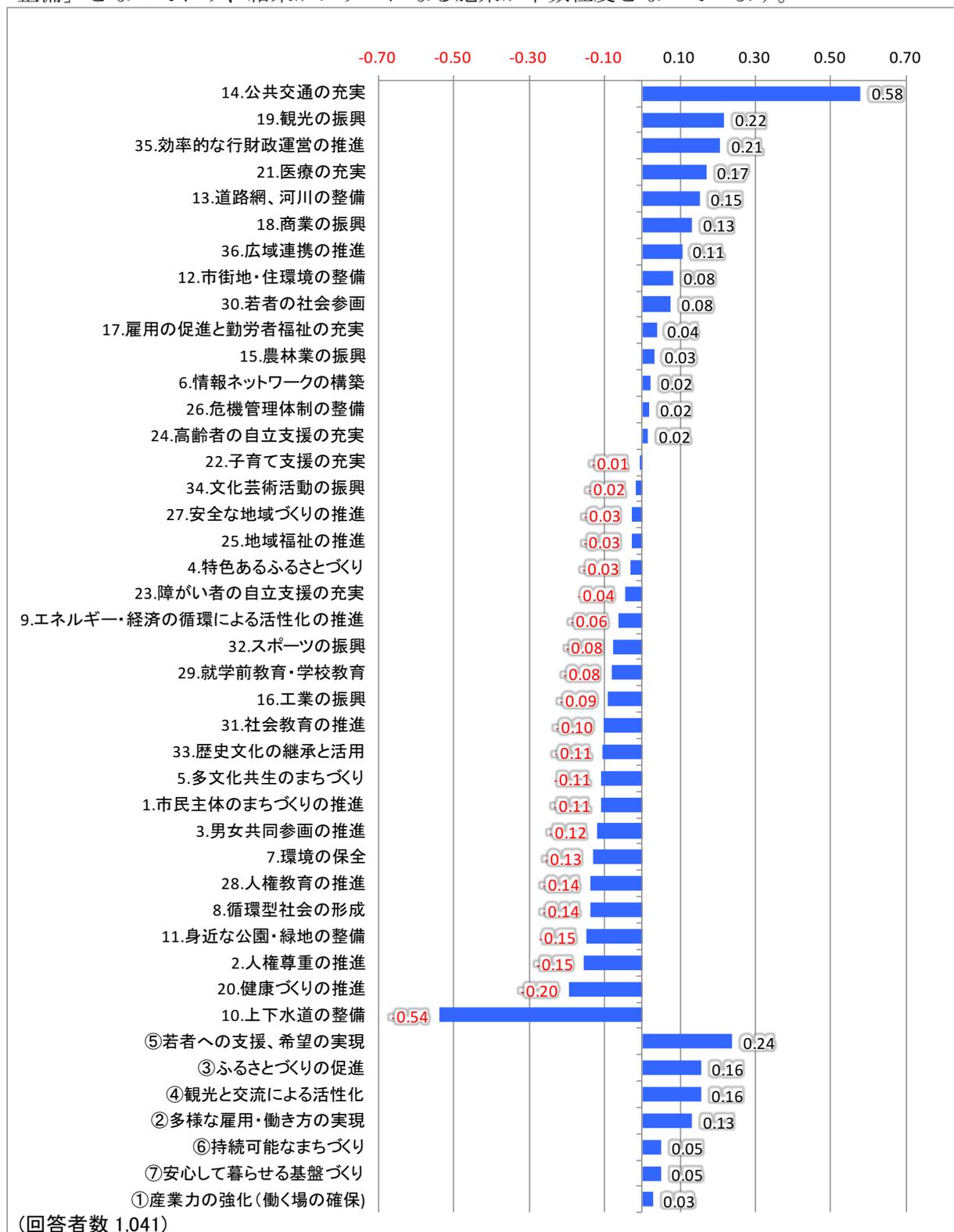
(回答者数 1,041)

■ 満足 ■ まあ満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満 ■ 不満 ■ 無回答

2) 満足度の点数化による比較

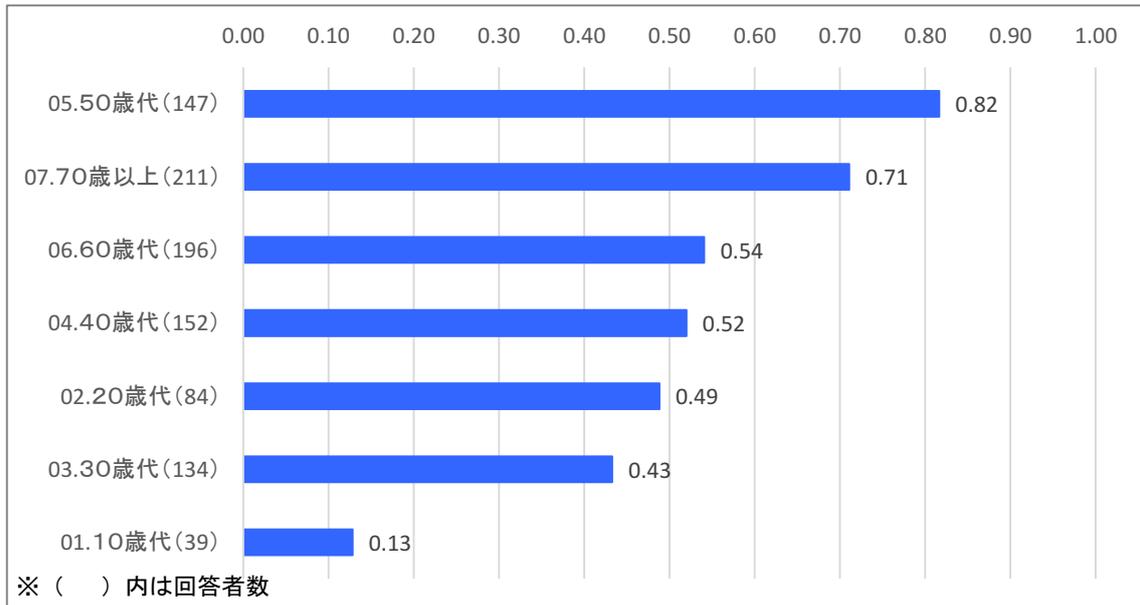
各設問について、「満足」を2点、「まあ満足」を1点、「どちらともいえない」を0点、「やや不満」を-1点、「不満」を-2点として点数化し、比較しました。なお、母数は「満足」、「まあ満足」、「どちらともいえない」、「やや不満」、「不満」の合計値とし、無回答は除いています。

最も満足度が高い取り組みは「14.公共交通の充実」、最も低い取り組みは「10.上下水道の整備」となっており、結果がプラスになる施策が半数程度となっています。



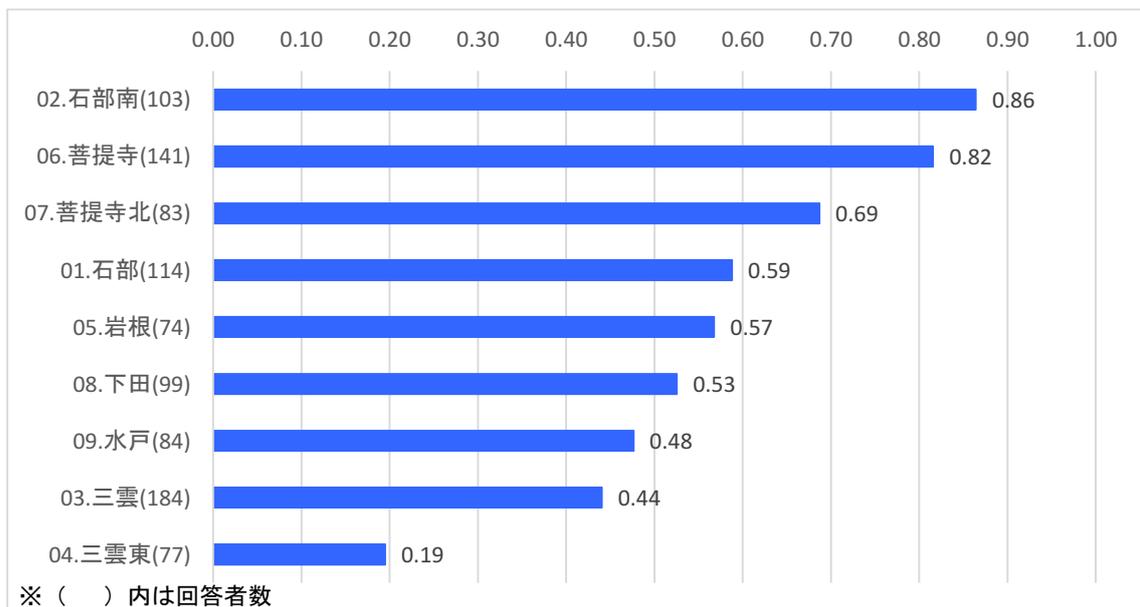
● 「14. 公共交通の充実」の年齢別の集計

最も満足度が高い「14. 公共交通の充実」について、回答者の年齢別に集計すると、いずれの年代も満足度が高く、特に、50歳代の満足度が高くなっています。



● 「14. 公共交通の充実」の居住地区別の集計

最も満足度が高い「14. 公共交通の充実」について、回答者の居住地区別に集計すると、いずれの小学校区も満足度が高く、特に、石部南小学校区、菩提寺小学校区の満足度が高くなっています。



● 「10. 上下水道の整備」の居住地区別の集計

最も満足度が低い「10. 上下水道の整備」について、回答者の居住地区別に集計すると、いずれの小学校区も満足度が低く、特に、石部小学校区の満足度が低くなっています。



6. 今後のまちづくりに必要なこと

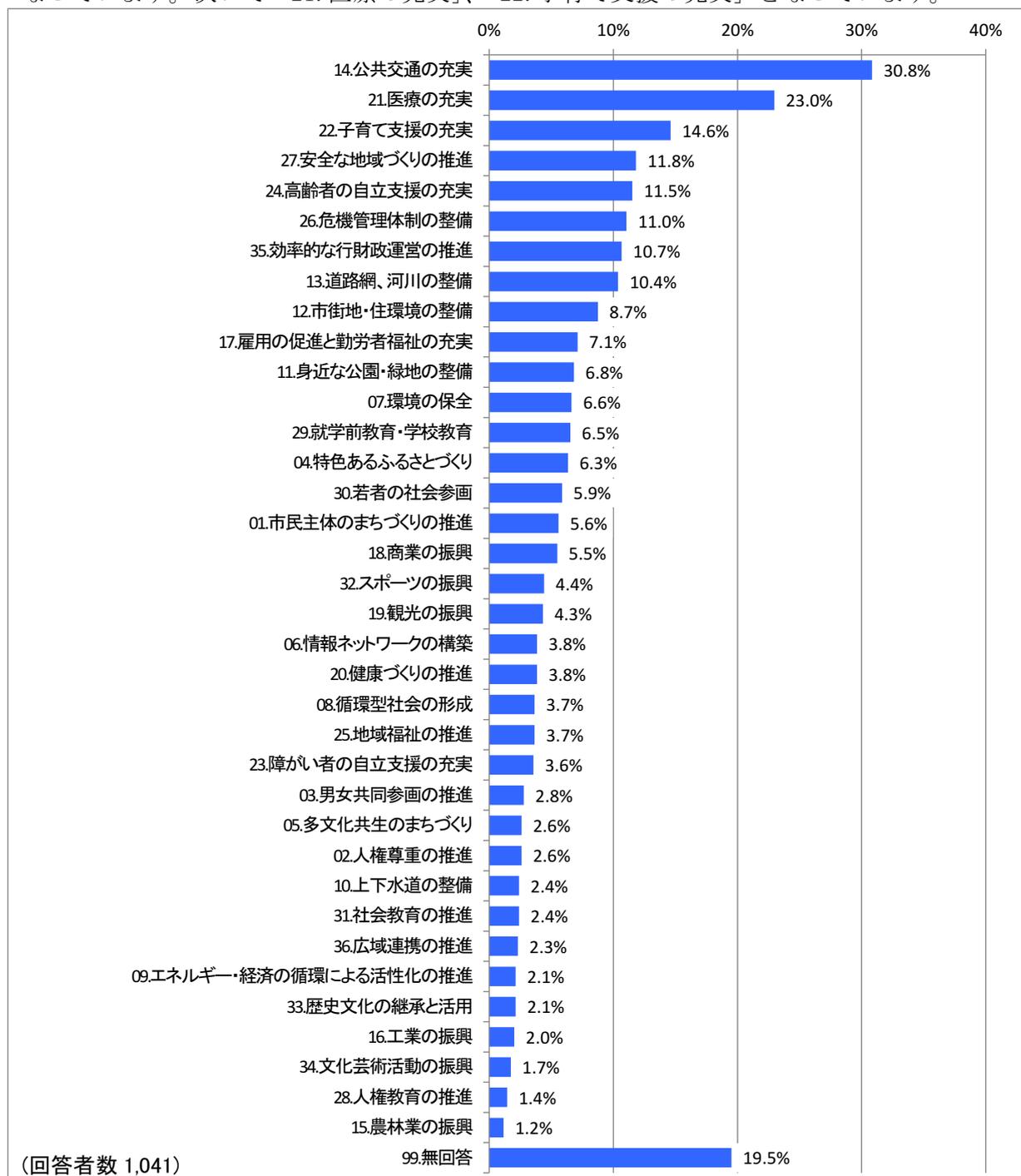
1) 重要度

一般

問8：湖南省がこれから進めていくまちづくりの方針として、P3～P5の表（問7の1～36）から重要と思う項目を3つ選んで、下の枠内に番号を書いてください。（3つまで選択）

(1) 全体の傾向

重要なまちづくりの方針としては、「14. 公共交通の充実」が最も多く、回答者の30.8%となっています。次いで「21. 医療の充実」、「22. 子育て支援の充実」となっています。



(2) 年齢別の傾向

10歳代・40歳以上は「14. 公共交通の充実」を、20～30歳代は「22. 子育て支援の充実」を選択する割合が最も高くなっています。

(3) 居住地区別の傾向

下田を除く全ての地区では「14. 公共交通の充実」を、下田では「21. 医療の充実」を選択する割合が最も高くなっています。

性別

(回答者数 1,041)

	男性	女性
1	14.公共交通の充実 27.6%	14.公共交通の充実 34.3%
2	21.医療の充実 21.7%	21.医療の充実 24.1%
3	13.道路網、河川の整備 13.1%	22.子育て支援の充実 16.7%

年齢別

(回答者数 1,041)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1	14.公共交通の充実 50.0%	22.子育て支援の充実 28.7%	22.子育て支援の充実 38.6%	14.公共交通の充実 33.1%	14.公共交通の充実 41.7%	14.公共交通の充実 29.8%	14.公共交通の充実 26.4%
2	21.医療の充実 20.0%	14.公共交通の充実 27.6%	21.医療の充実 25.7%	21.医療の充実 28.8%	21.医療の充実 31.8%	21.医療の充実 21.2%	21.医療の充実 17.2%
	27.安全な地域づくりの推進 20.0%						
3	07.環境の保全 12.5%	21.医療の充実 16.1%	14.公共交通の充実 23.6%	27.安全な地域づくりの推進 16.3%	27.安全な地域づくりの推進 13.9%	24.高齢者の自立支援の充実 18.8%	24.高齢者の自立支援の充実 12.8%
	12.市街地・住環境の整備 12.5%						

居住地区別

(回答者数 1,041)

	石部	石部南	三雲	三雲東	岩根	菩提寺	菩提寺北	下田	水戸
1	14.公共交通の充実 25.8%	14.公共交通の充実 36.0%	14.公共交通の充実 28.4%	14.公共交通の充実 28.4%	14.公共交通の充実 18.3%	14.公共交通の充実 39.7%	14.公共交通の充実 40.7%	21.医療の充実 30.6%	14.公共交通の充実 33.0%
2	21.医療の充実 17.7%	21.医療の充実 21.9%	21.医療の充実 21.6%	21.医療の充実 18.5%	21.医療の充実 15.9%	21.医療の充実 25.2%	21.医療の充実 25.3%	14.公共交通の充実 25.0%	21.医療の充実 28.4%
				22.子育て支援の充実 18.5%					
				24.高齢者の自立支援の充実 18.5%					
3	22.子育て支援の充実 15.3%	35.効率的な行政運営の推進 14.0%	22.子育て支援の充実 17.0%	26.危機管理体制の整備 14.8%	24.高齢者の自立支援の充実 13.4%	27.安全な地域づくりの推進 14.6%	24.高齢者の自立支援の充実 16.5%	22.子育て支援の充実 17.6%	22.子育て支援の充実 17.0%
							26.危機管理体制の整備 16.5%		

(選択率の高い、上位3位までを表示)

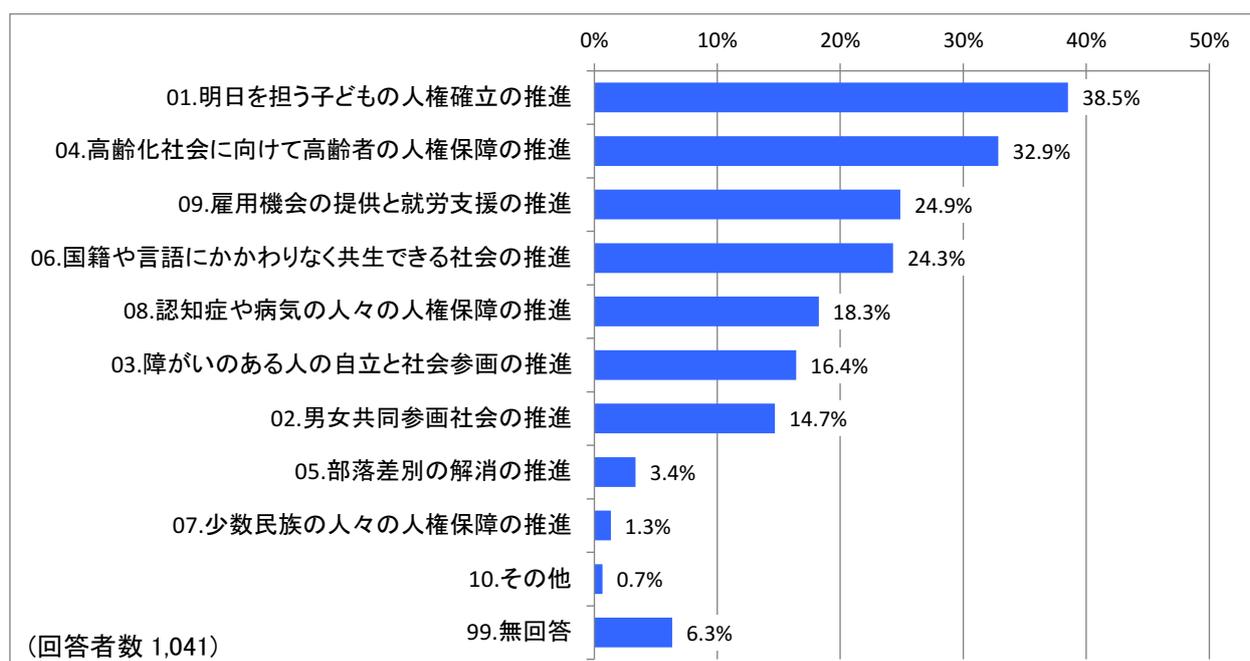
2) 人権尊重のまちづくり

一般

問9：人権尊重のまちづくりを推進するために、とくに充実すべき事からは次のうちどれですか。（2つまで選択）

(1) 全体の傾向

人権尊重のまちづくりの推進については、「01. 明日を担う子どもの人権確立の推進」が最も多く、次いで「04. 高齢化社会に向けて高齢者の人権保障の推進」となっており、ともに30%を超えて突出しています。



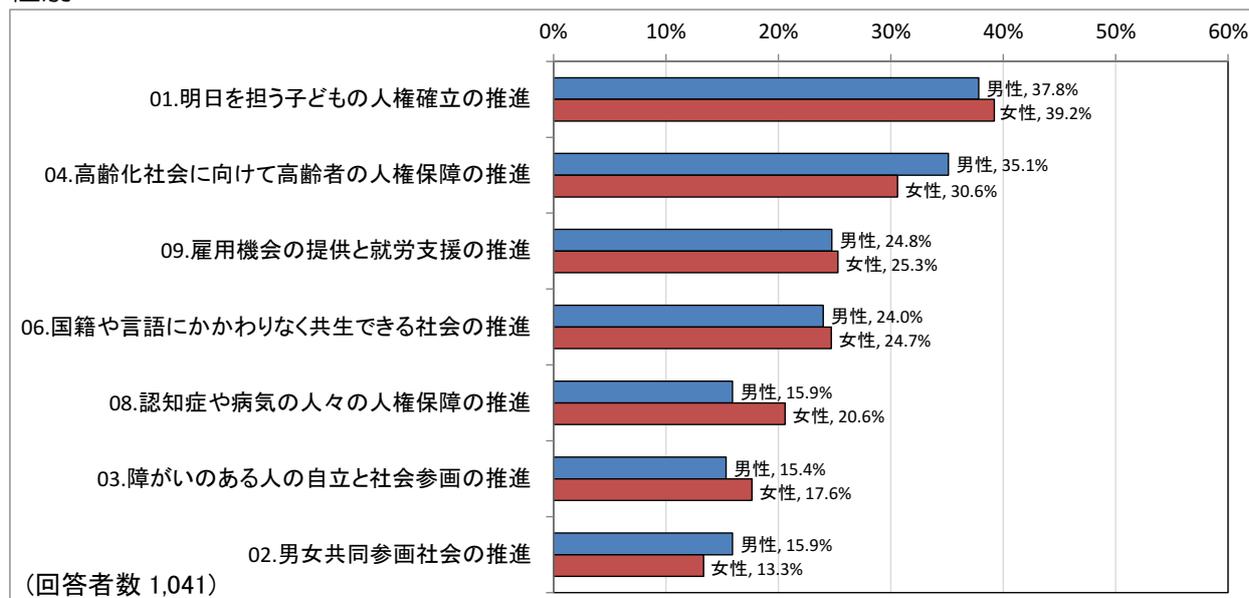
(2) 年齢別の傾向

また、10～50歳代は「01. 明日を担う子どもの人権確立の推進」を、60歳以上では「04. 高齢化社会に向けて高齢者の人権保障の推進」を選択する割合も高くなっています。「04. 高齢化社会に向けて高齢者の人権保障の推進」は、年齢が高くなるにつれ、選択する割合が高くなり、70歳以上では回答者の半数以上を占めています。

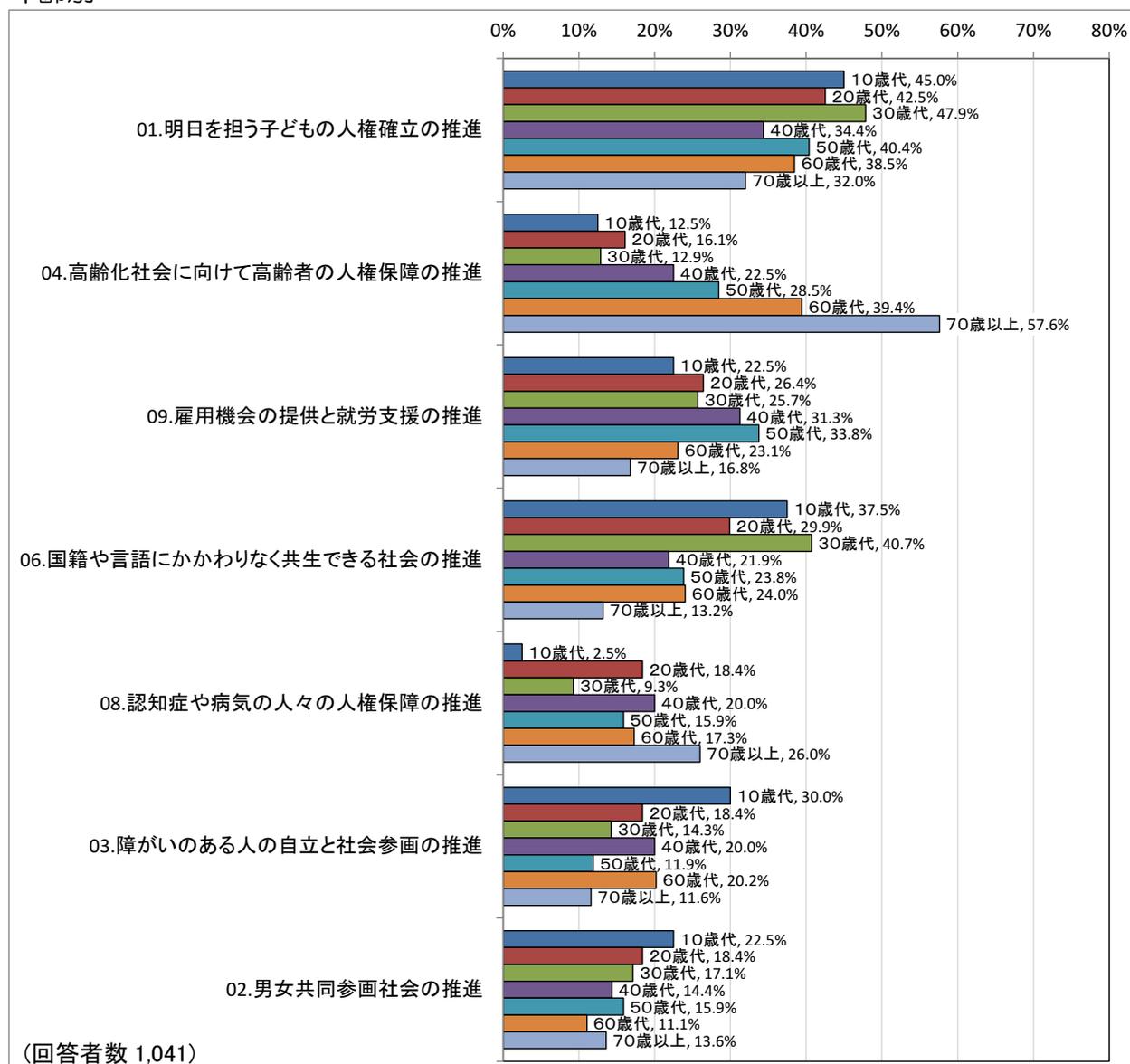
(3) 居住地区別の傾向

三雲東・菩提寺北・水戸を除く全ての地区では「01. 明日を担う子どもの人権確立の推進」を、三雲東・菩提寺北では「04. 高齢化社会に向けて高齢者の人権保障の推進」を、水戸では「06. 国籍や言語にかかわらず共生できる社会の推進」を選択する割合が最も高くなっています。

性別

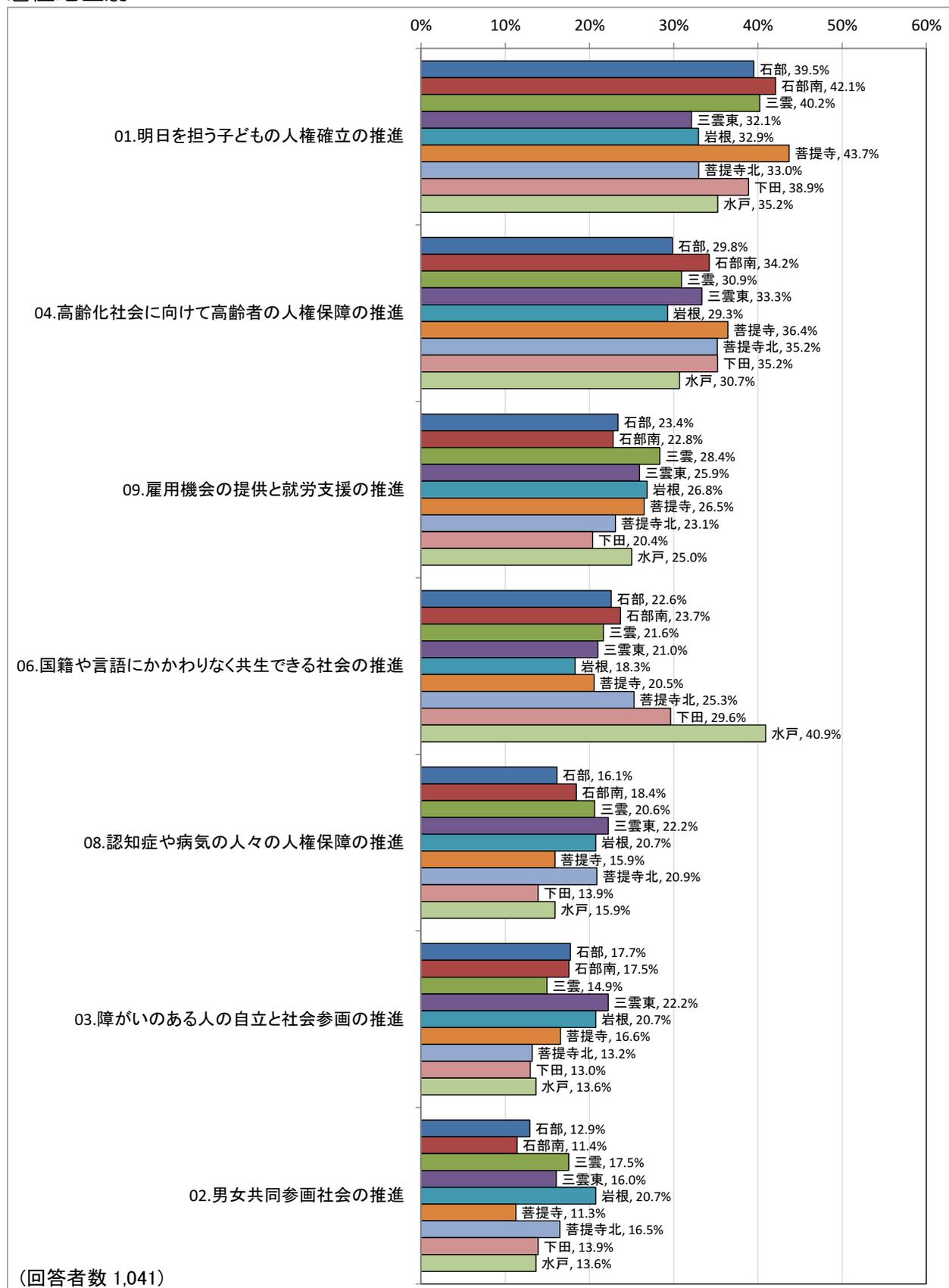


年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

居住地区別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

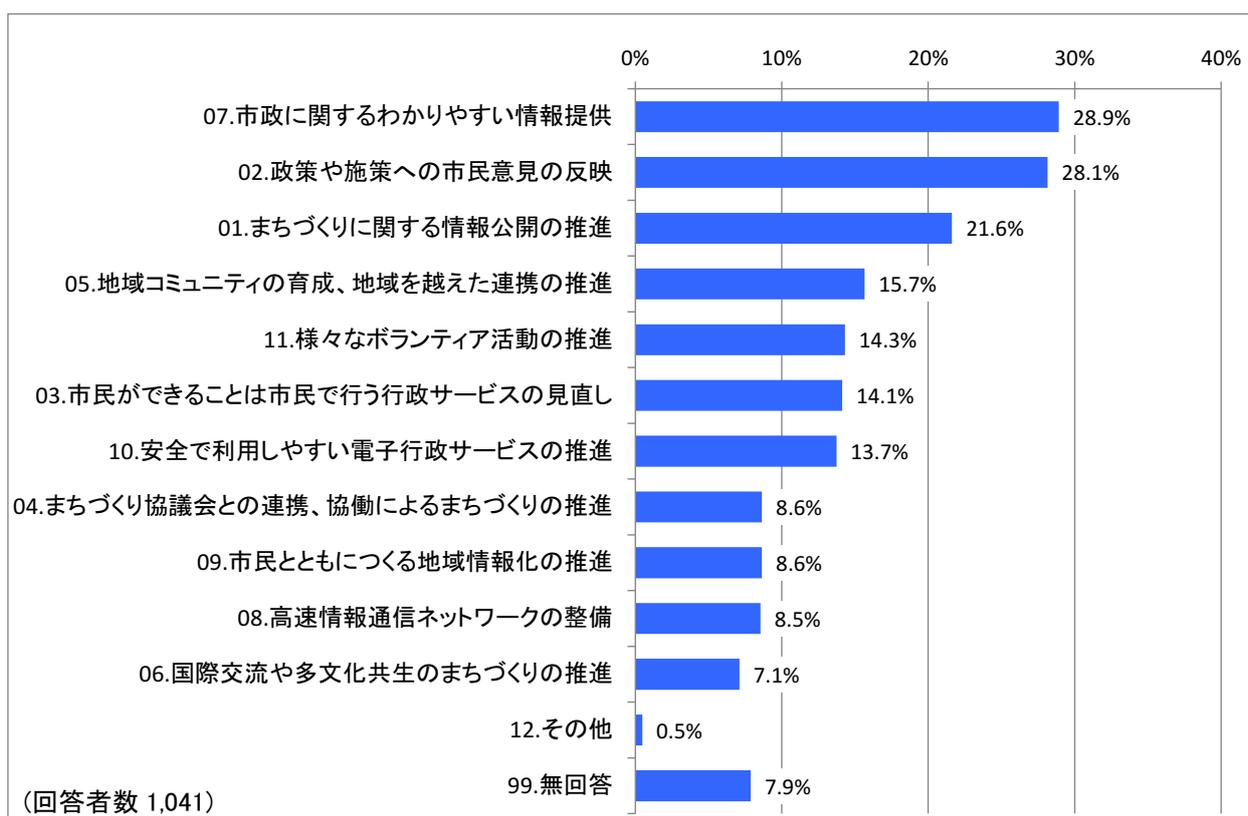
3) 自立・自助のまちづくり

一般

問 10：自立・自助のまちづくりを推進するために、とくに必要な事からは次のうちどれですか。（2つまで選択）

(1) 全体の傾向

自立・自助のまちづくりの推進については、「07. 市政に関するわかりやすい情報提供」が最も多く、次いで「02. 政策や施策への市民意見の反映」となっており、ともに30%近くを占めて突出しています。



(2) 性別の傾向

男性は「02. 政策や施策への市民意見の反映」を、女性は「07. 市政に関するわかりやすい情報提供」を選択する割合が高くなっています。

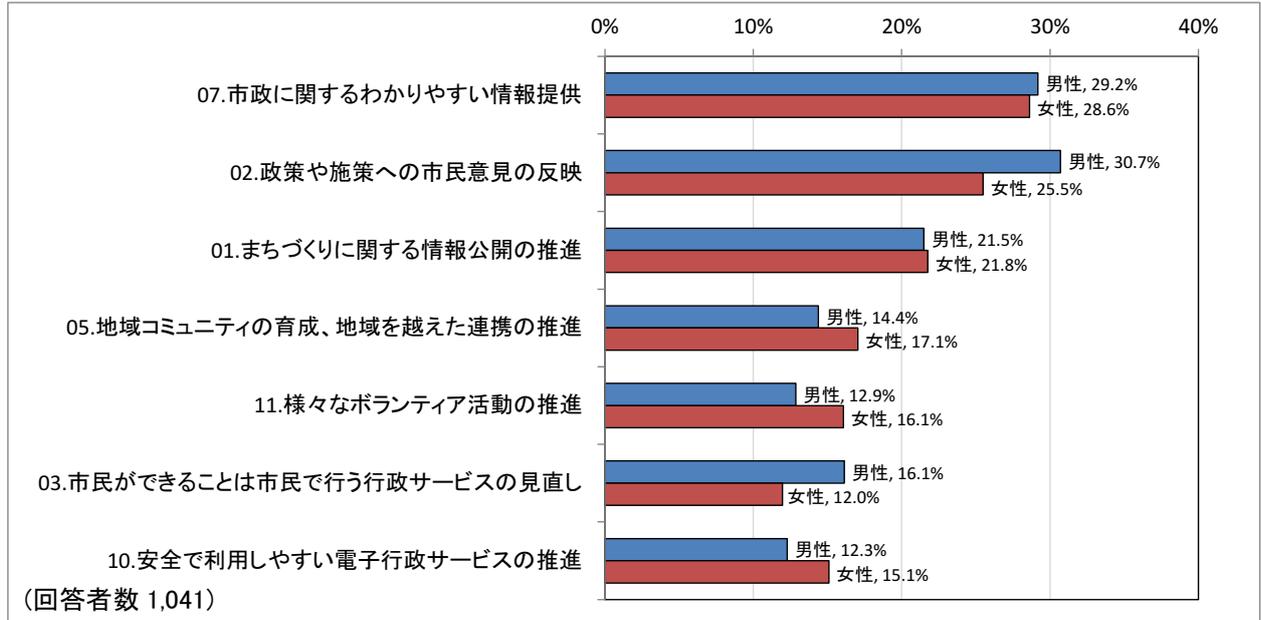
(3) 年齢別の傾向

年齢が高くなるにつれ、「07. 市政に関するわかりやすい情報提供」を選択する割合が高くなっています。

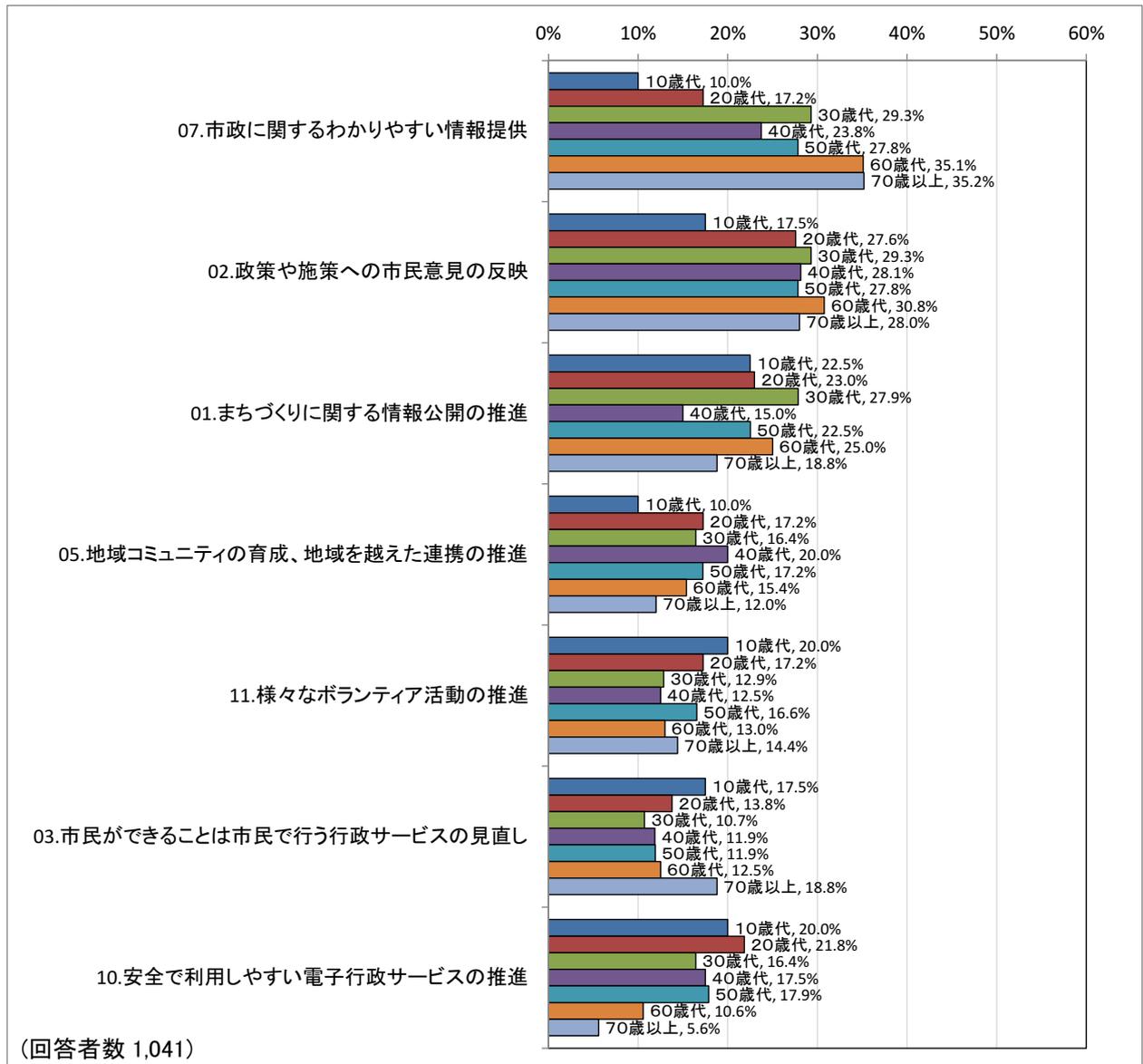
(4) 居住地区別の傾向

石部南・岩根・菩提寺北・下田では「07. 市政に関するわかりやすい情報提供」を、石部・三雲・三雲東・菩提寺・水戸では「02. 政策や施策への市民意見の反映」を選択する割合が最も高くなっています。

性別

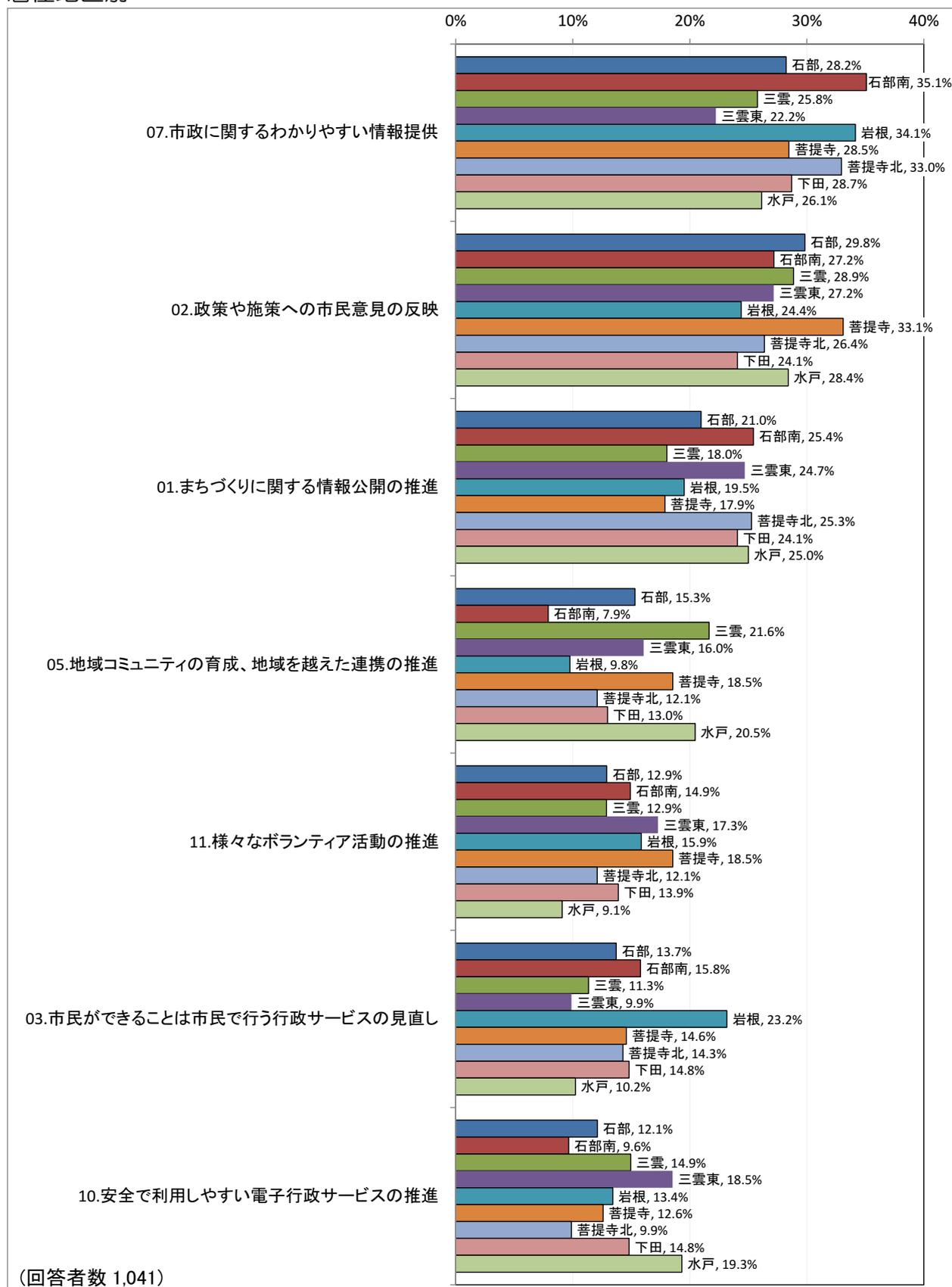


年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

居住地区別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

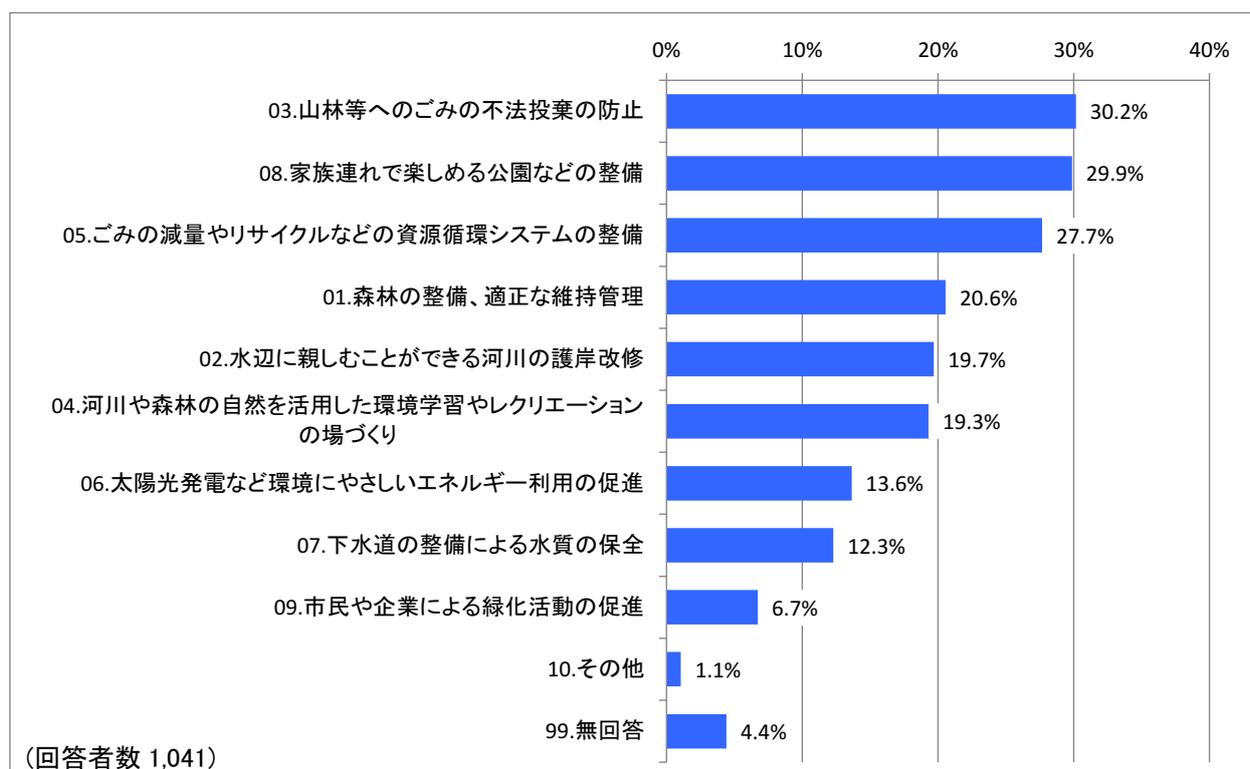
4) 自然を活かし、自然と共生するまちづくり

一般

問 11：自然を活かし、自然と共生するまちづくりを推進するために、とくに必要な事からは次のうちどれですか。（2つまで選択）

(1) 全体の傾向

自然を活かし、自然と共生するまちづくりの推進については、「03. 山林等へのごみの不法投棄の防止」が最も多く、次いで「08. 家族連れで楽しめる公園などの整備」、「05. ごみの減量やリサイクルなどの資源循環システムの整備」の順となっており、いずれも 30% 近くを占めて突出しています。



(2) 年齢別の傾向

10～30 歳代は「08. 家族連れで楽しめる公園などの整備」を、40 歳代では「05. ごみの減量やリサイクルなどの資源循環システムの整備」を、50 歳代と 70 歳以上は「03. 山林等へのごみの不法投棄の防止」を、60 歳代は「01. 森林の整備、適正な維持管理」を選択する割合が高くなっています。

(3) 居住地区別の傾向

石部南・岩根・菩提寺・菩提寺北・水戸では「03. 山林等へのごみの不法投棄の防止」を、石部・三雲・三雲東・下田では「08. 家族連れで楽しめる公園などの整備」を選択する割合が最も高くなっています。

性別

(回答者数 1,041)

	男性	女性
1	03.山林等へのごみの不法投棄の防止 29.2%	08.家族連れで楽しめる公園などの整備 32.2%
2	08.家族連れで楽しめる公園などの整備 28.0%	03.山林等へのごみの不法投棄の防止 31.0%
3	05.ごみの減量やリサイクルなどの資源循環システムの整備 27.1%	05.ごみの減量やリサイクルなどの資源循環システムの整備 28.0%

年齢別

(回答者数 1,041)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1	08.家族連れで楽しめる公園などの整備 55.0%	08.家族連れで楽しめる公園などの整備 44.8%	08.家族連れで楽しめる公園などの整備 44.3%	05.ごみの減量やリサイクルなどの資源循環システムの整備 28.8%	03.山林等へのごみの不法投棄の防止 35.1%	01.森林の整備、適正な維持管理 29.3%	03.山林等へのごみの不法投棄の防止 34.8%
2	03.山林等へのごみの不法投棄の防止 30.0%	05.ごみの減量やリサイクルなどの資源循環システムの整備 29.9%	03.山林等へのごみの不法投棄の防止 32.1%	08.家族連れで楽しめる公園などの整備 26.9%	05.ごみの減量やリサイクルなどの資源循環システムの整備 33.1%	05.ごみの減量やリサイクルなどの資源循環システムの整備 26.0%	05.ごみの減量やリサイクルなどの資源循環システムの整備 27.6%
3	04.河川や森林の自然を活用した環境学習やレクリエーションの場づくり 25.0%	03.山林等へのごみの不法投棄の防止 26.4%	02.水辺に親しむことができる河川の護岸改修 25.0%	03.山林等へのごみの不法投棄の防止 25.0%	08.家族連れで楽しめる公園などの整備 27.8%	03.山林等へのごみの不法投棄の防止 25.0%	04.河川や森林の自然を活用した環境学習やレクリエーションの場づくり 20.8%

居住地区別

(回答者数 1,041)

	石部	石部南	三雲	三雲東	岩根	菩提寺	菩提寺北	下田	水戸
1	08.家族連れで楽しめる公園などの整備 27.4%	03.山林等へのごみの不法投棄の防止 31.6%	08.家族連れで楽しめる公園などの整備 34.0%	08.家族連れで楽しめる公園などの整備 33.3%	03.山林等へのごみの不法投棄の防止 35.4%	03.山林等へのごみの不法投棄の防止 28.5%	03.山林等へのごみの不法投棄の防止 33.0%	08.家族連れで楽しめる公園などの整備 34.3%	03.山林等へのごみの不法投棄の防止 36.4%
2	03.山林等へのごみの不法投棄の防止 26.6%	01.森林の整備、適正な維持管理 29.8%	05.ごみの減量やリサイクルなどの資源循環システムの整備 29.4%	03.山林等へのごみの不法投棄の防止 32.1%	05.ごみの減量やリサイクルなどの資源循環システムの整備 34.1%	05.ごみの減量やリサイクルなどの資源循環システムの整備 27.8%	08.家族連れで楽しめる公園などの整備 31.9%	03.山林等へのごみの不法投棄の防止 32.4%	05.ごみの減量やリサイクルなどの資源循環システムの整備 29.5%
3	04.河川や森林の自然を活用した環境学習やレクリエーションの場づくり 21.8%	08.家族連れで楽しめる公園などの整備 21.9%	03.山林等へのごみの不法投棄の防止 25.3%	05.ごみの減量やリサイクルなどの資源循環システムの整備 28.4%	08.家族連れで楽しめる公園などの整備 31.7%	01.森林の整備、適正な維持管理 23.2%	01.森林の整備、適正な維持管理 29.7%	04.河川や森林の自然を活用した環境学習やレクリエーションの場づくり 22.2%	08.家族連れで楽しめる公園などの整備 26.1%

(選択率の高い、上位3位までを表示)

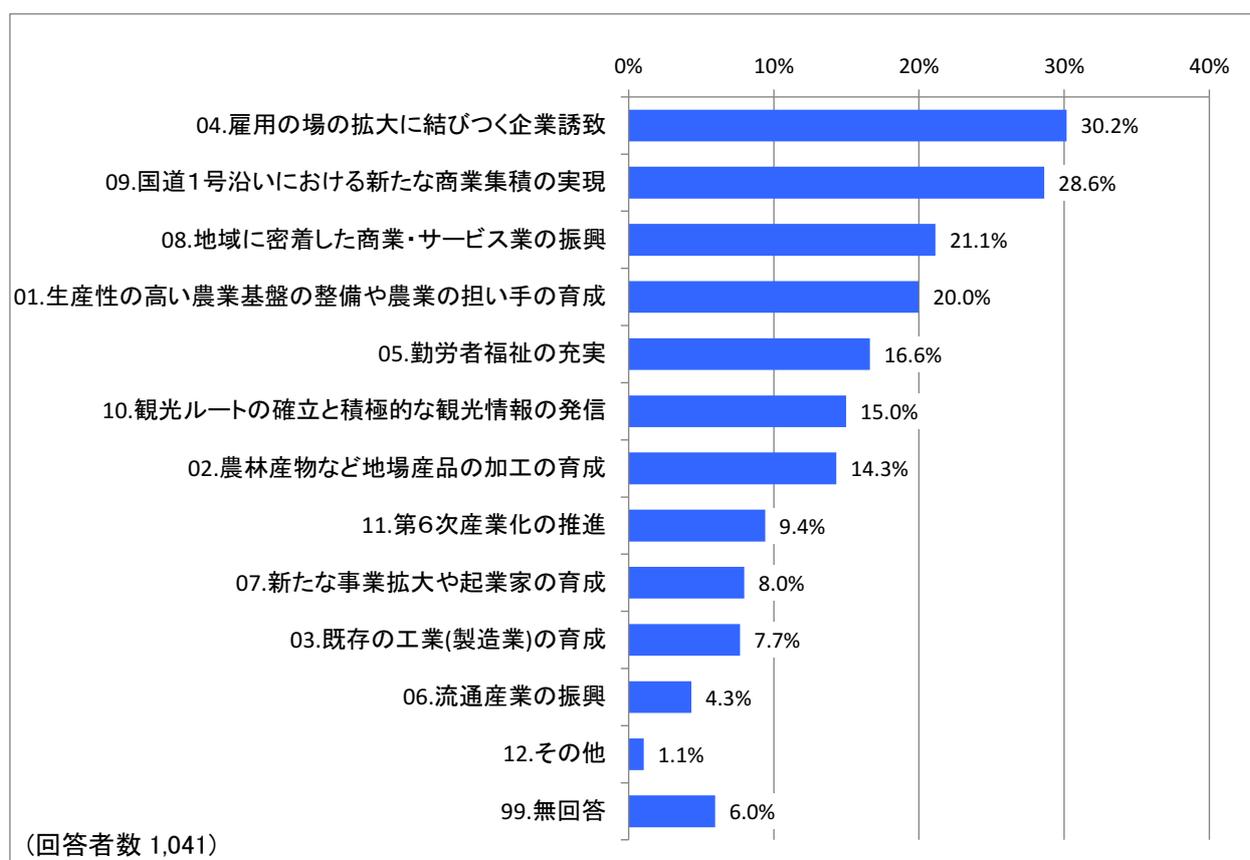
5) 産業がさかんで賑わいのあるまちづくり

一般

問 12：産業がさかんで賑わいのあるまちづくりを推進するために、とくに必要な事からは次のうちどれですか。（2つまで選択）

(1) 全体の傾向

産業がさかんで賑わいのあるまちづくりの推進については、「04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致」が最も多く、次いで「09.国道1号沿いにおける新たな商業集積の実現」となっており、ともに30%近くを占めて突出しています。



(2) 年齢別の傾向

10～20歳代と40～50歳代は「09.国道1号バイパス沿いにおける新たな商業集積の実現」を、30歳代と60歳以上は「04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致」を選択する割合が最も高くなっています。

(3) 居住地区別の傾向

三雲・岩根・下田を除く全ての地区では「04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致」を、三雲・岩根・菩提寺では「09.国道1号バイパス沿いにおける新たな商業集積の実現」を、下田では「08.地域に密着した商業・サービス業の振興」を選択する割合が最も高くなっています。

性別

(回答者数 1,041)

	男性	女性
1	04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致 32.6%	04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致 28.0%
2	09.国道1号バイパス沿いにおける新たな商業集積の実現 30.3%	09.国道1号バイパス沿いにおける新たな商業集積の実現 27.5%
3	08.地域に密着した商業・サービス業の振興 20.5%	08.地域に密着した商業・サービス業の振興 21.8%

年齢別

(回答者数 1,041)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1	09.国道1号バイパス沿いにおける新たな商業集積の実現 30.0%	09.国道1号バイパス沿いにおける新たな商業集積の実現 32.2%	04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致 34.3%	09.国道1号バイパス沿いにおける新たな商業集積の実現 40.0%	09.国道1号バイパス沿いにおける新たな商業集積の実現 31.8%	04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致 34.6%	04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致 33.6%
2	01.生産性の高い農業基盤の整備や農業の担い手の育成 22.5%	05.勤労者福祉の充実 31.0%	09.国道1号バイパス沿いにおける新たな商業集積の実現 32.1%	04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致 26.3%	08.地域に密着した商業・サービス業の振興 28.5%	01.生産性の高い農業基盤の整備や農業の担い手の育成 24.0%	01.生産性の高い農業基盤の整備や農業の担い手の育成 25.2%
3	05.勤労者福祉の充実 20.0%	04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致 24.1%	08.地域に密着した商業・サービス業の振興 22.1%	08.地域に密着した商業・サービス業の振興 17.5%	04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致 27.8%	08.地域に密着した商業・サービス業の振興 22.6%	09.国道1号バイパス沿いにおける新たな商業集積の実現 22.0%

居住地区別

(回答者数 1,041)

	石部	石部南	三雲	三雲東	岩根	菩提寺	菩提寺北	下田	水戸
1	04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致 32.3%	04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致 30.7%	09.国道1号バイパス沿いにおける新たな商業集積の実現 32.5%	04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致 37.0%	09.国道1号バイパス沿いにおける新たな商業集積の実現 41.5%	04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致 30.5%	04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致 36.3%	08.地域に密着した商業・サービス業の振興 32.4%	04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致 34.1%
2	08.地域に密着した商業・サービス業の振興 20.2%	08.地域に密着した商業・サービス業の振興 25.4%	01.生産性の高い農業基盤の整備や農業の担い手の育成 26.8%	09.国道1号バイパス沿いにおける新たな商業集積の実現 30.9%	04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致 29.3%	08.地域に密着した商業・サービス業の振興 22.5%	09.国道1号バイパス沿いにおける新たな商業集積の実現 26.4%	09.国道1号バイパス沿いにおける新たな商業集積の実現 26.9%	09.国道1号バイパス沿いにおける新たな商業集積の実現 29.5%
3	01.生産性の高い農業基盤の整備や農業の担い手の育成 17.7%	01.生産性の高い農業基盤の整備や農業の担い手の育成 21.9%	04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致 25.8%	05.勤労者福祉の充実 19.8%	01.生産性の高い農業基盤の整備や農業の担い手の育成 23.2%	01.生産性の高い農業基盤の整備や農業の担い手の育成 20.5%	08.地域に密着した商業・サービス業の振興 20.9%	04.雇用の場の拡大に結びつく企業誘致 22.2%	05.勤労者福祉の充実 18.2%

(選択率の高い、上位3位までを表示)

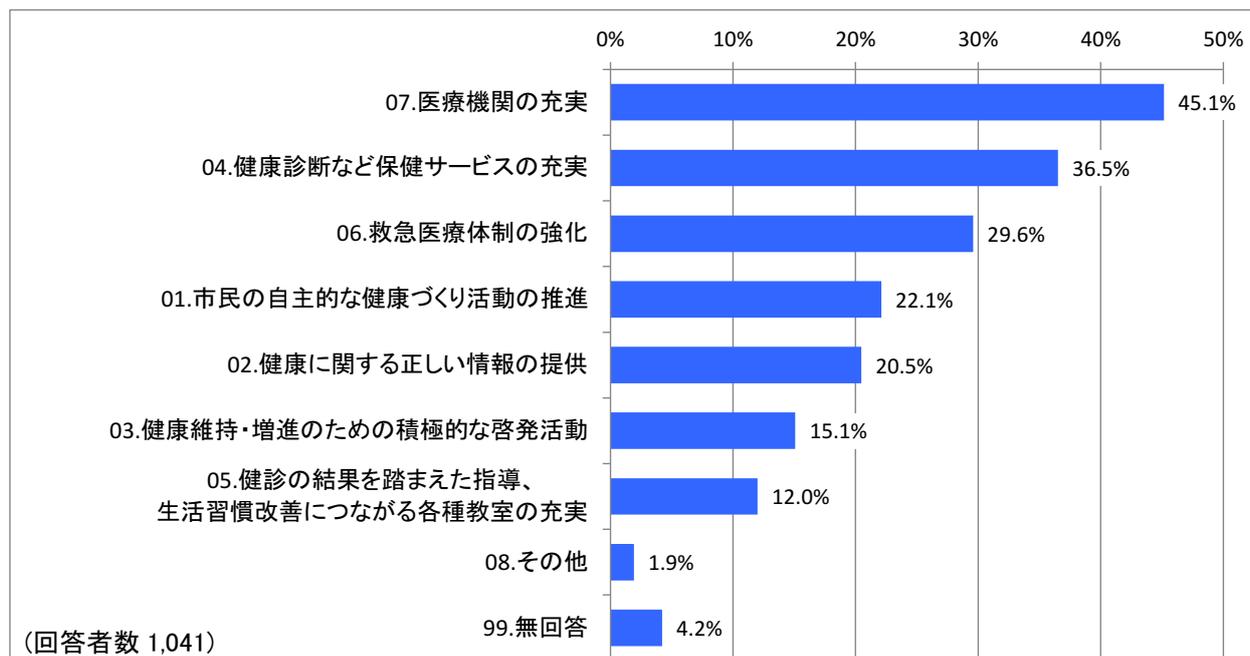
6) 健康で暮らし続けられるまちづくり

一般

問 13：健康で暮らし続けられるまちづくりを推進するために、とくに充実すべき事からは次のうちどれですか。（2つまで選択）

(1) 全体の傾向

健康で暮らし続けられるまちづくりの推進については、「07. 医療機関の充実」が最も多く、回答者の 45.1%が選択しています。次いで「04. 健康診断など保健サービスの充実」、「06. 救急医療体制の強化」となっています。



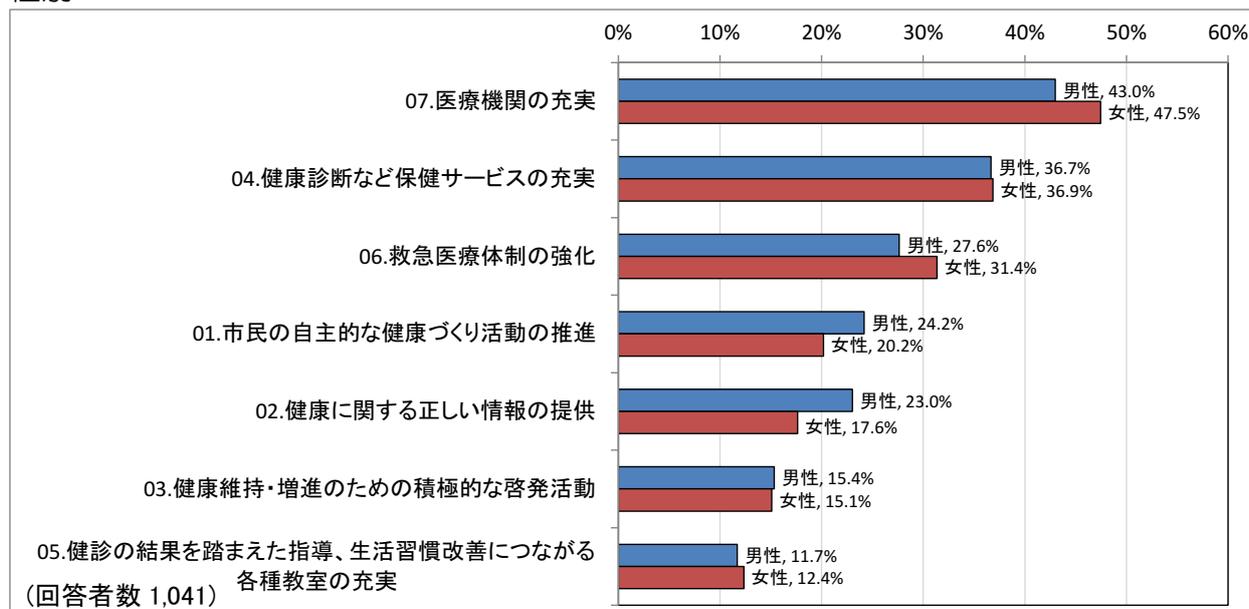
(2) 年齢別の傾向

10歳代・30歳以上は「07. 医療機関の充実」を、20歳代では「04. 健康診断など保健サービスの充実」を選択する割合が最も高くなっています。

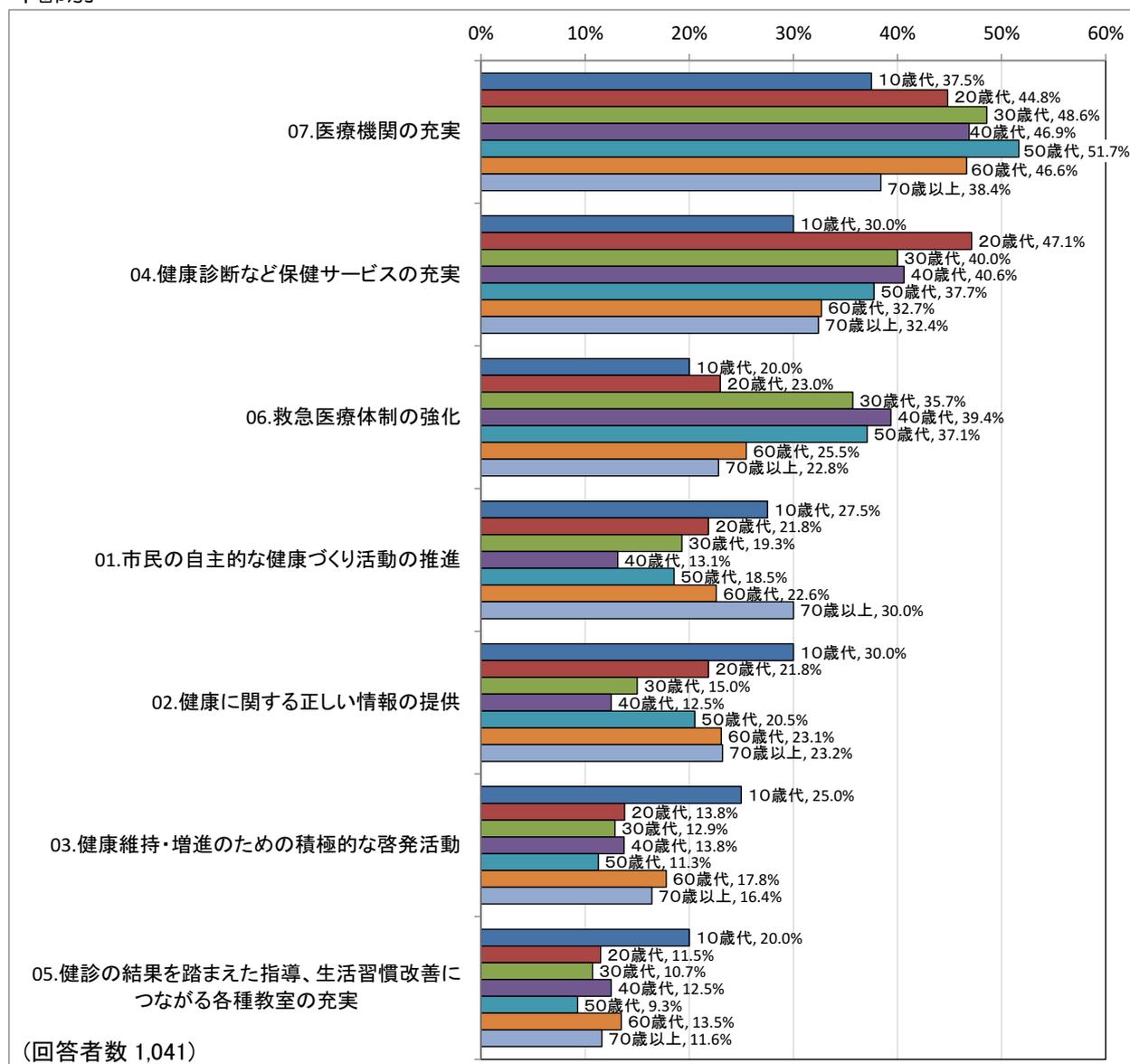
(3) 居住地区別の傾向

岩根を除く全ての地区では「07. 医療機関の充実」を、岩根では「04. 健康診断など保健サービスの充実」を選択する割合が最も高くなっています。

性別

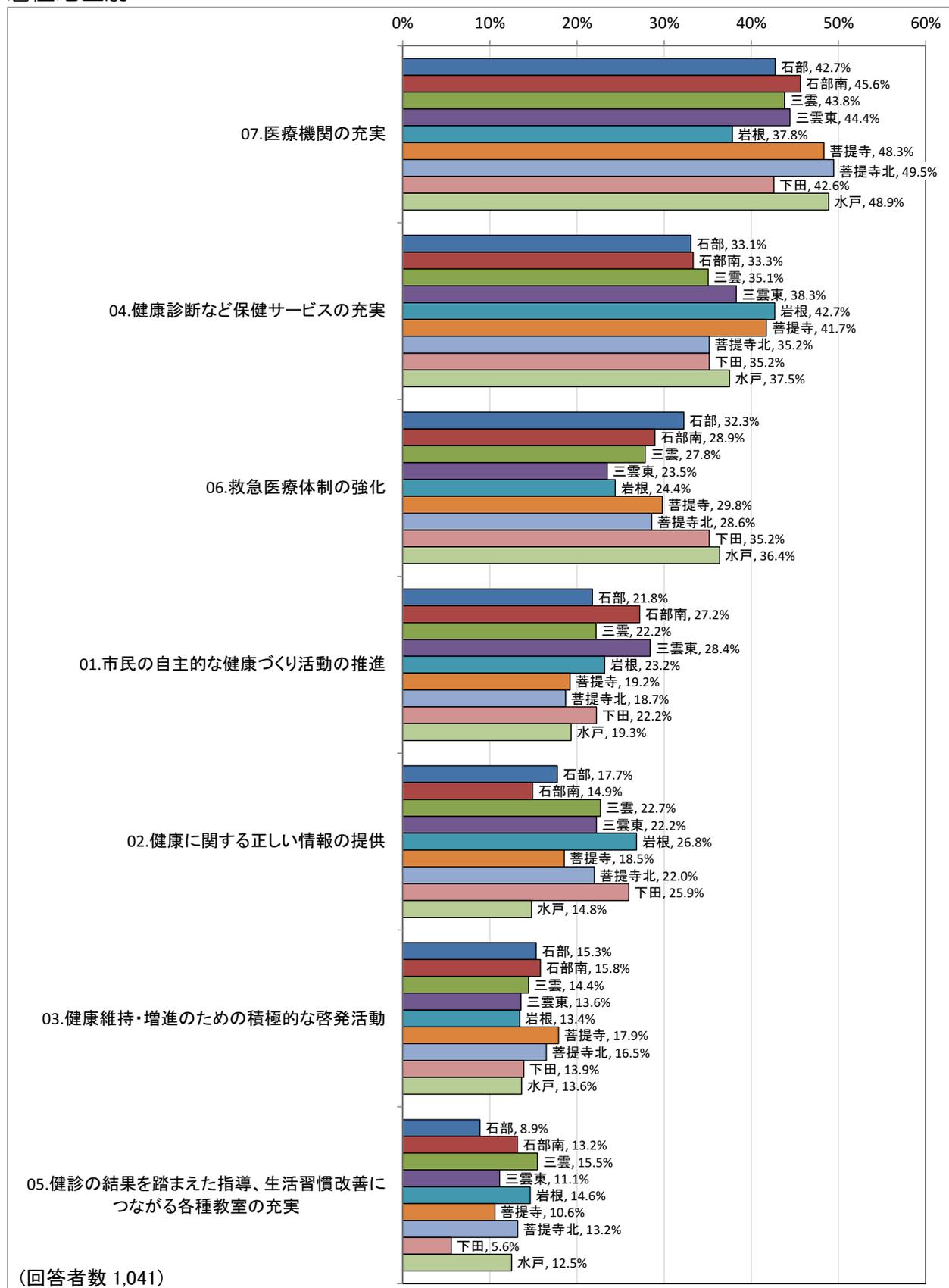


年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

居住地区別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

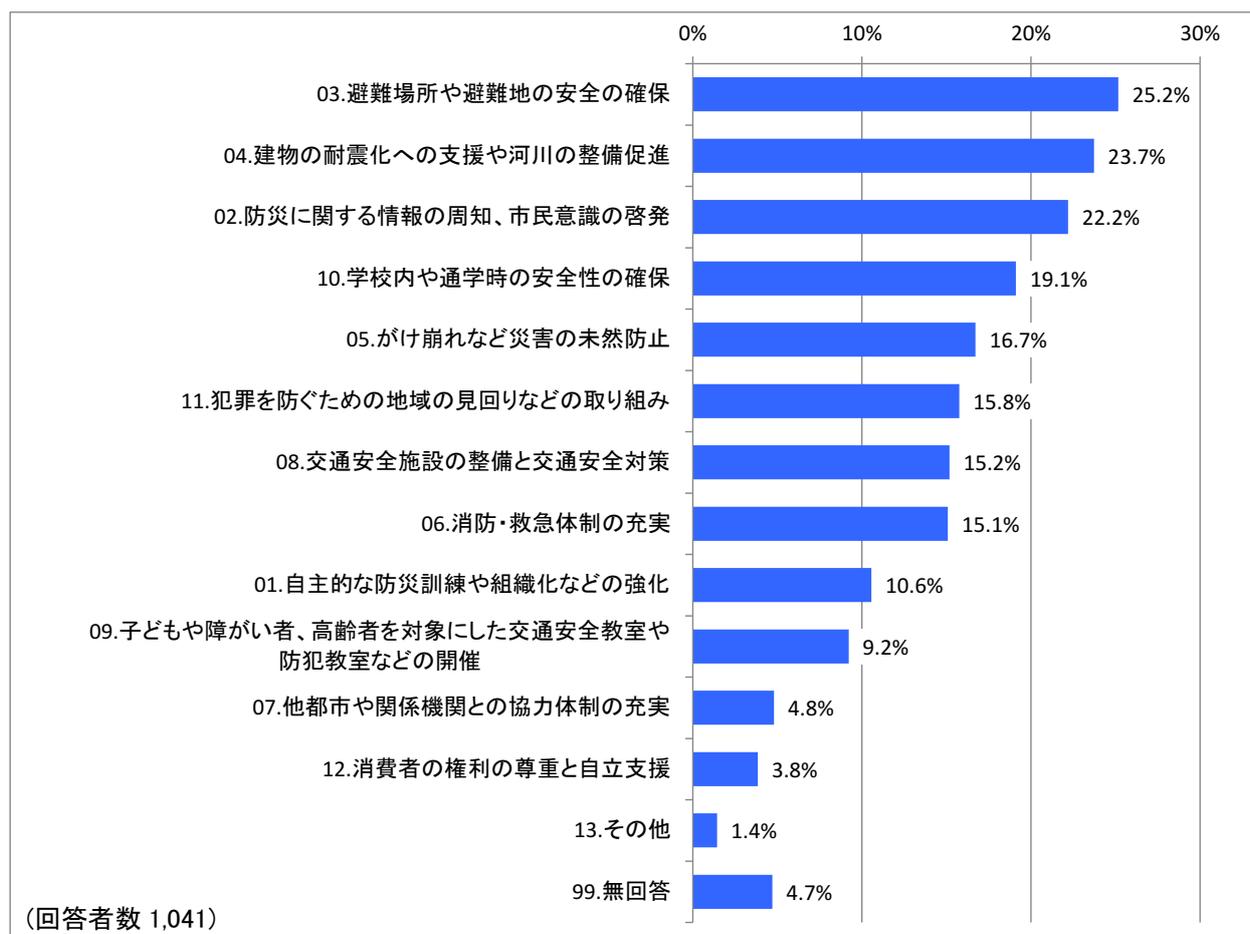
7) 安全で安心なまちづくり

一般

問 14：安全で安心なまちづくりを推進するために、とくに充実すべき事からは次のうちどれですか。(2つまで選択)

(1) 全体の傾向

安全で安心なまちづくりの推進については、「03. 避難場所や避難地の安全の確保」が最も多く、次いで「04. 建物の耐震化への支援や河川の整備促進」、「02. 防災に関する情報の周知、市民意識の啓発」の順となっています。



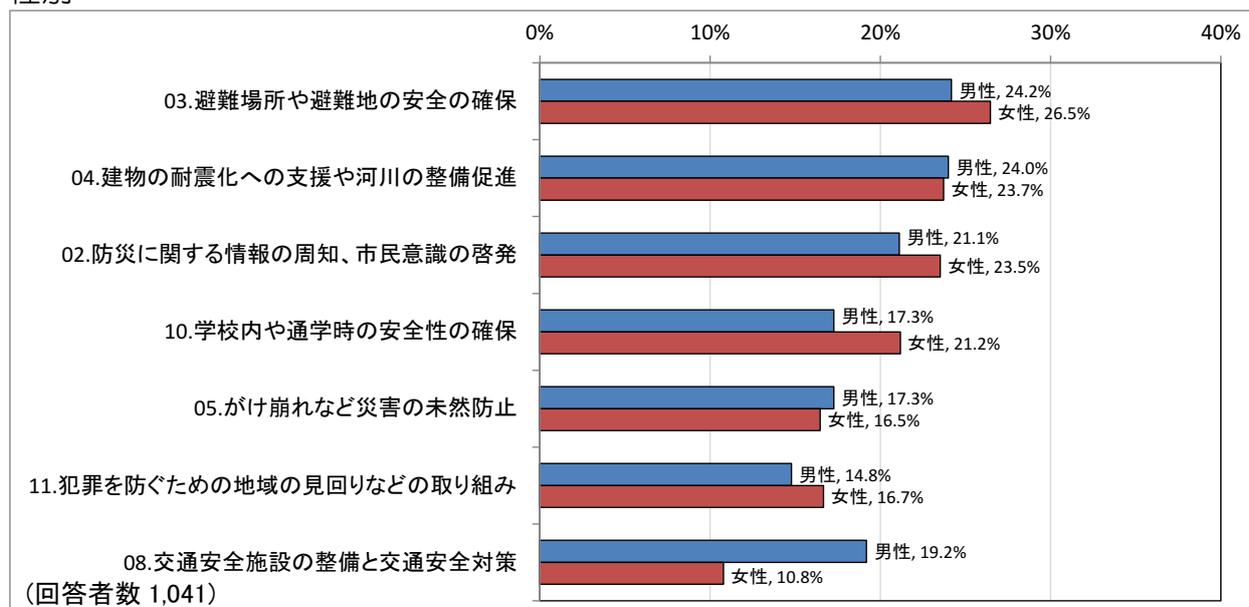
(2) 年齢別の傾向

10歳代と40歳と60歳以上は「03. 避難場所や避難地の安全の確保」を、20歳代と50歳代は「04. 建物の耐震化への支援や河川の整備促進」を、30歳代は「10. 学校内や通学時の安全性の確保」を選択する割合が最も高くなっています。

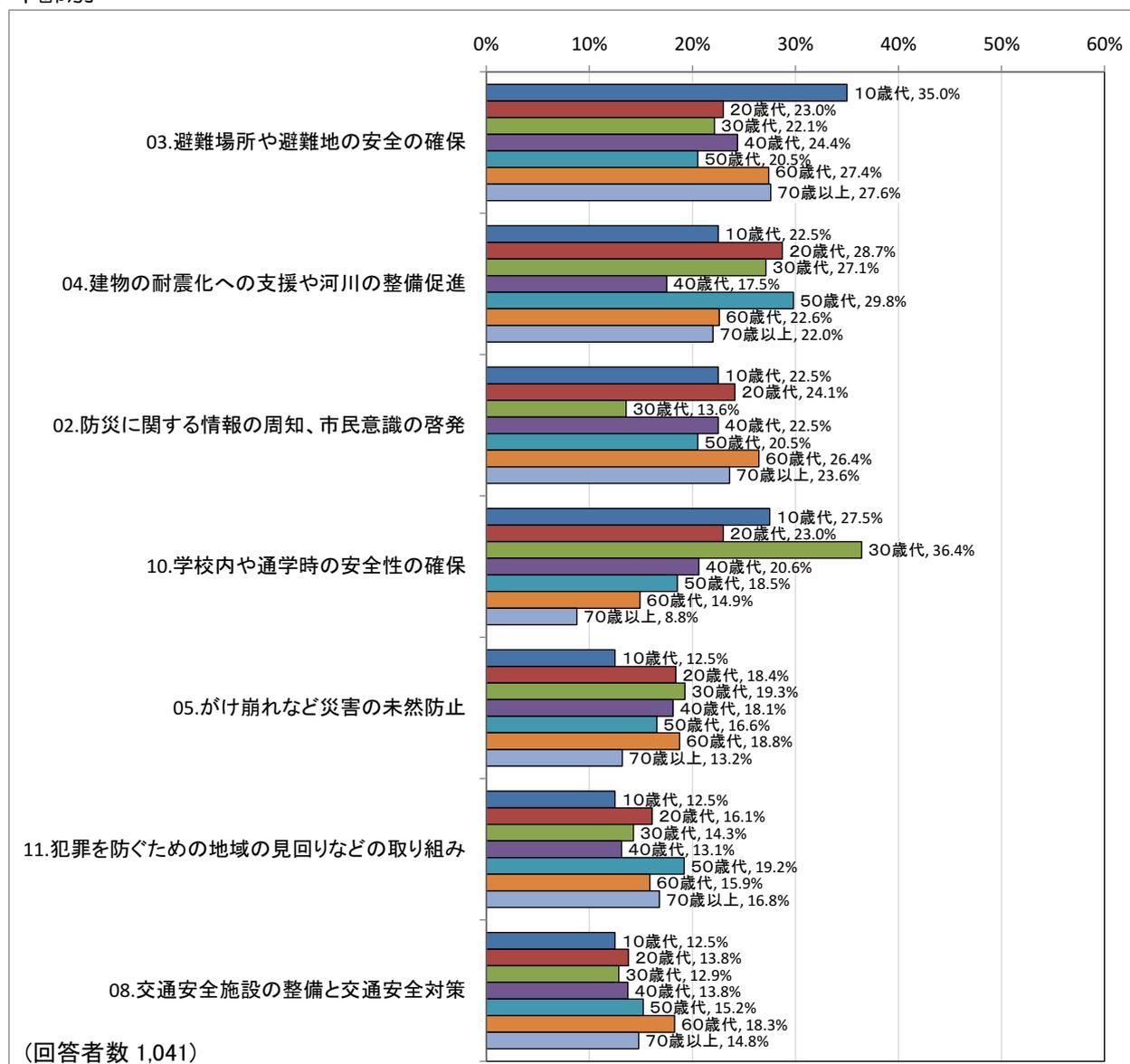
(3) 居住地区別の傾向

三雲東・岩根・菩提寺北・下田・水戸では「03. 避難場所や避難地の安全の確保」を、石部・三雲・岩根は「04. 建物の耐震化への支援や河川の整備促進」を、石部南・菩提寺は「02. 防災に関する情報の周知、市民意識の啓発」を、水戸では「10. 学校内や通学時の安全性の確保」を選択する割合も最も高くなっています。

性別

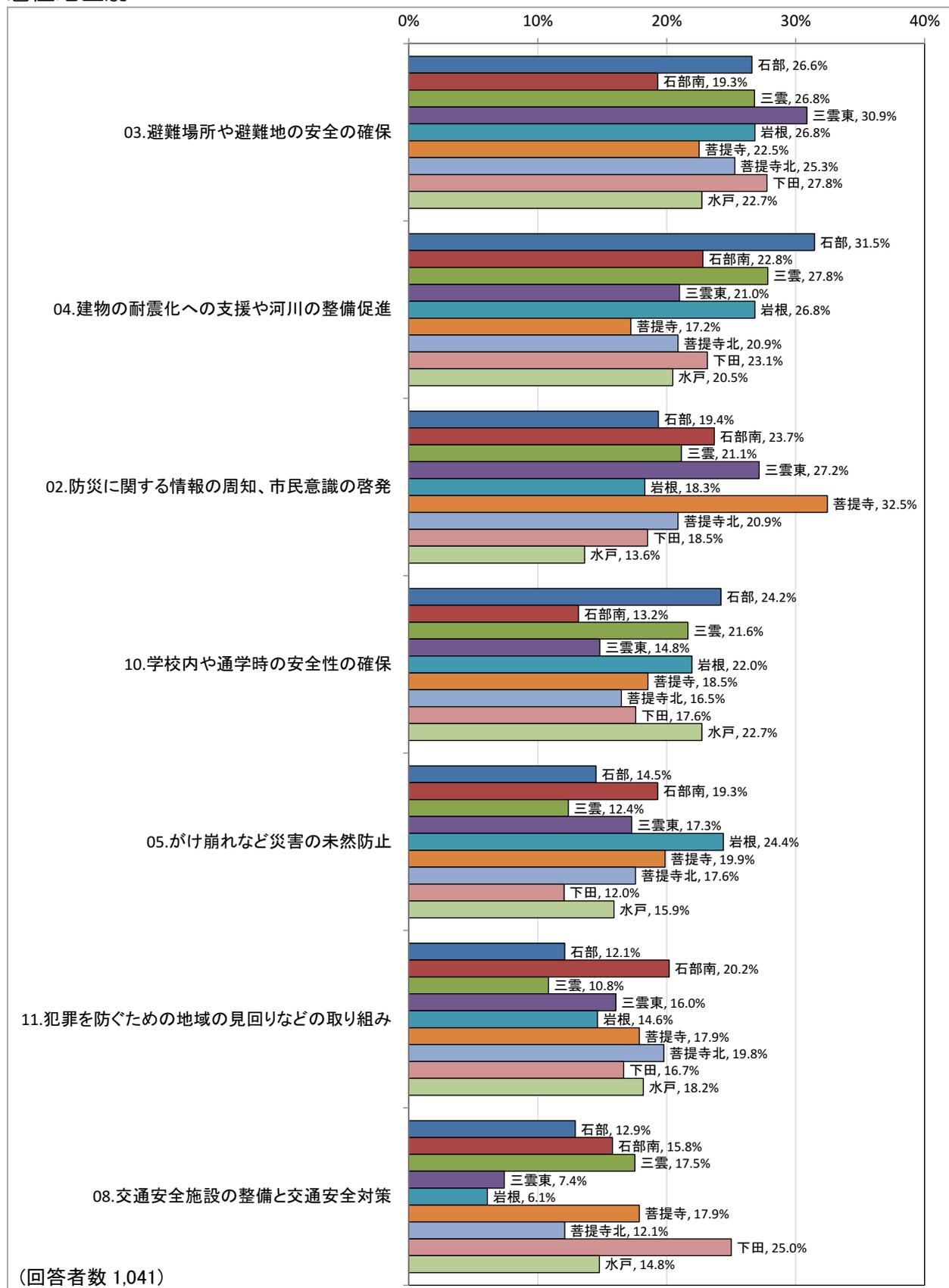


年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

居住地区別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

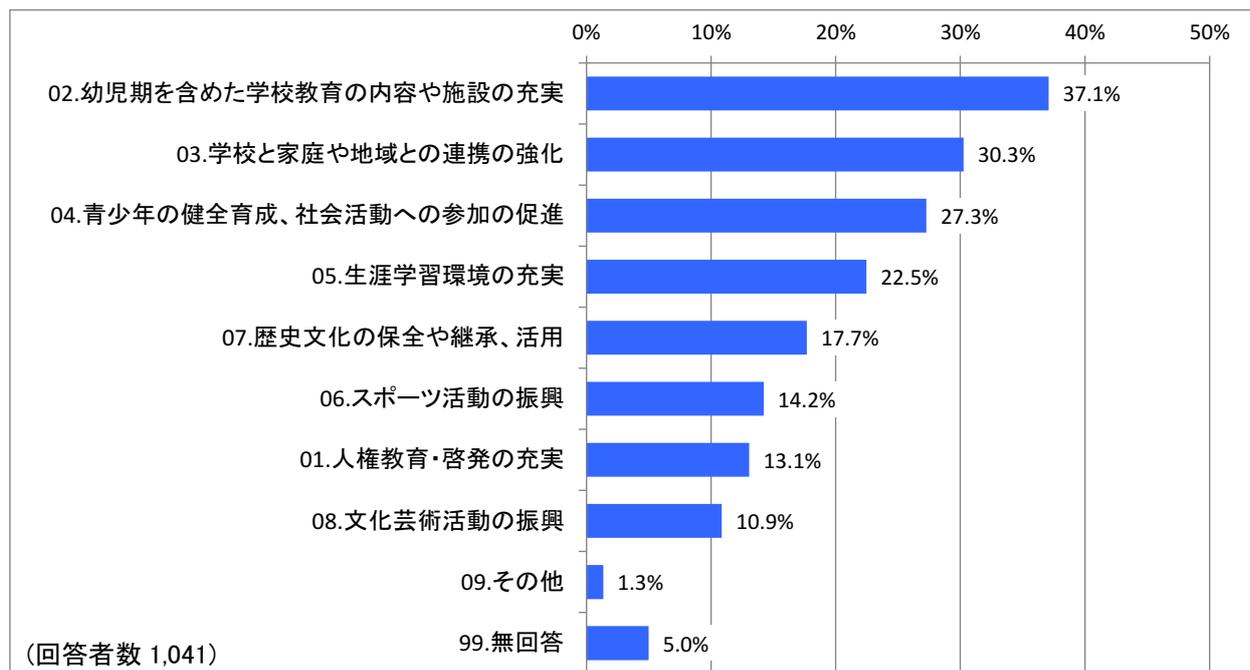
8) 誇りとなる市民文化を創造するまちづくり

一般

問 15：誇りとなる市民文化を創造するまちづくりを推進するために、とくに充実すべき事からは次のうちどれですか。（2つまで選択）

(1) 全体の傾向

誇りとなる市民文化を創造するまちづくりの推進については、「02. 幼児期を含めた学校教育の内容や施設の充実」が最も多く、次いで「03. 学校と家庭や地域との連携の強化」、「04. 青少年の健全育成、社会活動への参加の促進」の順となっています。



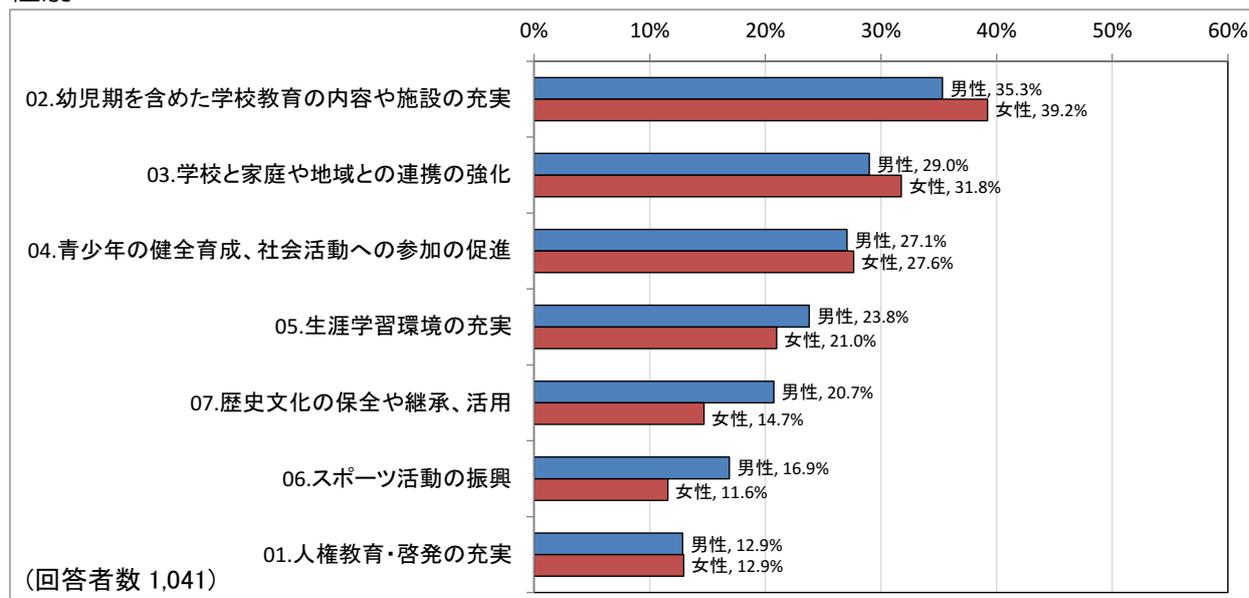
(2) 年齢別の傾向

10～40 歳代は「02. 幼児期を含めた学校教育の内容や施設の充実」を選択する割合が高くなっています。特に、乳幼児や児童の親世代にあたる 30 歳代では、「02. 幼児期を含めた学校教育の内容や施設の充実」を回答者の半数以上が選択しています。

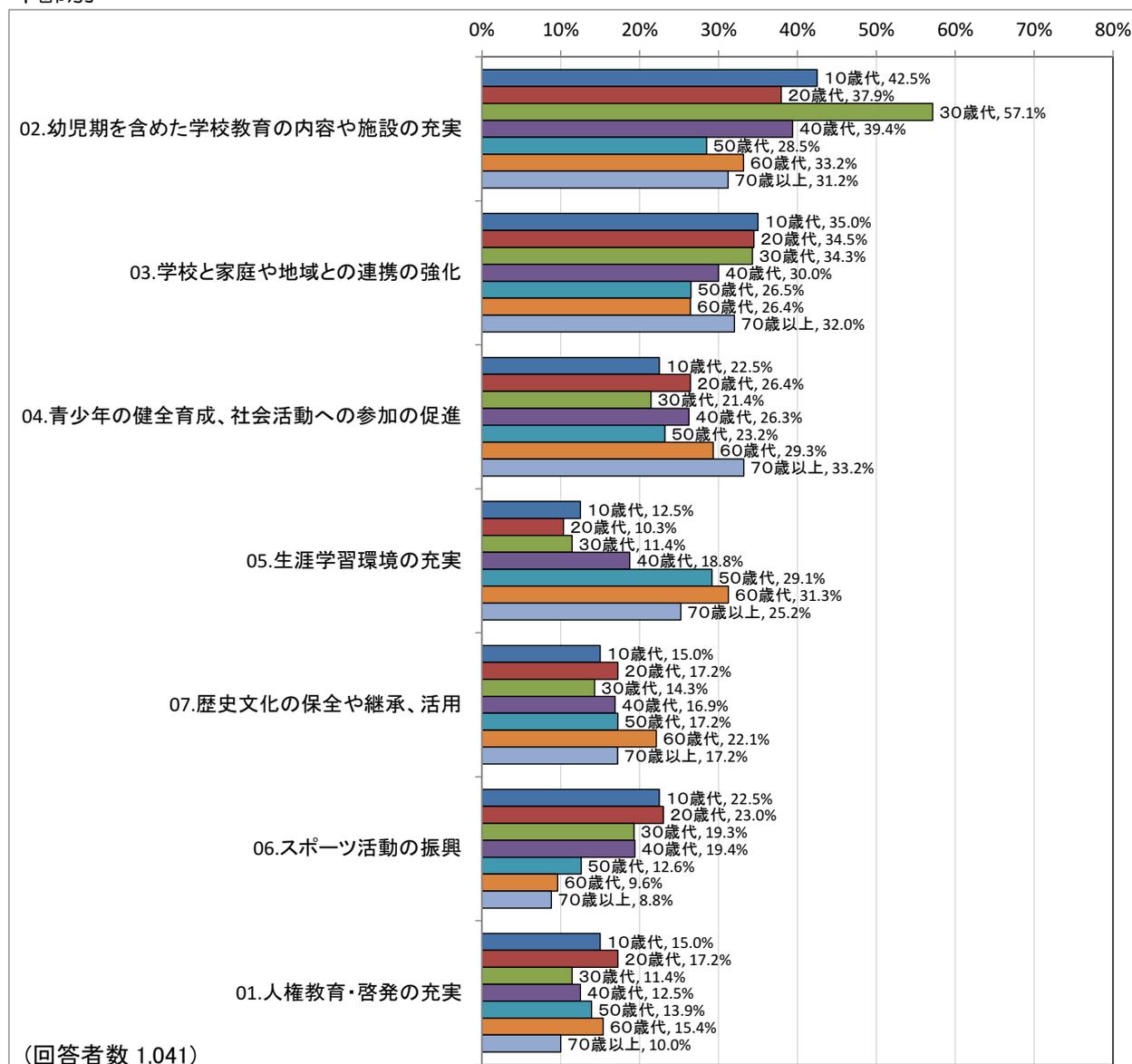
(3) 居住地区別の傾向

石部・石部南・岩根を除く全ての地区では「02. 幼児期を含めた学校教育の内容や施設の充実」を、石部・石部南では「03. 学校と家庭や地域との連携の強化」を、岩根では「04. 青少年の健全育成、社会活動への参加の促進」を選択する割合が最も高くなっています。

性別

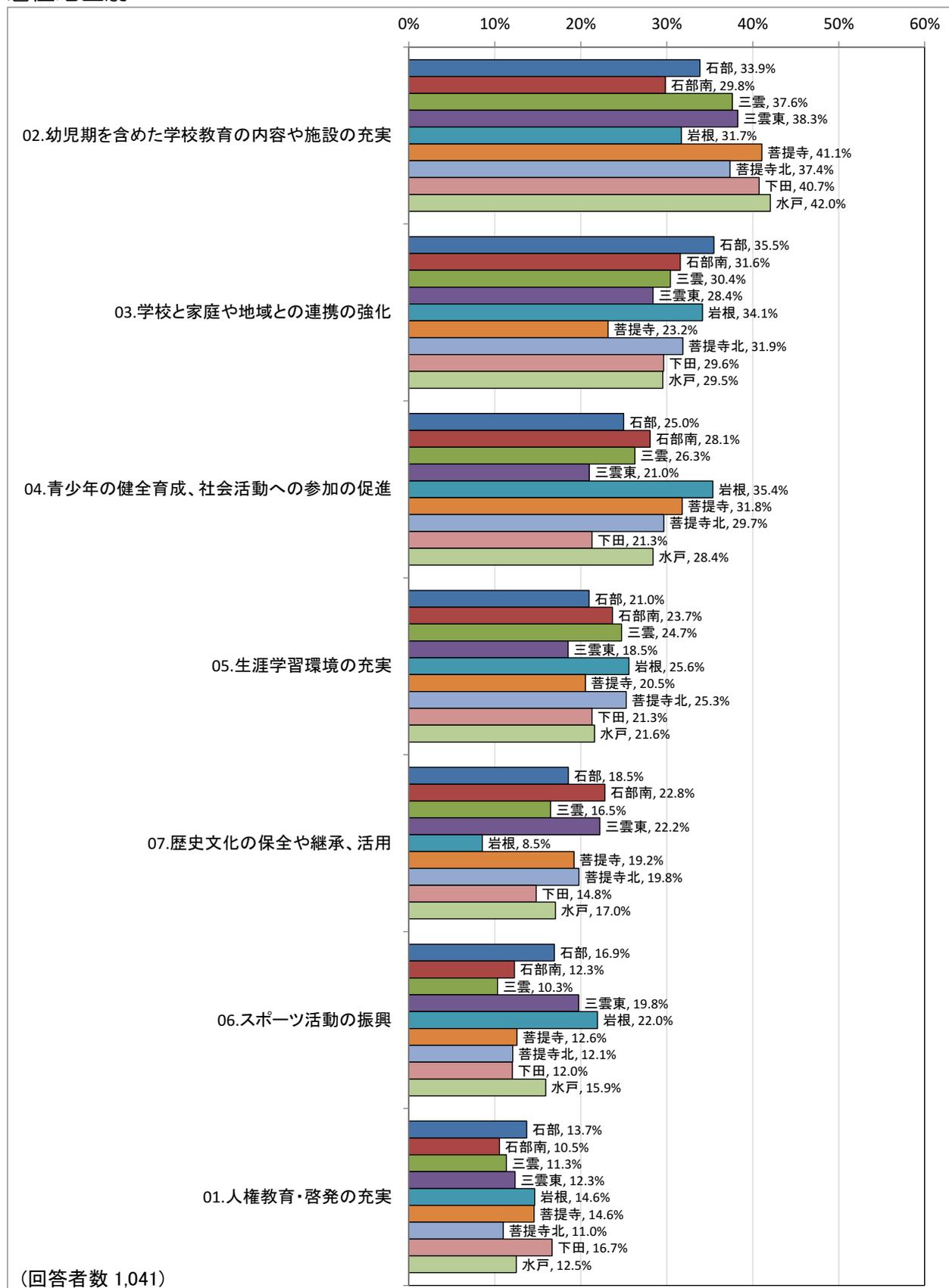


年齢別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

居住地区別



(選択率の高い、上位7位までを表示)

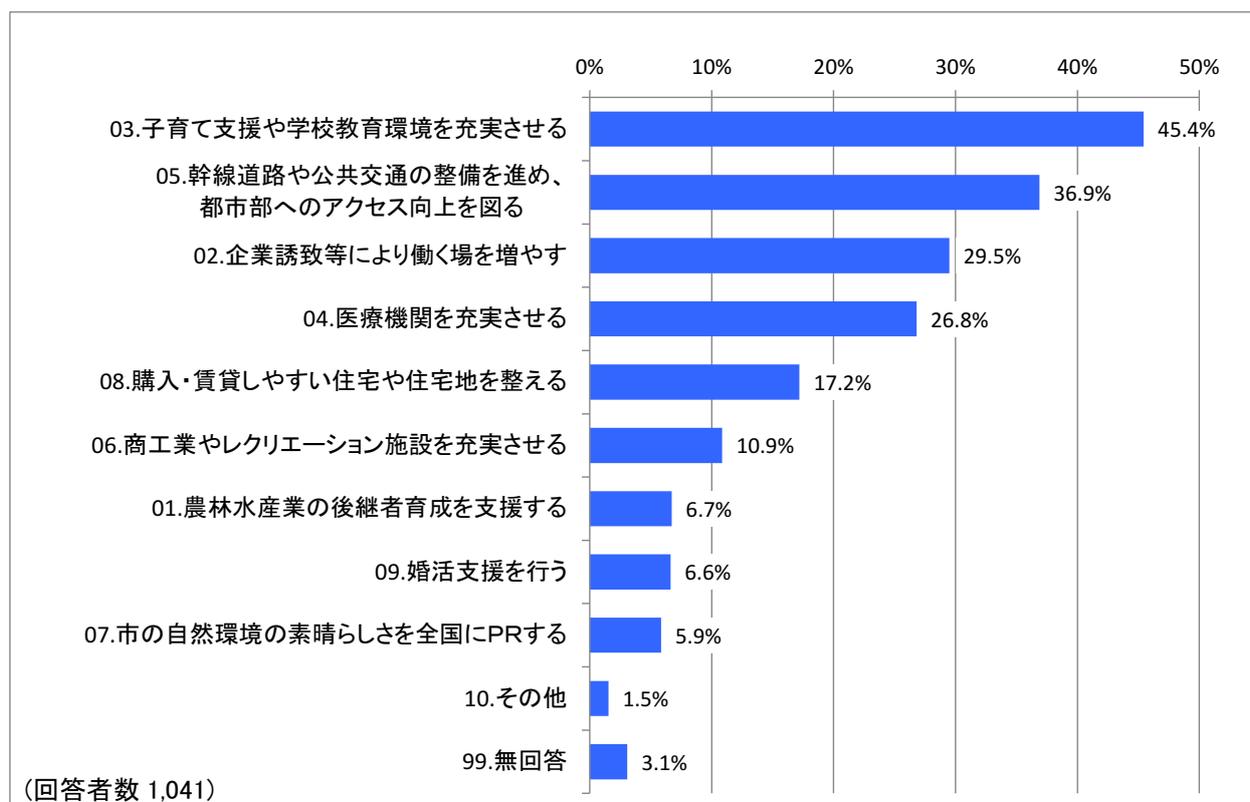
9) 定住・移住に必要な取り組み

一般

問 16：若い世代が湖南省に定住・移住するために、何が必要だと思いますか。（2つまで選択）

(1) 全体の傾向

定住・移住が進むまちづくりについては、「03.子育て支援や学校教育環境を充実させる」が最も多く、回答者の45.5%が選択しています。次いで「05.幹線道路や公共交通の整備を進め、都市部へのアクセス向上を図る」、「02.企業誘致等により働く場を増やす」、「04.医療機関を充実させる」の順となっています。



(2) 年齢別の傾向

10～20歳代は「05.幹線道路や公共交通の整備を進め、都市部へのアクセス向上を図る」の割合が最も高く、半数を超える回答者が選択しています。30～60歳代では「03.子育て支援や学校教育環境を充実させる」を、70歳以上は「02.企業誘致等により働く場を増やす」を選択する割合が最も高くなっています。

(3) 居住地区別の傾向

菩提寺北を除く全ての地区では「03.子育て支援や学校教育環境を充実させる」を、菩提寺北では「05.幹線道路や公共交通の整備を進め、都市部へのアクセス向上を図る」を選択する割合が最も高くなっています。

性別

(回答者数 1,041)

	男性	女性
1	03.子育て支援や学校教育環境を充実させる 43.0%	03.子育て支援や学校教育環境を充実させる 48.2%
2	05.幹線道路や公共交通の整備を進め、都市部へのアクセス向上を図る 34.9%	05.幹線道路や公共交通の整備を進め、都市部へのアクセス向上を図る 38.6%
3	02.企業誘致等により働く場を増やす 31.9%	04.医療機関を充実させる 28.8%

年齢別

(回答者数 1,041)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1	05.幹線道路や公共交通の整備を進め、都市部へのアクセス向上を図る 52.5%	05.幹線道路や公共交通の整備を進め、都市部へのアクセス向上を図る 50.6%	03.子育て支援や学校教育環境を充実させる 65.7%	03.子育て支援や学校教育環境を充実させる 47.5%	03.子育て支援や学校教育環境を充実させる 44.4%	03.子育て支援や学校教育環境を充実させる 48.6%	02.企業誘致等により働く場を増やす 42.8%
2	03.子育て支援や学校教育環境を充実させる 37.5%	03.子育て支援や学校教育環境を充実させる 49.4%	05.幹線道路や公共交通の整備を進め、都市部へのアクセス向上を図る 36.4%	05.幹線道路や公共交通の整備を進め、都市部へのアクセス向上を図る 36.3%	05.幹線道路や公共交通の整備を進め、都市部へのアクセス向上を図る 40.4%	02.企業誘致等により働く場を増やす 33.2%	05.幹線道路や公共交通の整備を進め、都市部へのアクセス向上を図る 32.0%
3	08.購入・賃貸しやすい住宅や住宅地を整える 25.0%	08.購入・賃貸しやすい住宅や住宅地を整える 21.8%	04.医療機関を充実させる 25.0%	04.医療機関を充実させる 32.5%	04.医療機関を充実させる 28.5%	05.幹線道路や公共交通の整備を進め、都市部へのアクセス向上を図る 32.7%	03.子育て支援や学校教育環境を充実させる 30.8%

居住地区別

(回答者数 1,041)

	石部	石部南	三雲	三雲東	岩根	菩提寺	菩提寺北	下田	水戸
1	03.子育て支援や学校教育環境を充実させる 49.2%	03.子育て支援や学校教育環境を充実させる 46.5%	03.子育て支援や学校教育環境を充実させる 45.9%	03.子育て支援や学校教育環境を充実させる 49.4%	03.子育て支援や学校教育環境を充実させる 41.5%	03.子育て支援や学校教育環境を充実させる 46.4%	05.幹線道路や公共交通の整備を進め、都市部へのアクセス向上を図る 48.4%	03.子育て支援や学校教育環境を充実させる 38.0%	03.子育て支援や学校教育環境を充実させる 46.6%
2	05.幹線道路や公共交通の整備を進め、都市部へのアクセス向上を図る 40.3%	02.企業誘致等により働く場を増やす 35.1%	05.幹線道路や公共交通の整備を進め、都市部へのアクセス向上を図る 40.2%	02.企業誘致等により働く場を増やす 30.9%	02.企業誘致等により働く場を増やす 31.7%	05.幹線道路や公共交通の整備を進め、都市部へのアクセス向上を図る 38.4%	03.子育て支援や学校教育環境を充実させる 47.3%	05.幹線道路や公共交通の整備を進め、都市部へのアクセス向上を図る 37.0%	05.幹線道路や公共交通の整備を進め、都市部へのアクセス向上を図る 35.2%
3	02.企業誘致等により働く場を増やす 28.2%	05.幹線道路や公共交通の整備を進め、都市部へのアクセス向上を図る 32.5%	02.企業誘致等により働く場を増やす 25.8%	04.医療機関を充実させる 24.7%	08.購入・賃貸しやすい住宅や住宅地を整える 29.3%	02.企業誘致等により働く場を増やす 30.5%	02.企業誘致等により働く場を増やす 33.0%	04.医療機関を充実させる 33.3%	04.医療機関を充実させる 31.8%
				05.幹線道路や公共交通の整備を進め、都市部へのアクセス向上を図る 24.7%					

(選択率の高い、上位3位までを表示)

7. 自由記述

一般

自由記述については、365 人の方から 545 件の意見が得られました。

大分類別にみると、「生活基盤」と「行財政システム」に関する意見が多くなっています。また、小分類別にみると、「公共交通利便性向上、駅舎改善等」が最も多く、「子育て支援・環境充実等」、「行政の効率化（財政健全化、人員削減、事業の見直し・重点配分等）」などが上位となっています。

6つの目標	大分類	小分類	件数
みんなで共に進めるしくみをつくろう	人権尊重 3	外国人との交流	3
	自立・自助 25	市民主体、市民と行政との協働によるまちづくり	13
情報公開・広報の充実等		12	
うるおいのあるまちをつくろう	自然との共生 31	身近な公園・緑地、レクリエーション施設等の整備等	12
		自然環境・田園環境の保全（森林・河川、田畑の保全等）	7
		山林、河川等への不法投棄防止、美化・緑化活動	10
		地球温暖化、リサイクル等	2
活気あるまちをつくろう	生活基盤 182	公共交通利便性向上、駅舎改善等	106
		道路網・河川整備、渋滞の緩和等、道路・排水溝等の維持管理	23
		安全に利用できる道路整備（歩道・自転車道の整備・新設等）	25
		市街地整備（駅前整備・中心核づくり・土地利用等）	16
		住環境の整備・良好な景観形成、空き家の問題	12
	産業 32	商工業振興（大型店舗・工場の誘致、既存商業街の活性化等）	21
		観光振興（観光PR、道の駅整備、ゆらら温泉の充実等）	6
		働く場の確保	3
		農林業振興	2
ほっとする暮らしをつくろう	健康 20	病院整備、緊急医療体制の整備等	17
		健康づくりの推進（情報提供、保健サービスの充実等）	3
	福祉 57	子育て支援・環境充実等	42
		高齢者福祉・介護の充実、福祉施設の整備	8
		地域で支え合う地域福祉の促進	2
		障害者福祉の充実	5
	安心・安全 40	防犯対策（街灯の整備、パトロール充実等）	10
		市民マナーの低下（ペットの糞、ポイ捨て、車・自転車の運転等）	6
		防災対策（防災行政無線の活用、避難場所の確保等）	7
		安全で安心なまちづくり	4
		騒音・振動・異臭等（工場・道路）	1
		交通安全施設の整備、交通安全対策	12

6つの目標	大分類	小分類	件数
いきいきとした暮らしをつくろう	教育・文化 35	学校教育・施設の充実、青少年の健全育成等	13
		生涯学習環境の充実（図書館の充実）、スポーツ・文化振興等	12
		市民交流、ふれあい交流機会、イベントの充実等	6
		歴史文化の保全や継承等	4
明日を拓くしくみをつくろう	行財政システム 70	行政の効率化（財政健全化、人員削減、事業の見直し・重点配分等）	30
		行政サービス向上（対応の充実、西庁舎の運営、施設の活用等）	16
		職員の人材育成	6
		まちづくりの展望の提示	5
		合併の不満（地域格差、サービス低下、合併後の検証等）	5
		税金・公共料金負担減	6
		近隣自治体との連携	2
その他	その他 50	暮らしやすいまちづくり	24
		アンケートへの不満	11
		その他	15
合計			545

第3部 中学生調査結果

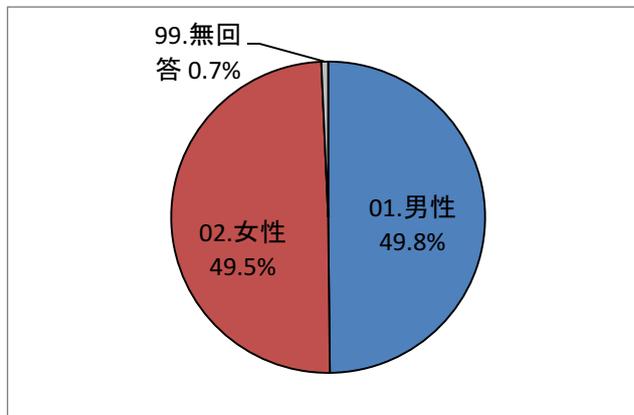
1. 回答者の属性

中学生

◆あなたの性別（1つ選択）

◆回答者の性別

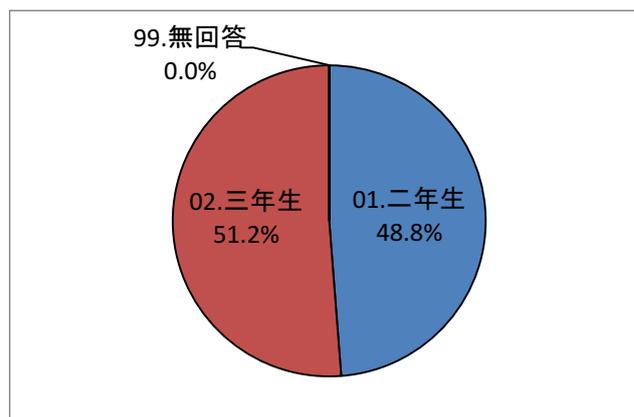
性別	回収数	構成比
01. 男性	428	49.8%
02. 女性	425	49.5%
99. 無回答	6	0.7%
合計	859	100.0%



◆あなたの学年（1つ選択）

◆回答者の学年

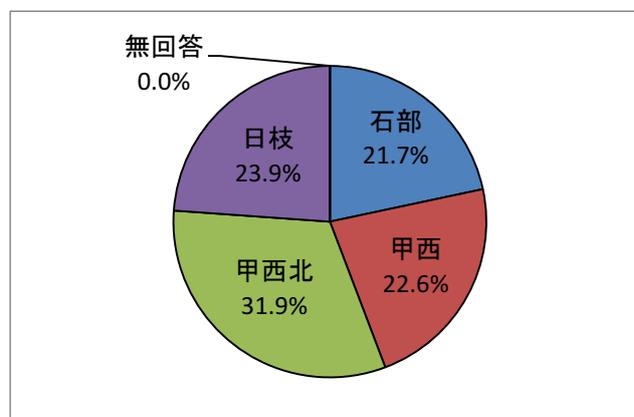
学年	回収数	構成比
01. 二年生	419	48.8%
02. 三年生	440	51.2%
99. 無回答	0	0.0%
合計	859	100.0%



◆あなたの中学校名

◆回答者が在籍する中学校

学年	回収数	構成比
01. 石部中学校	186	21.7%
02. 甲西中学校	194	22.6%
03. 甲西北中学校	274	31.9%
04. 日枝中学校	205	23.9%
99. 無回答	0	0.0%
合計	859	100.0%



2. いまの湖南省市について

1) 湖南省市が好きかどうか

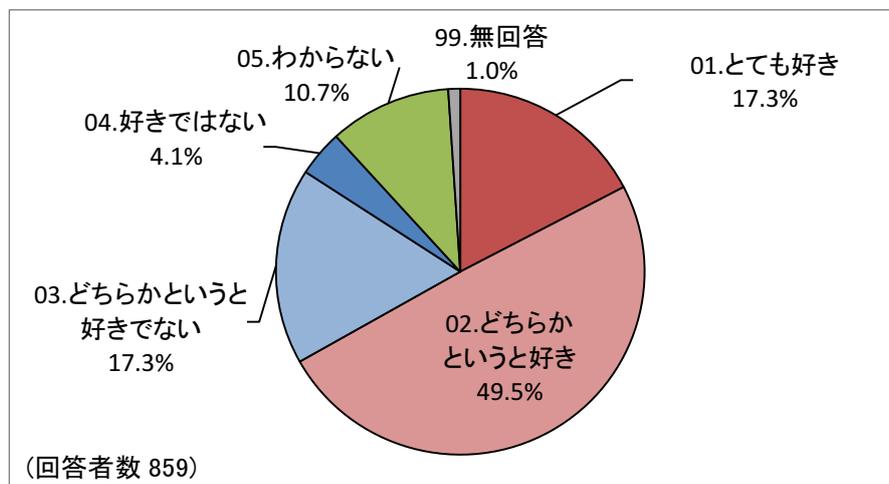
中学生

問1：あなたは、今住んでいる湖南省市が好きですか。（1つ選択）

(1) 全体の傾向

湖南省市が好きかどうかについては、「01. とても好き」が 17.3%、「02. どちらかという好き」が 49.5%で、合わせると回答者の 66.8%が「好き」と回答しています。

一方、「03. どちらかという好きでない」が 17.3%、「04. 好きでない」が 4.1%で、合わせると回答者の 21.4%が「好きでない」と回答しています。



小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

(2) 性別の傾向

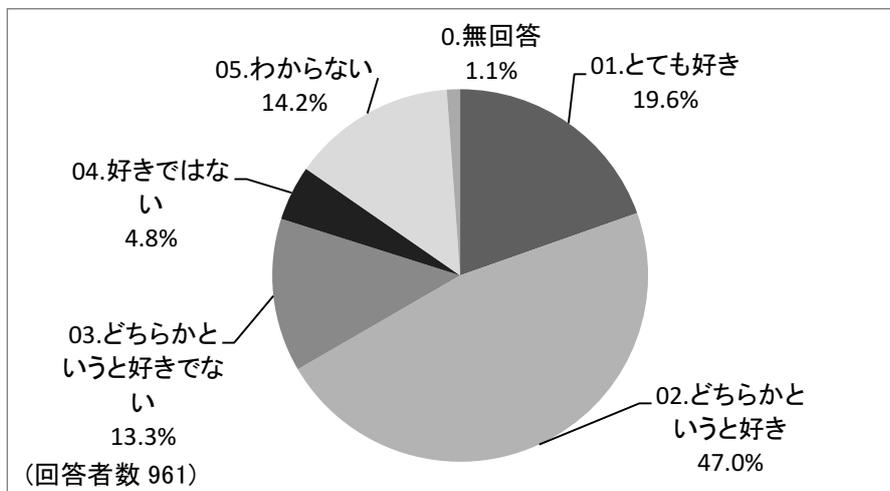
男性は、女性に比べて「01. とても好き」を選択する割合が高くなっています。女性は「02. どちらかという好き」を選択する割合が高くなっています。

(3) 中学校別の傾向

中学校別では、「01. とても好き」、「02. どちらかという好き」の合計が、石部で最も多く、72.1%の生徒が「好き」と回答しています。また、甲西・甲西北・日枝においても60%を超える生徒が「好き」と回答しています。

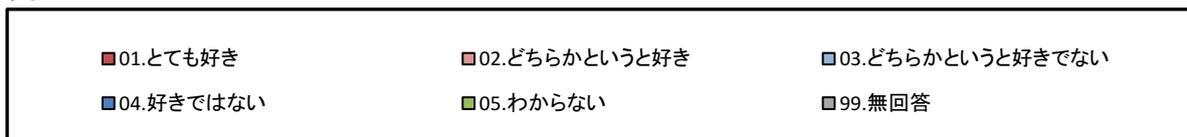
(4) 前回調査報告(平成 26 年実施)との比較

前回の調査結果と比較すると、大きな傾向に相違はありません。「01 とても好き」と回答する割合が若干低下し、「02 どちらかというとき好き」、「03 どちらかというとき好きでない」と回答する割合が若干上昇しています。



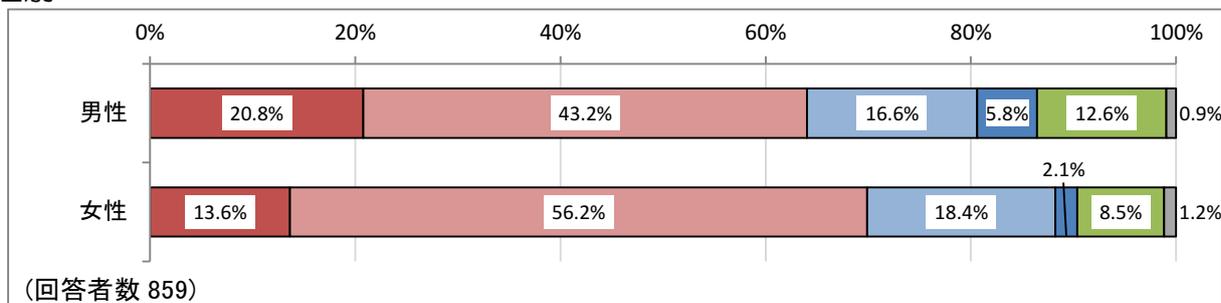
小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

凡例

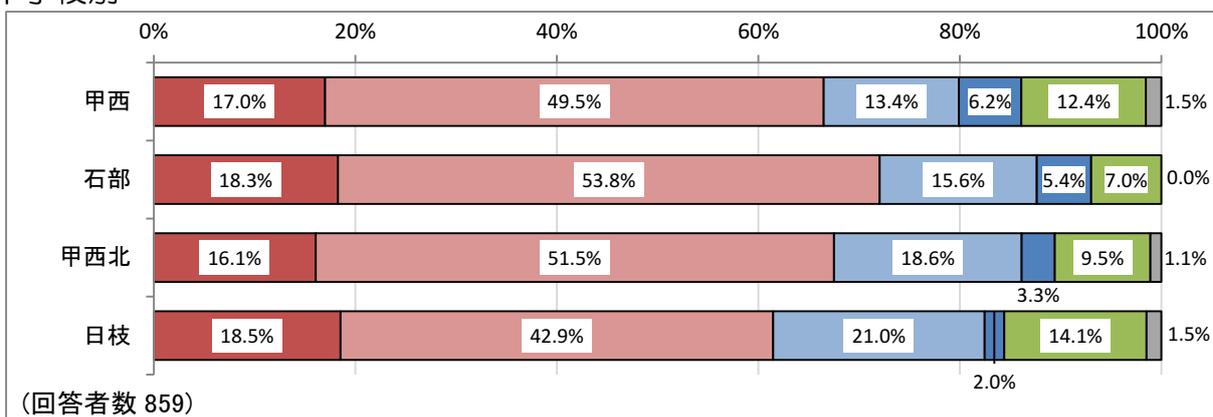


小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

性別



中学校別



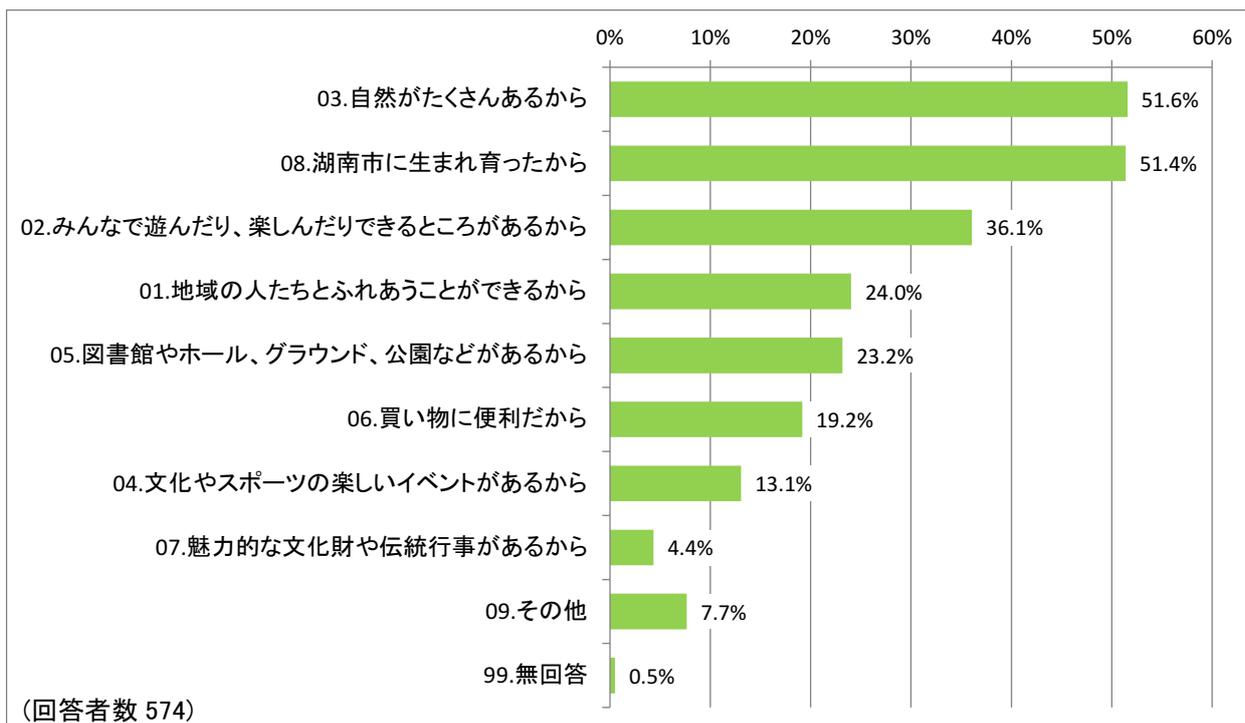
2) 好きな（好きでない）理由

中学生 好きな理由

問2：問1で、「01.とても好き」、「02.どちらかというとき好き」を選んだ方にお聞きします。
好きな理由は何ですか。（3つまで選択）

(1) 全体の傾向

「好き」とした生徒の選択理由は、「03.自然がたくさんあるから」が最も多く、次いで「08.湖南省に生まれ育ったから」となっており、いずれも回答者の50%以上が選択しています。



(2) 性別の傾向

男性は「08.湖南省に生まれ育ったから」を、女性は「03.自然がたくさんあるから」を選択する割合が高くなっています。

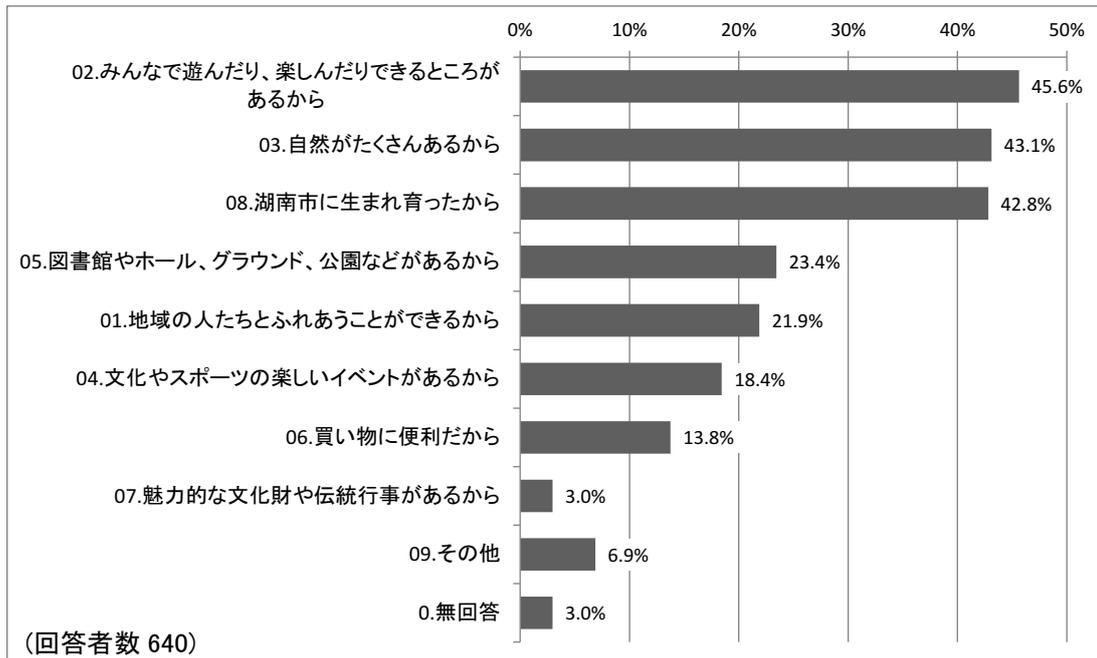
(3) 中学校別の傾向

石部・甲西北では「03.自然がたくさんあるから」を、甲西・日枝は「08.湖南省に生まれ育ったから」を選択する割合が最も高くなっています。

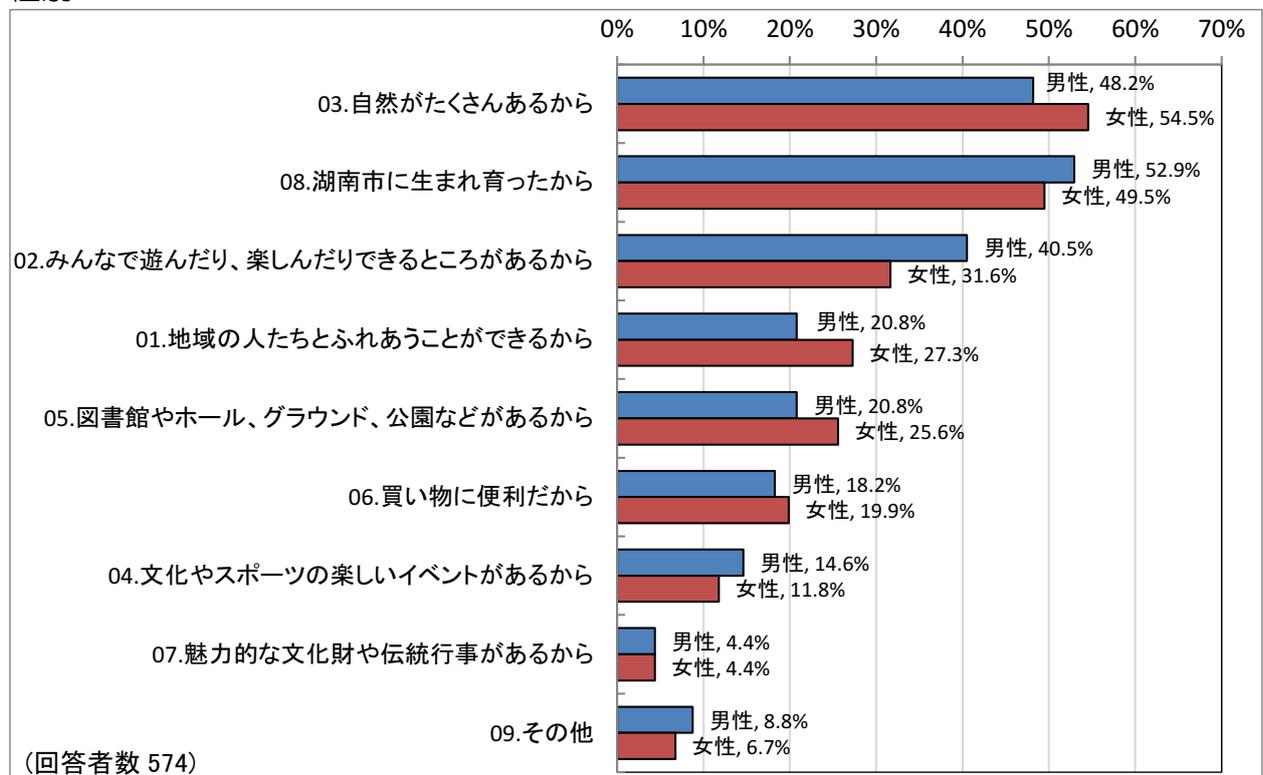
「03.自然がたくさんあるから」を選択する割合が、甲西・石部・甲西北では半数を超えています、日枝は37.7%と低くなっています。

(4) 前回調査結果(平成 26 年実施)との比較

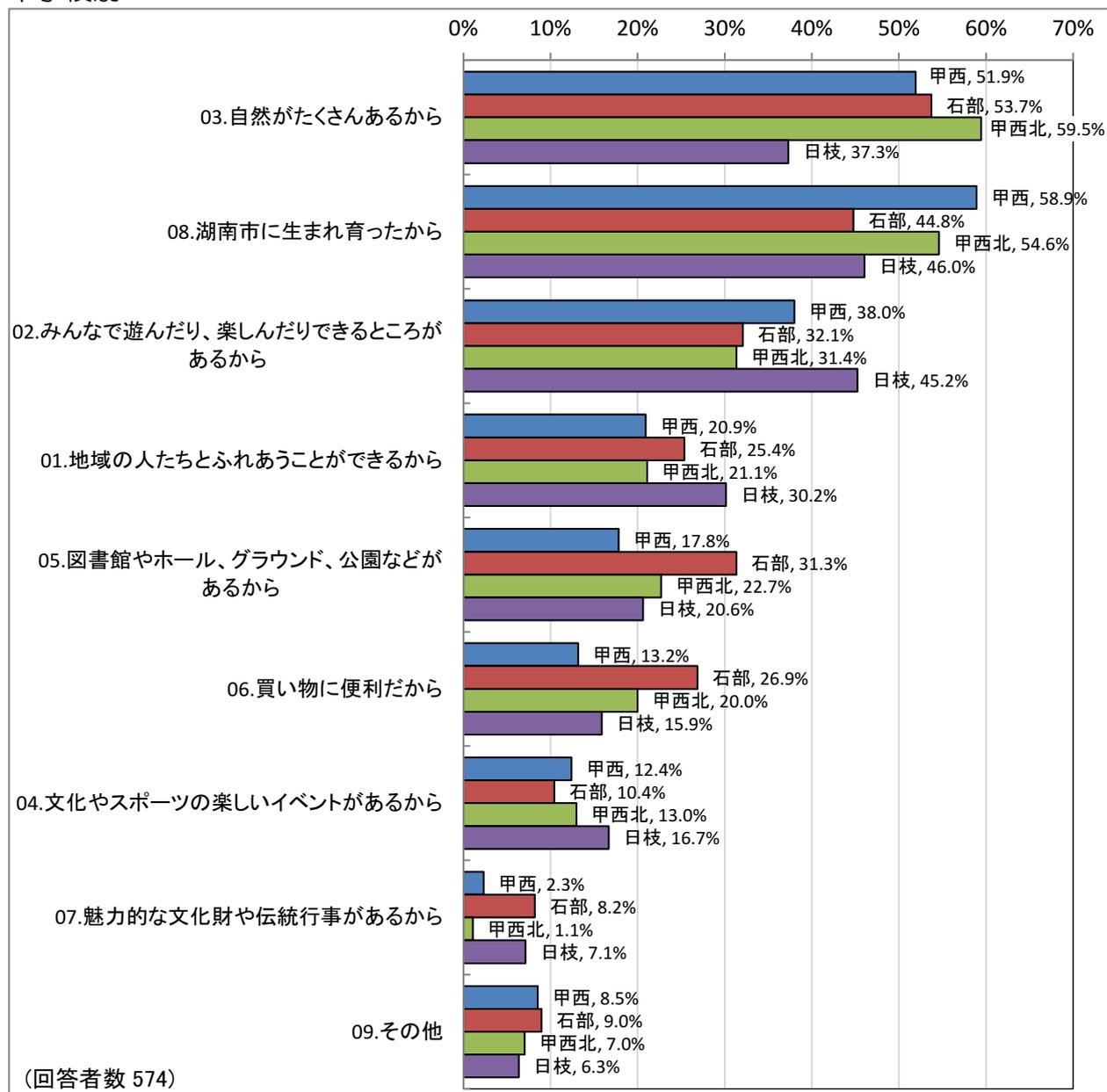
前回の調査結果と比較すると、前回 1 位の「02. みんなで遊んだり、楽しんだりできるところがあるから」を選択する割合が大きく減少しています。



性別



中学校別

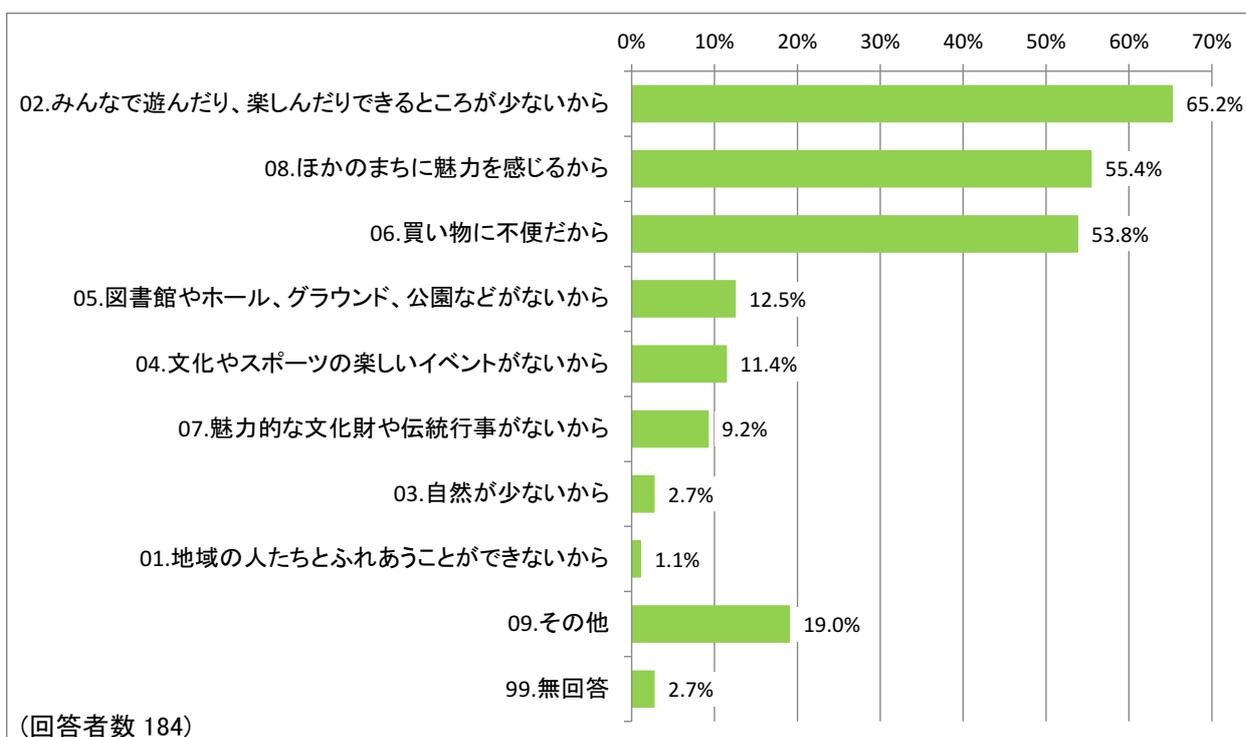


中学生

問3：問1で、「03.どちらかというが好きでない」、「04.好きでない」を選んだ方にお聞きします。好きでない理由は何ですか。（3つまで選択）

(1) 全体の傾向

「好きでない」とした生徒の選択理由は、「02. みんなで遊んだり、楽しんだりできるところが少ないから」が最も多く、次いで「08. ほかのまちに魅力を感じるから」、「06. 買い物に不便だから」の順となっており、いずれも回答者の50%以上が選択しています。

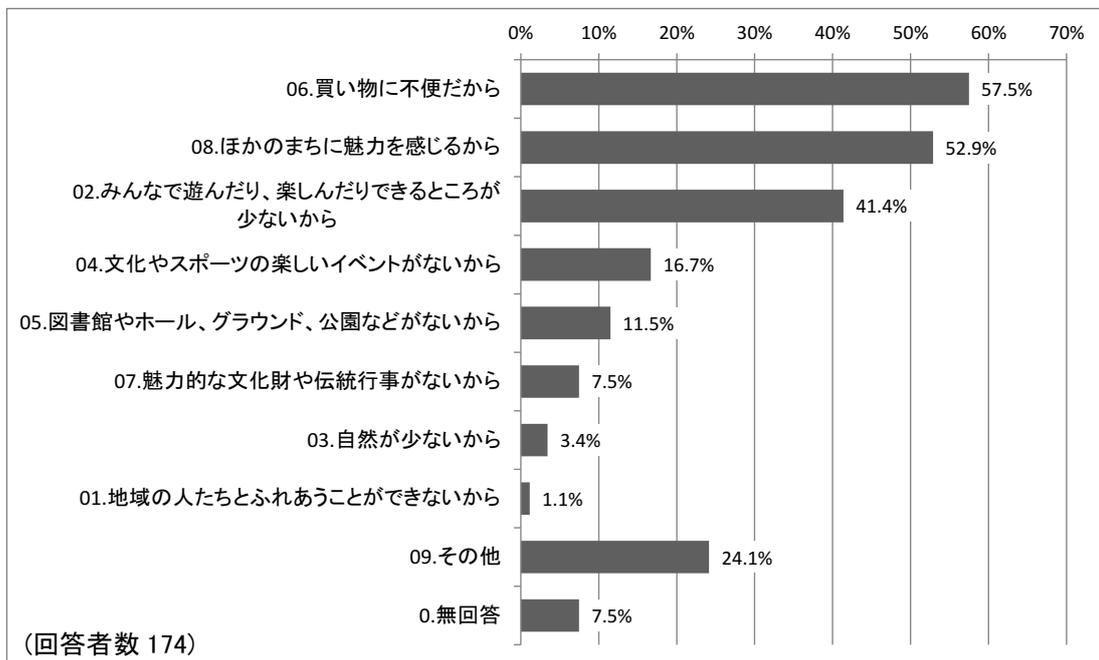


(2) 中学校別の傾向

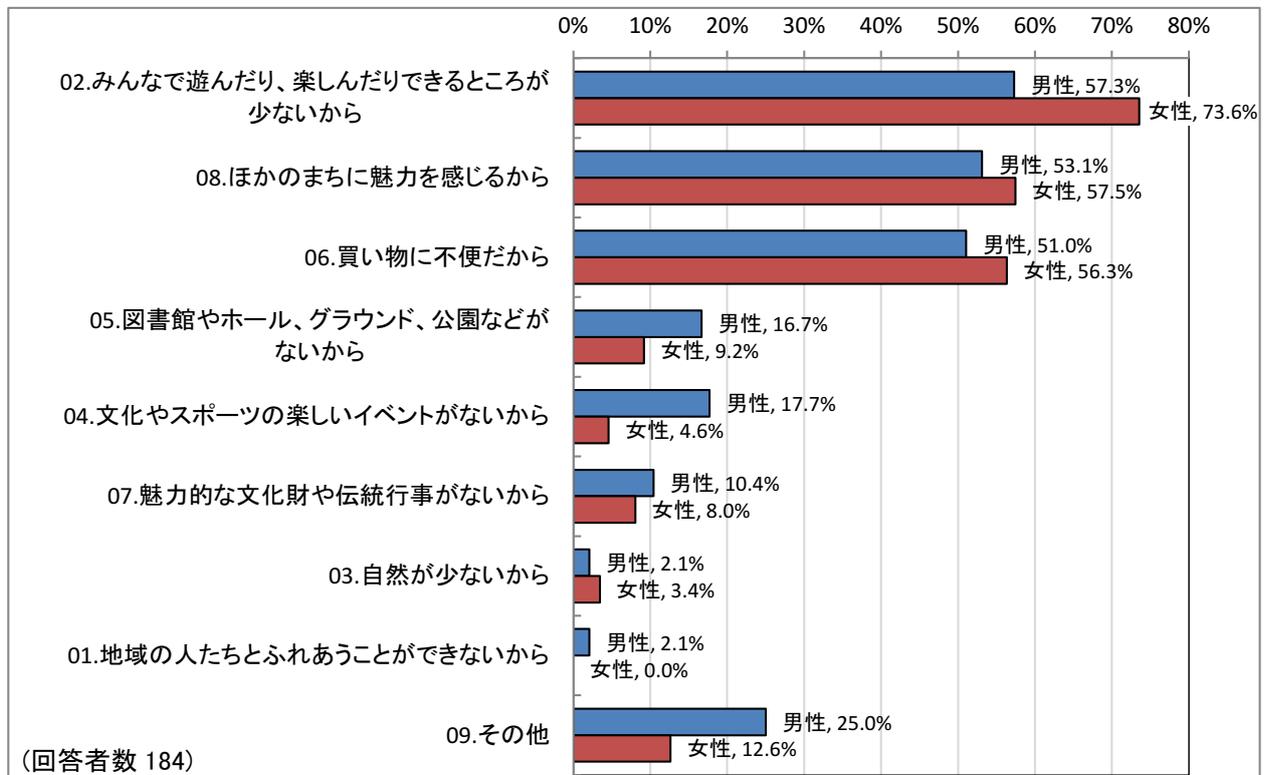
甲西北では「06. 買い物に不便だから」を、甲西・石部・日枝は「02. みんなで遊んだり、楽しんだりできるところが少ないから」を選択する割合が最も高くなっています。

(3) 前回調査結果(平成 26 年実施)との比較

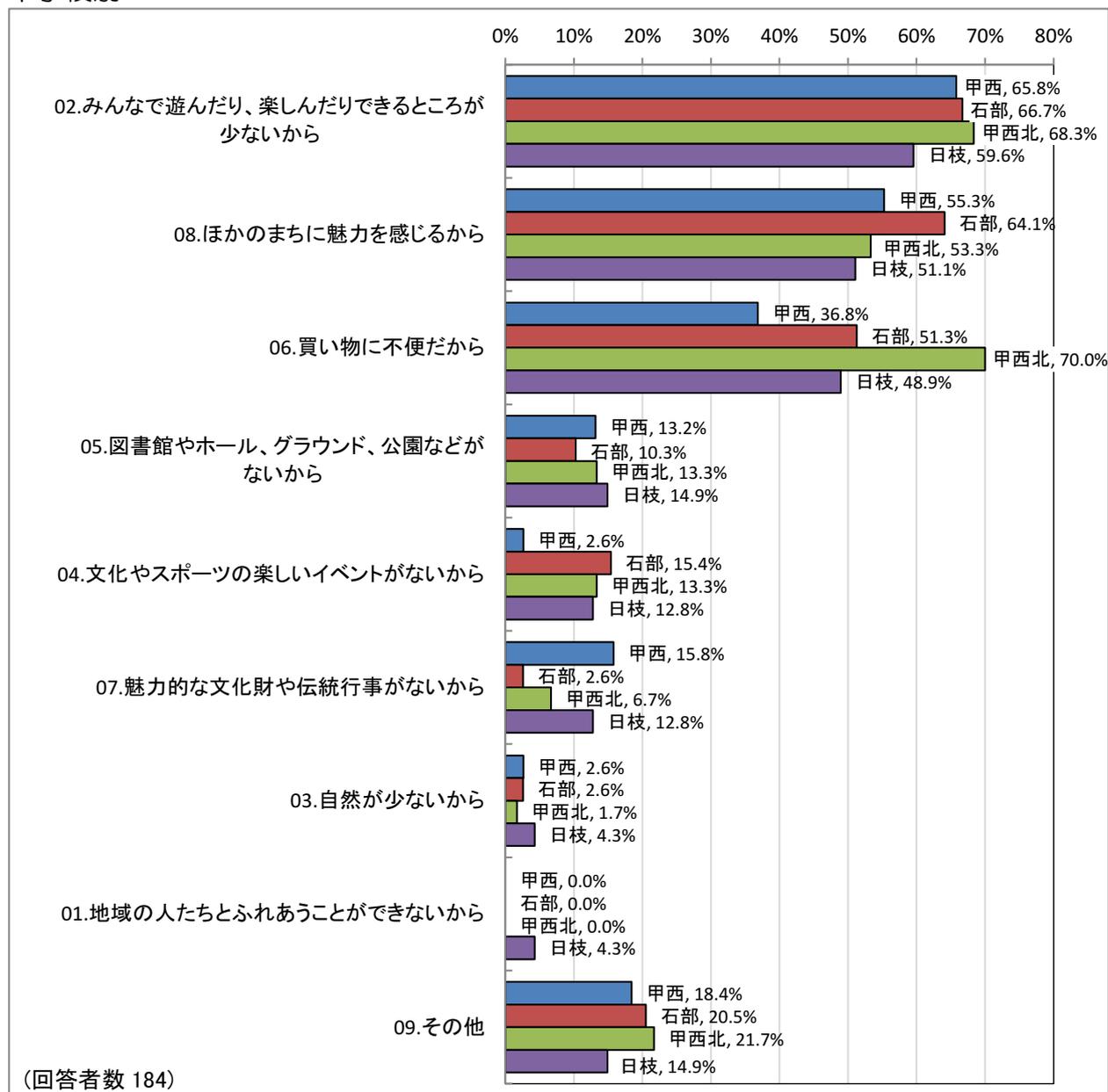
前回の調査結果と比較すると、前回 3 位の「02. みんなで遊んだり、楽しんだりできるところが少ないから」を選択する割合が大きく増加しています。



性別



中学校別



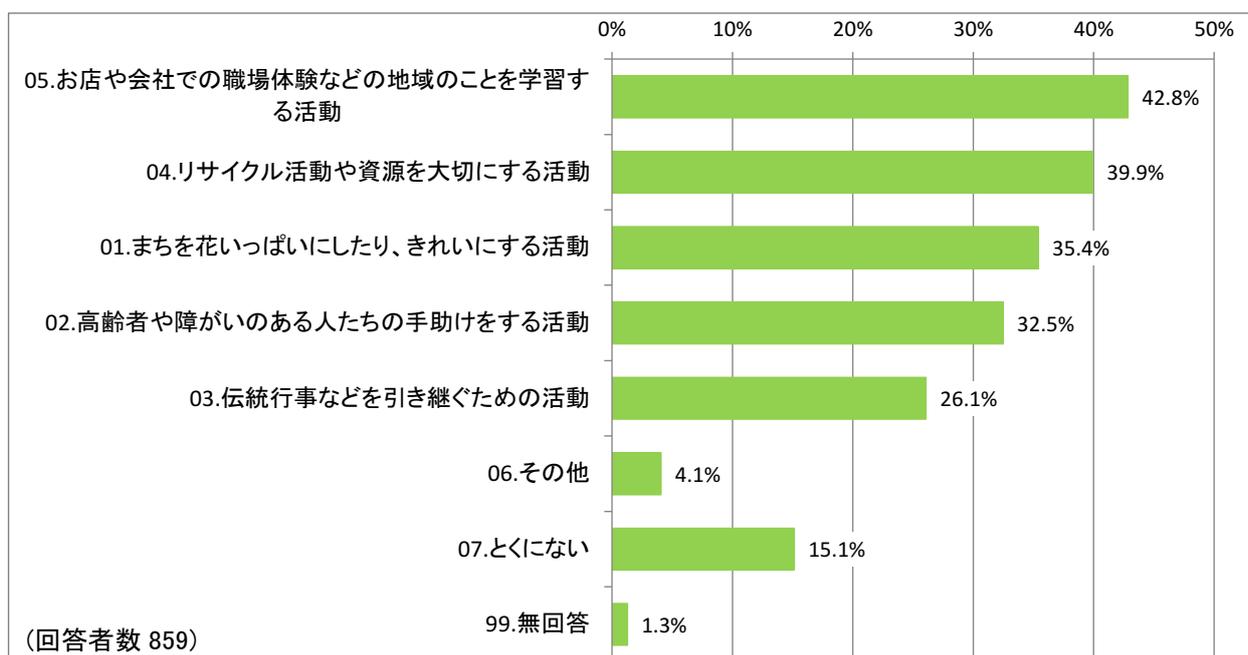
3. まちづくりへの参加について

中学生

問4：住みよいまちづくりのためには、皆さん自らの積極的なまちづくりへの参加が必要です。湖南省をもっと住みよいまちにするために、あなたが『何かに参加する』とすれば、どのようなことができると思いますか。（3つまで選択）

(1) 全体の傾向

回答者自身が参加できることについては、「05. お店や会社での職場体験など地域のことを学習する活動」が最も多く、次いで「04. リサイクル活動や資源を大切にする活動」、「01. まちを花いっぱいにしたり、きれいにする活動」の順となっています。



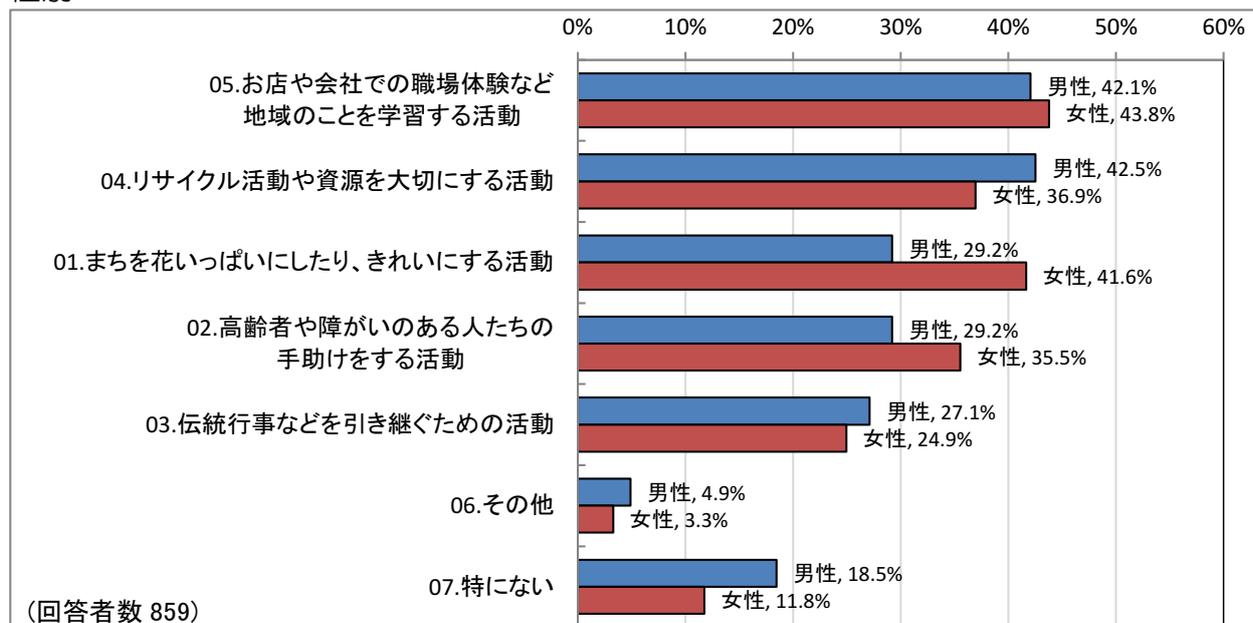
(2) 性別の傾向

男性は「04. リサイクル活動や資源を大切にする活動」を、女性は「05. お店や会社での職場体験など地域のことを学習する活動」を選択する割合が最も高くなっています。

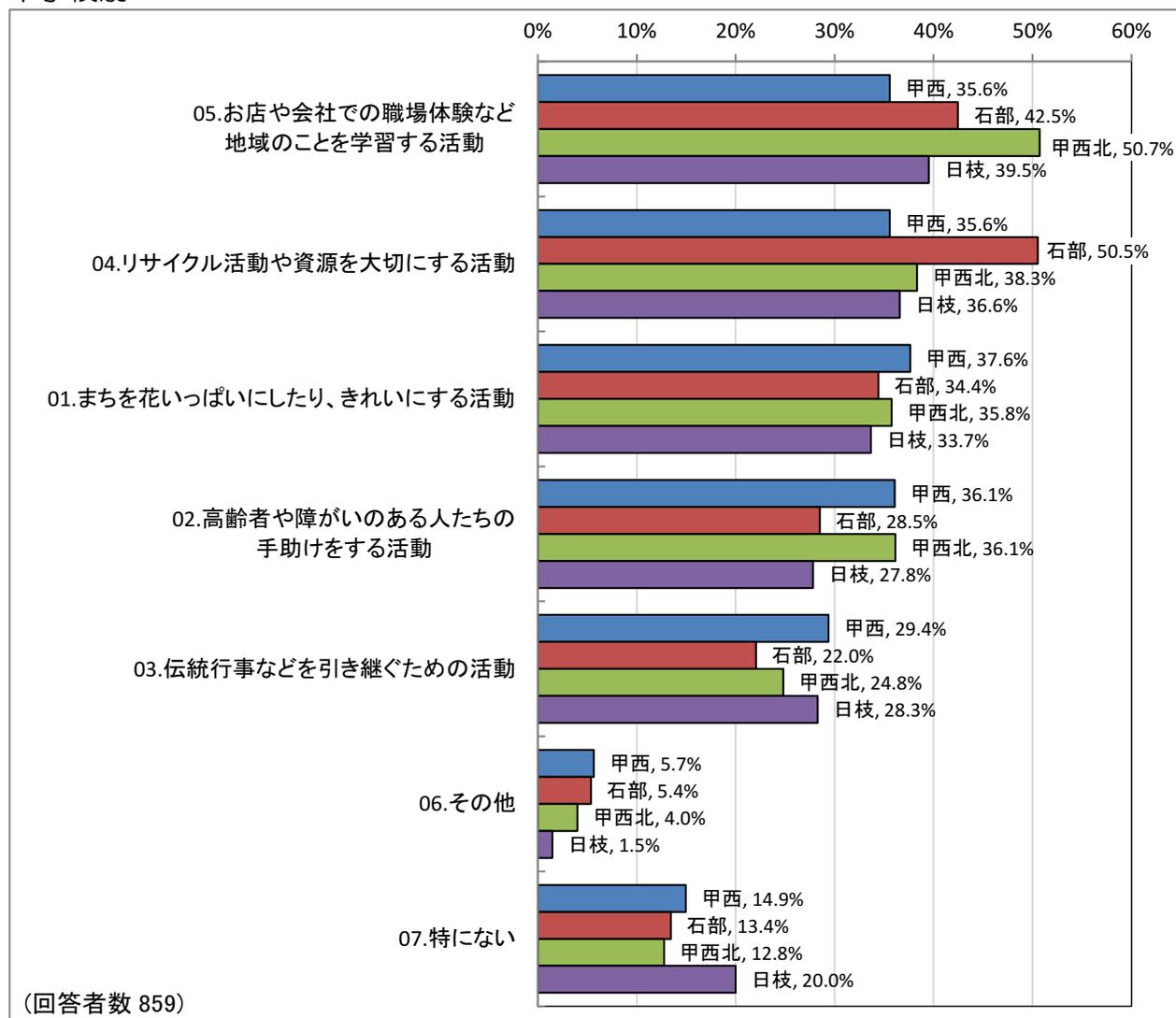
(3) 中学校別の傾向

石部では「04. リサイクル活動や資源を大切にする活動」を、甲西北・日枝では「05. お店や会社での職場体験など地域のことを学習する活動」を、甲西では「01. まちを花いっぱいにしたり、きれいにする活動」を選択する割合が最も高くなっています。

性別



中学校別



4. 将来のことについて

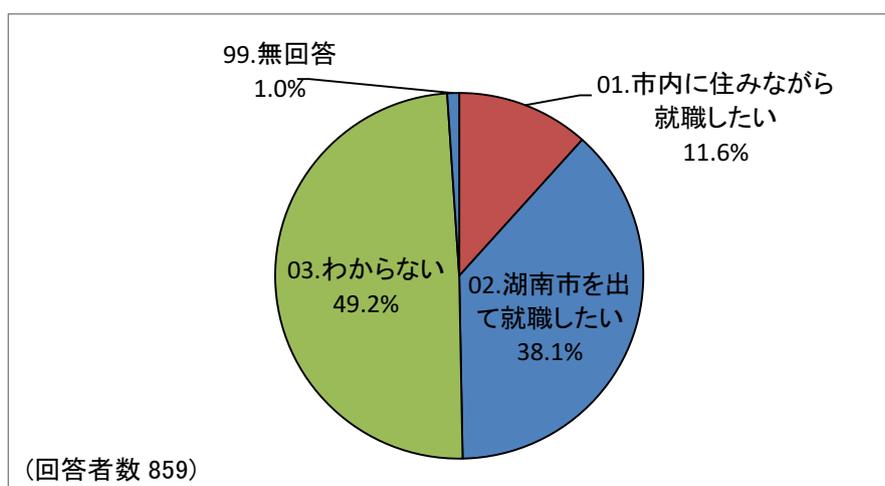
1) 定住意向

中学生

問5：あなたは、今後就職するときに、湖南省に残りますか、それとも湖南省を出て行きますか。（1つ選択）

(1) 全体の傾向

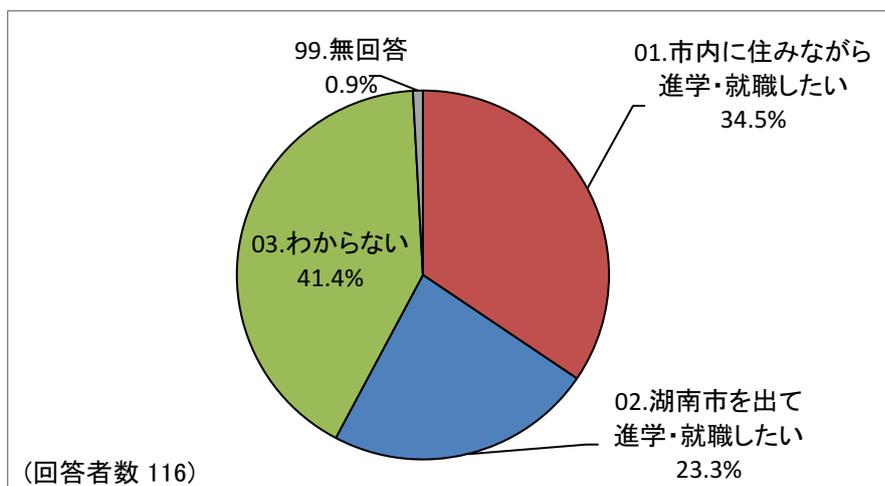
今後進学や就職するときに、湖南省に住むことについては、「03. わからない」が最も多く、回答者の 49.2%が選択しています。次いで「02. 湖南省を出て就職したい」、「01. 市内に住みながら就職したい」の順となっています。



小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

(2) 高校生との比較

高校生の調査結果と比較すると、「01. 市内に住みながら進学・就職したい」の割合が低く高校生の3分の1程度となっています。また、「02. 湖南省を出て進学・就職したい」は高校生よりも割合が高くなっています。

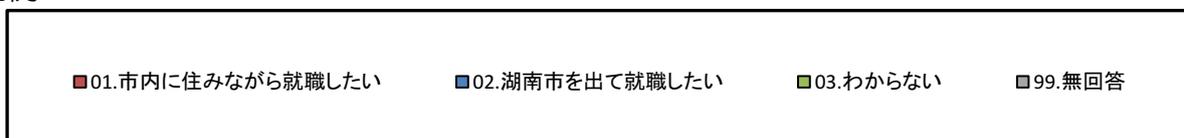


小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

(3) 中学校別の傾向

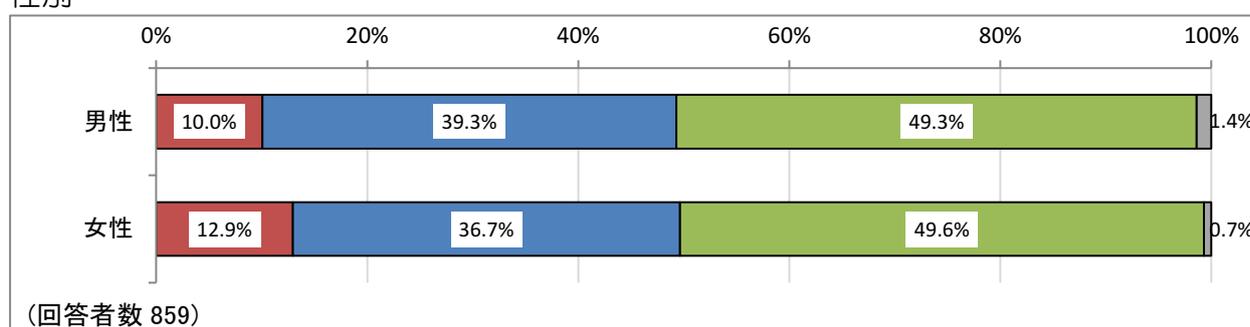
4つの中学校の中で「01.市内に住みながら就職したい」が最も多いのは、甲西で16.0%となっています。逆に「02.湖南市を出て就職したい」が最も多いのは、日枝で45.9%となっています。

凡例

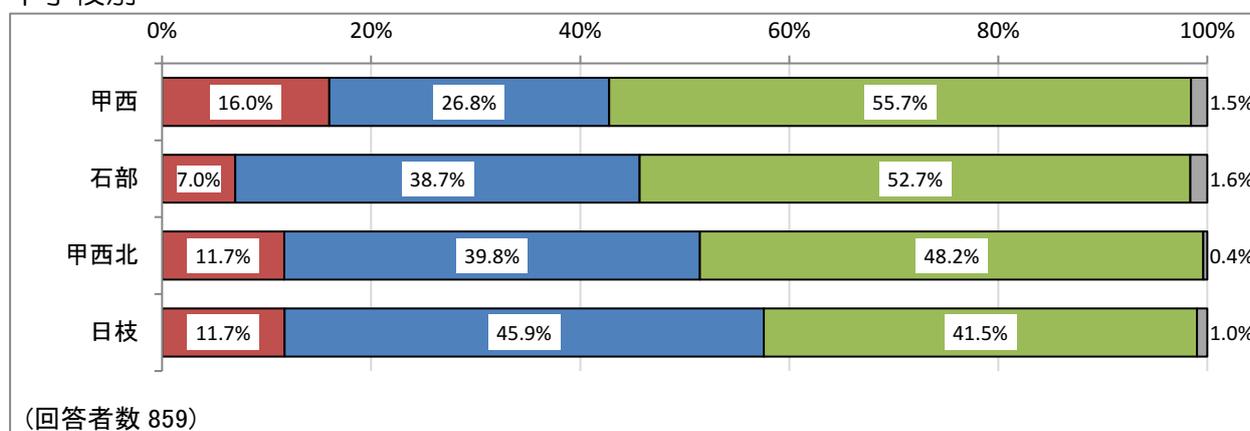


小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

性別



中学校別



2) 定住意向理由

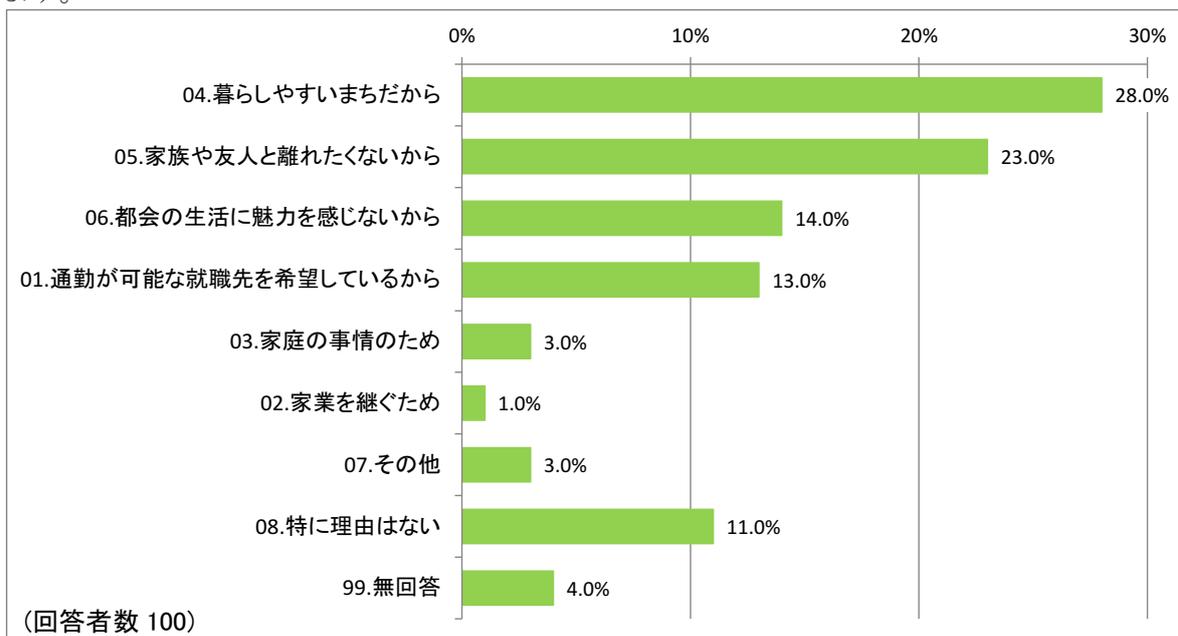
中学生 湖南省に住みたい理由

【問5で「1.市内に住みながら就職したい」を選択した方にうかがいます。】

問5-1：あなたが（将来的に）市内に住みながら進学・就職したい理由は何ですか。（1つ選択）

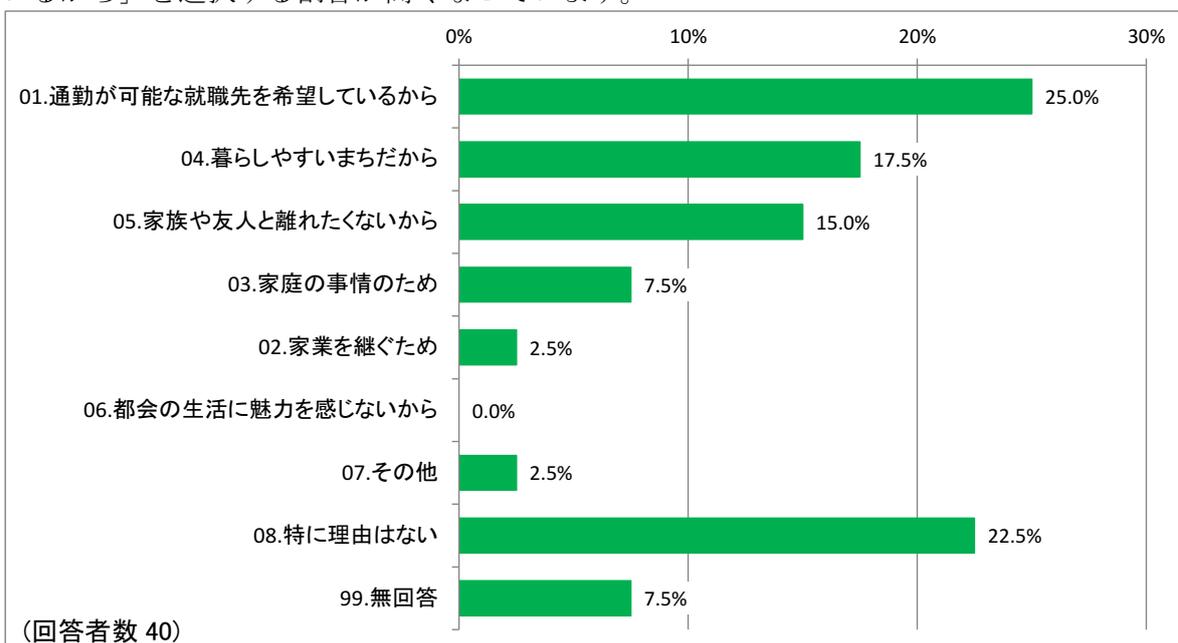
(1) 全体の傾向

市内に住みながら進学・就職したい理由は、「04.暮らしやすいまちだから」が最も多く、回答者の28.0%が選択しています。次いで「05.家族や友人と離れたくないから」となっています。



(2) 高校生との比較

高校生の調査結果と比較すると、中学生は「04.暮らしやすいまちだから」、「05.家族や友人と離れたくないから」を選択する割合が高く、高校生は「01.通勤が可能な就職先を希望しているから」を選択する割合が高くなっています。



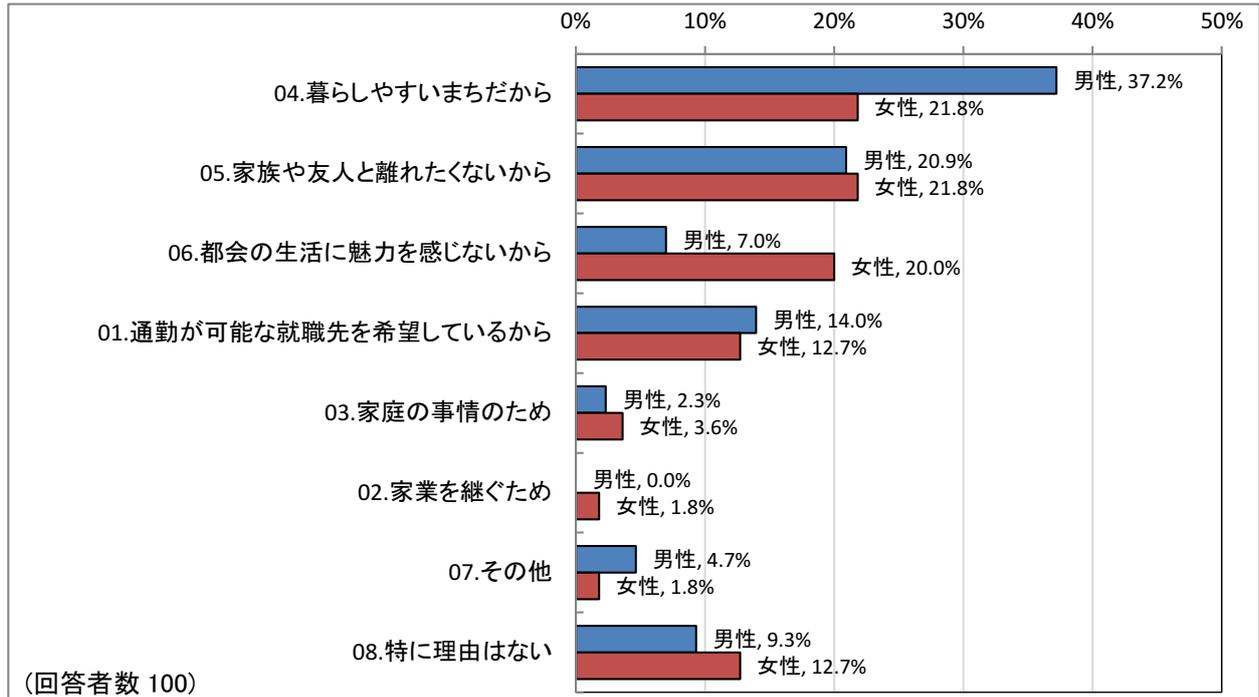
(3) 性別の傾向

男性は「04.暮らしやすいまちだから」を、女性は「06.都会の生活に魅力を感じないから」を選択する割合が高くなっています。

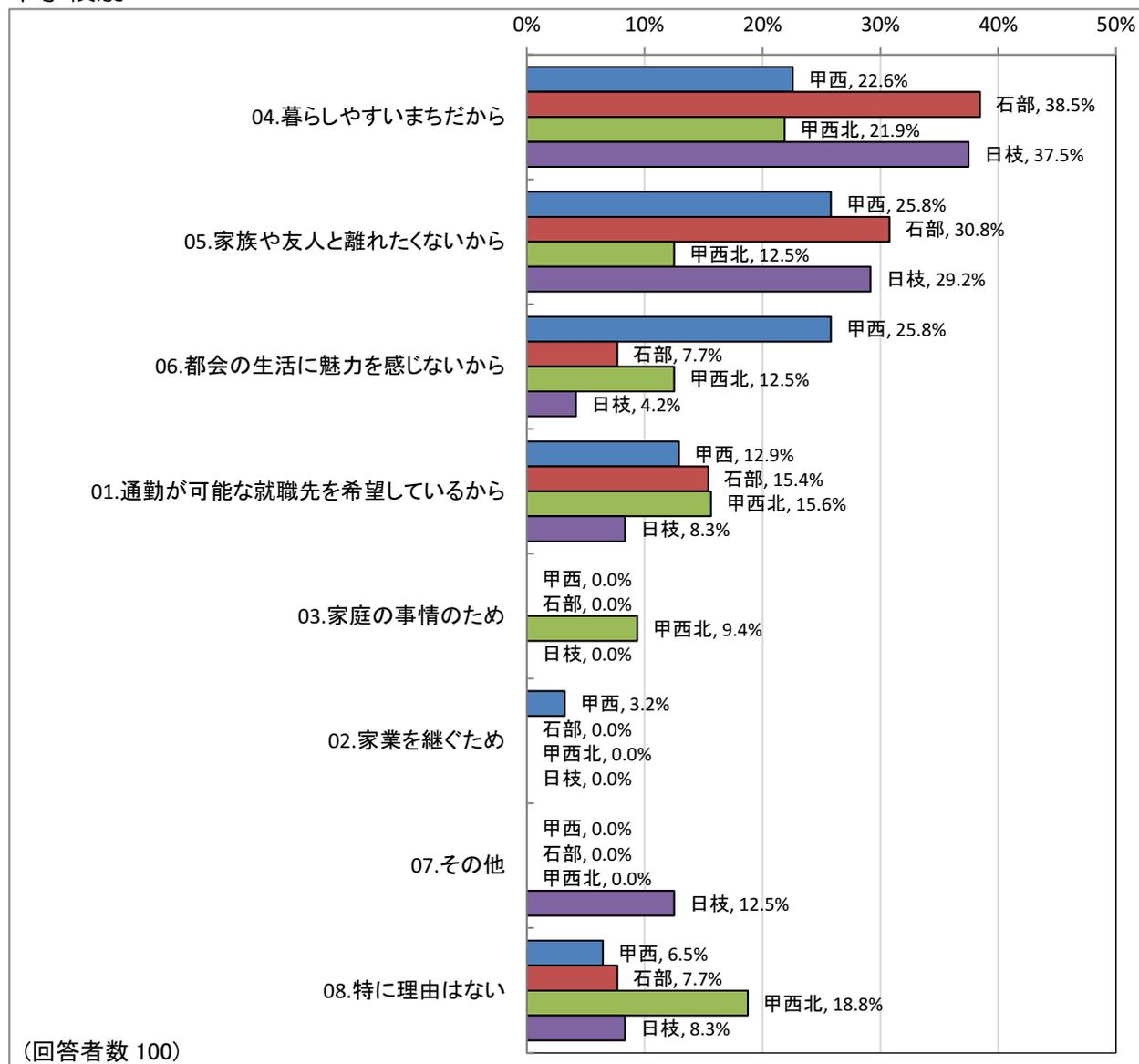
(4) 中学校別の傾向

石部・甲西北・日枝は「04.暮らしやすいまちだから」を、甲西は「05.家族や友人と離れたくないから」と「06.都会の生活に魅力を感じないから」を選択する割合が最も高くなっています。

性別



中学校別



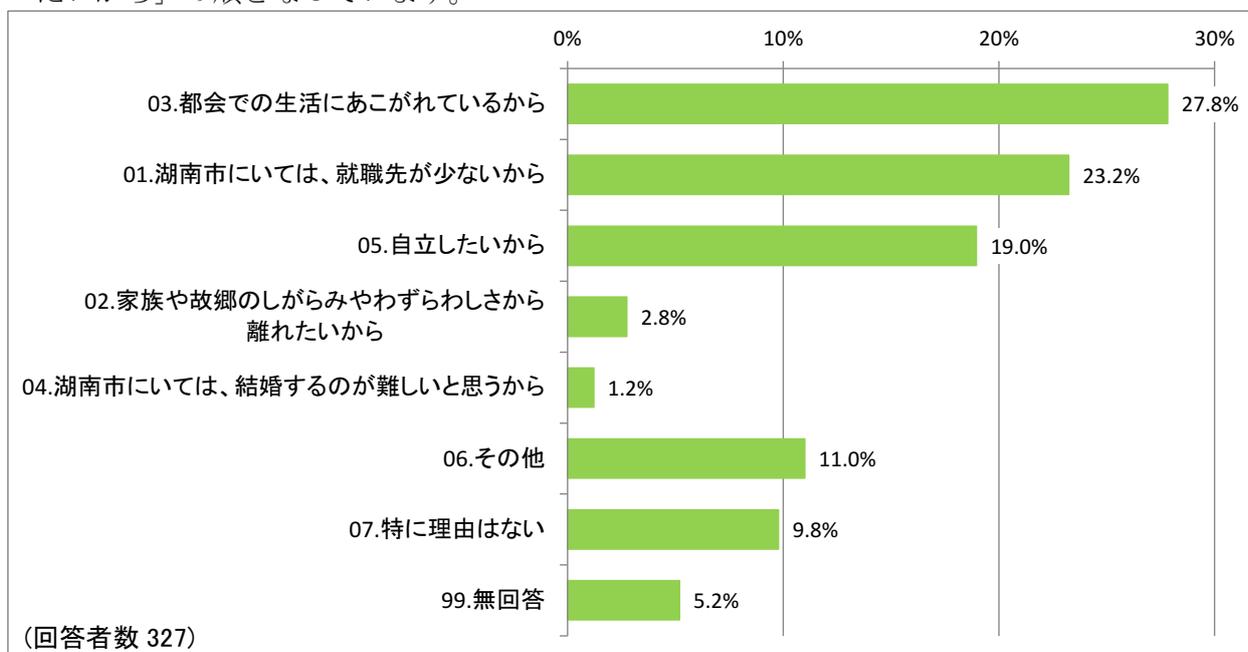
中学生

【問5で「2.湖南省を出て就職したい」を選択した方にうかがいます。】

問5-2：あなたが（将来的に）湖南省を出る（出たい）理由は何ですか。（1つ選択）

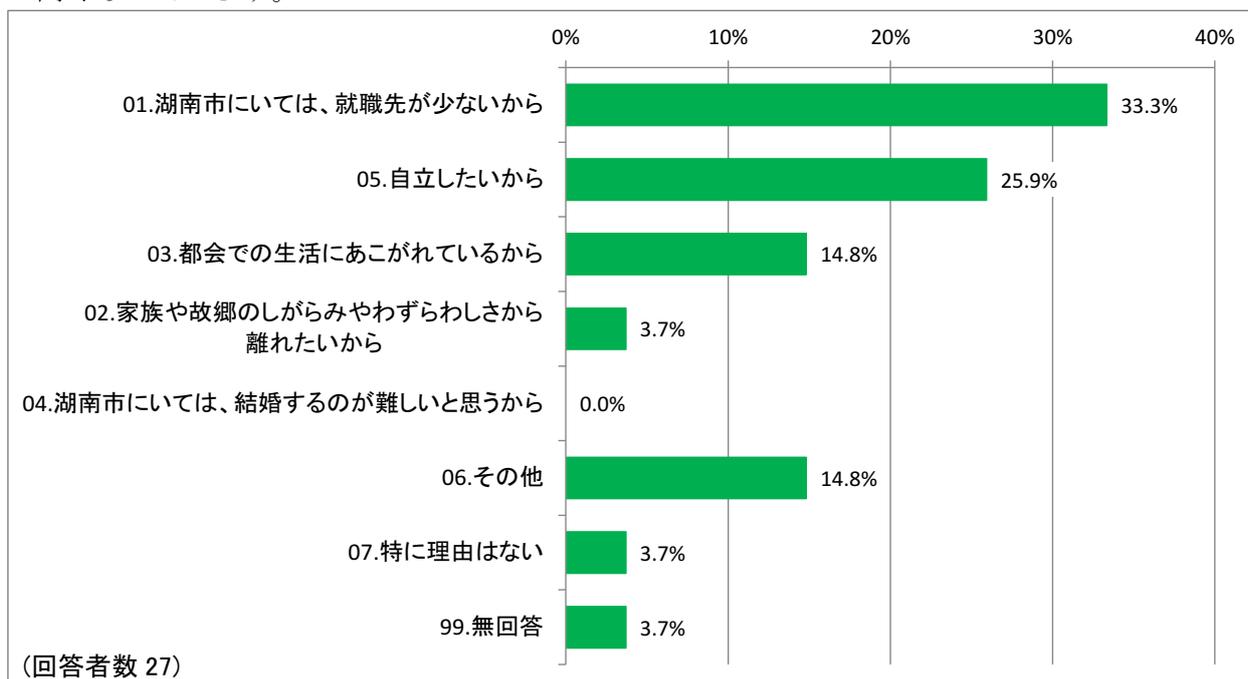
(1) 全体の傾向

湖南省を出たい理由は、「03. 都会での生活にあこがれているから」が最も多く、回答者の27.8%が選択しています。次いで「01. 湖南省においては、就職先が少ないから」、「05. 自立したいから」の順となっています。



(2) 高校生との比較

高校生の調査結果と比較すると、中学生は「03. 都会での生活にあこがれているから」を選択する割合が高く、高校生は「01. 湖南省においては、就職先が少ないから」を選択する割合が高くなっています。



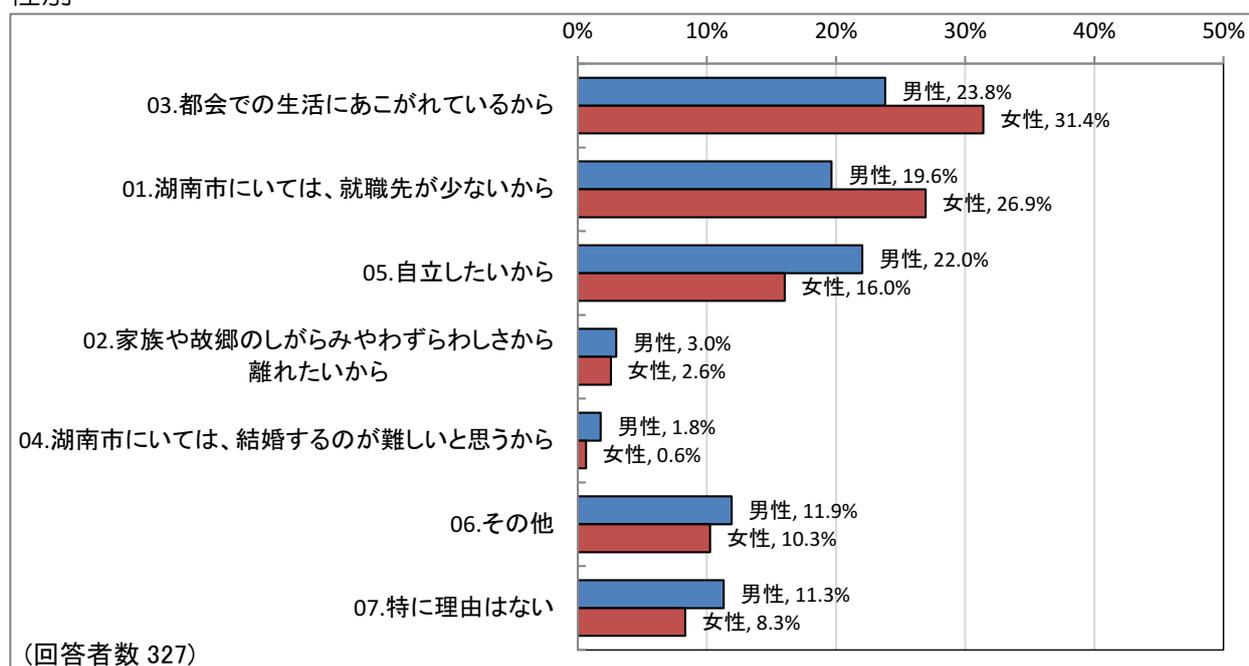
(3) 性別の傾向

男女共に「03. 都会での生活にあこがれているから」を選択する割合が最も高く、次いで、男性は「05. 自立したいから」、女性は「01. 湖南省市においては、就職先が少ないから」が高くなっています。

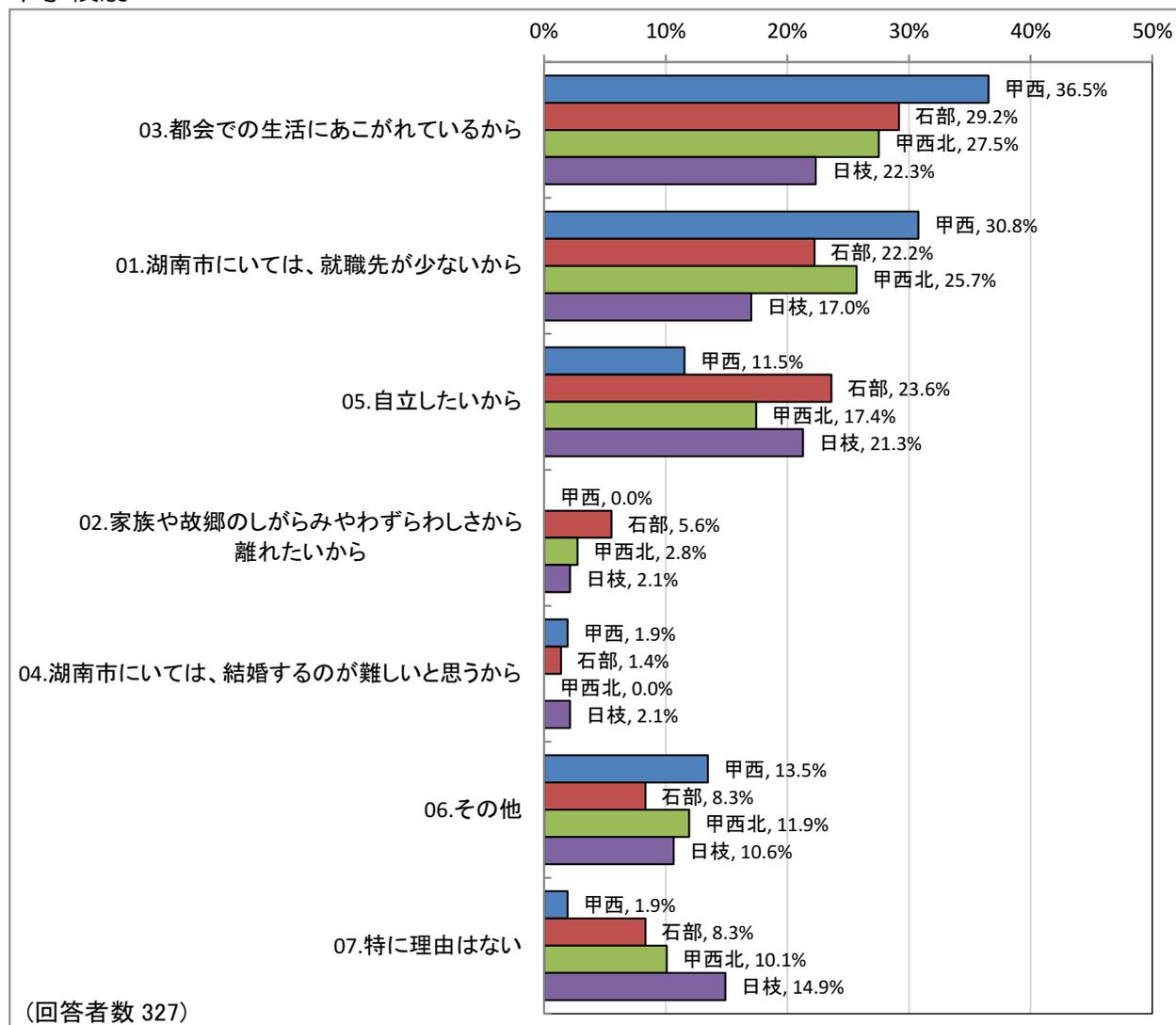
(4) 中学校別の傾向

全ての中学校で「03. 都会での生活にあこがれているから」を選択する割合が最も高くなっています。次いで甲西・甲西北は「01. 湖南省市においては、就職先が少ないから」、石部・日枝は「05. 自立したいから」が高くなっています。

性別



中学校別



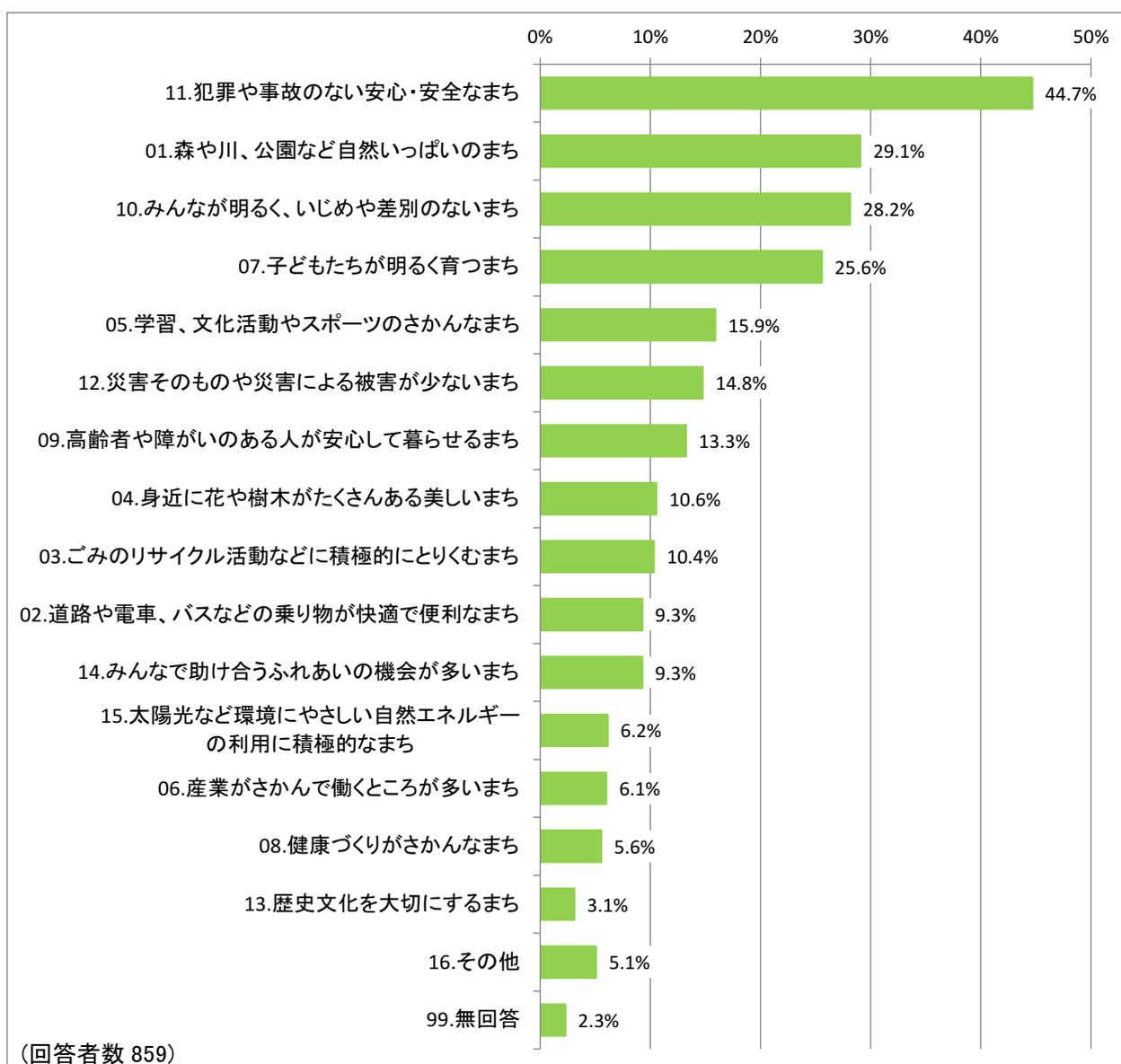
5. 湖南省の将来のイメージについて

中学生

問6：みんなが住み続けたい湖南省にするために、あなたならどのようなまちにしたいですか。（3つまで選択）

(1) 全体の傾向

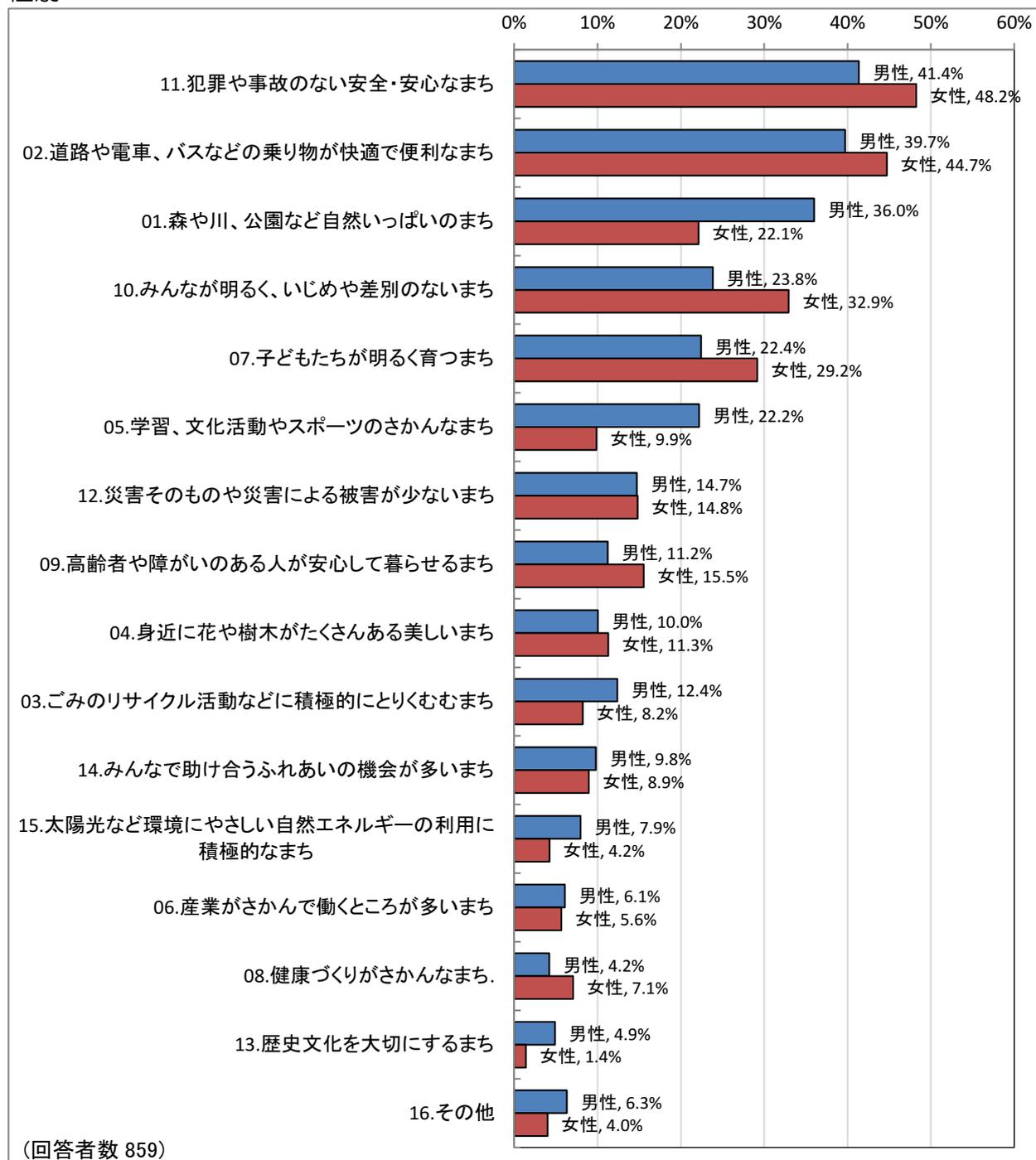
将来の湖南省のイメージは、「11. 犯罪や事故のない安心・安全なまち」が最も多く、回答者の44.7%が選択しています。次いで「01. 森や川、公園など自然いっぱいのまち」、「10. みんなが明るく、いじめや差別のないまち」、「07. 子どもたちが明るく育つまち」の順となっています。



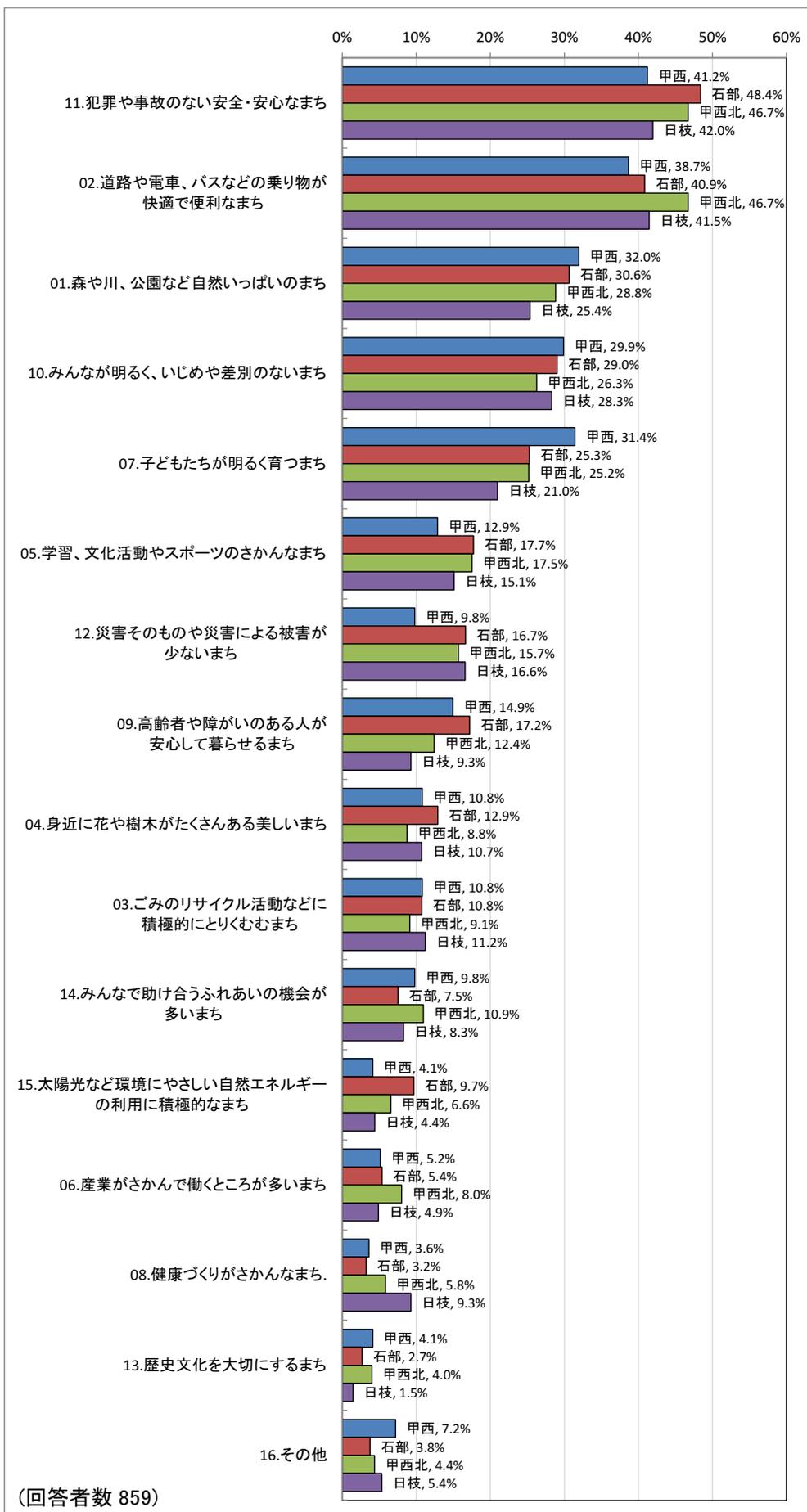
(2) 中学校別の傾向

全ての中学校で「11. 犯罪や事故のない安心・安全なまち」を選択する割合が最も高くなっています。甲西北は「02. 道路や電車、バスなどの乗り物が快適で便利なまち」の割合も高くなっています。

性別



中学校別



6. 自由記述

中学生

自由記述については、208 人の方から 273 件の意見が得られました。

大分類別にみると、「産業」に関する意見が 71 件で最も多く、次いで「生活基盤」、「市民文化を創造する」に関する意見が多くなっています。また、小分類別にみると、「商工業振興（大型店舗、既存商業街の活性化等）」が最も多く、「公共交通利便性向上、駅舎改善等」、「生涯学習環境の充実（図書館の充実）、スポーツ振興等」などが上位となっています。

6つの目標	大分類	小分類	件数
みんなで共に進めるしくみをつくろう	人権尊重 5	人権尊重の推進	2
		外国人の交流、通訳の必要性	3
	自立・自助、共助 1	市民主体、市民と行政との協働によるまちづくり	1
		情報公開・広報の充実等	0
うるおいのあるまちをつくろう	自然との共生 41	身近な公園・緑地、レクリエーション施設等の設置・整備等	26
		自然環境の保全	8
		美化・緑化活動	7
活気あるまちをつくろう	生活基盤 59	公共交通利便性向上、駅舎改善等	29
		安全に利用できる道路整備（歩道・自転車道の整備・新設等）	15
		市街地整備（駅前整備・中心核づくり・土地利用等）	15
		住環境の整備・良好な景観形成	0
	産業 71	商工業振興（大型店舗、既存商業街の活性化等）	65
		観光振興（観光・特産品）PR	6
ほっとする暮らしをつくろう	健康で暮らしを続ける 1	健康づくりの推進（情報提供、施設設置等）	1
		互いに支え合う 3	地域で支え合う地域福祉の促進
	安心・安全 29	福祉・介護の充実	1
		防犯対策（街灯の整備、パトロールの充実等）	13
		安全で安心なまちづくり（犯罪・事故）	5
		交通安全施設の整備、交通安全対策	5
		市民マナーの低下（ペット糞・遺棄、ゴミのポイ捨て等）	4
		異臭等（畑等、全体的に）	2
いきいきとした暮らしをつくろう	市民文化を創造する 45	市民交流、イベント（ゲーム・スポーツ等）の充実等	11
		学校教育（いじめ、環境リサイクル）・施設の美化	4
		生涯学習環境の充実（図書館の充実）、スポーツ振興等	29
		歴史文化の保全や継承等	1
明日を拓くしくみをつくろう	行財政システム 11	行政の効率化（財政健全化）	4
		合併の不満（地域格差等）	2
		行政サービス向上	1
		まちづくりの展望の提示	2
		職員の人材育成	2
その他	その他 7	暮らしやすいまちづくり	3
		その他	4
合計			273

第4部 高校生調査結果

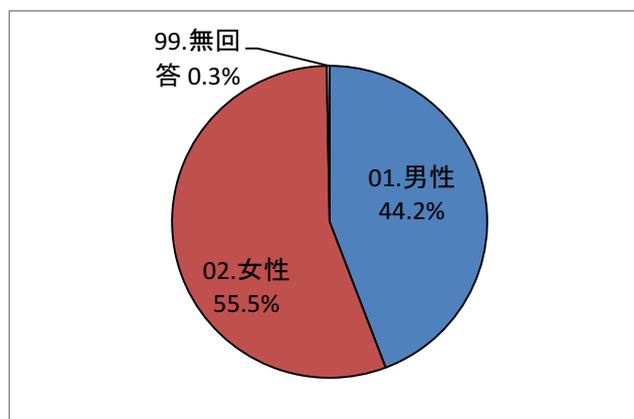
1. 回答者の属性

高校生

◆あなたの性別（1つ選択）

◆回答者の性別

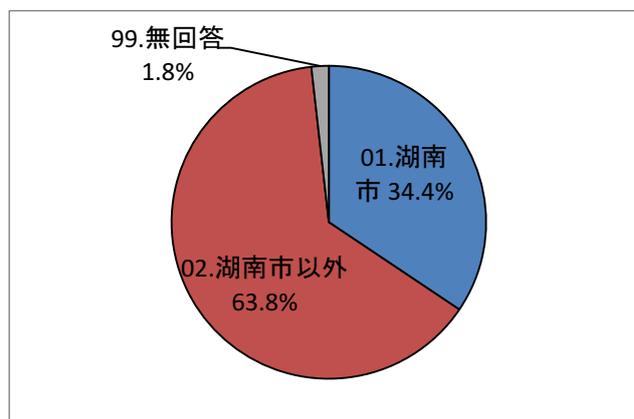
性別	回収数	構成比
01. 男性	149	44.2%
02. 女性	187	55.5%
99. 無回答	1	0.3%
合計	337	100.0%



◆あなたのお住まい（1つ選択）

◆回答者の居住地

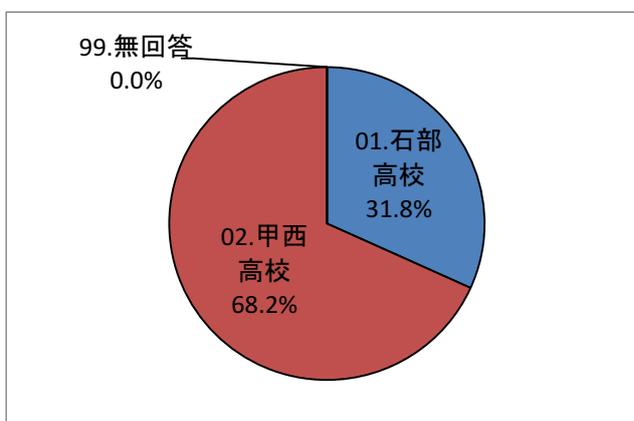
学年	回収数	構成比
01. 湖南省	116	34.4%
02. 湖南省以外	215	63.8%
99. 無回答	6	1.8%
合計	337	100.0%



◆あなたの高校名（1つ選択）

◆回答者が在籍する高校

学年	回収数	構成比
01. 石部高校	107	31.8%
02. 甲西高校	230	68.2%
99. 無回答	0	0.0%
合計	337	100.0%



2. いまの湖南省市について

1) 湖南省市が好きかどうか

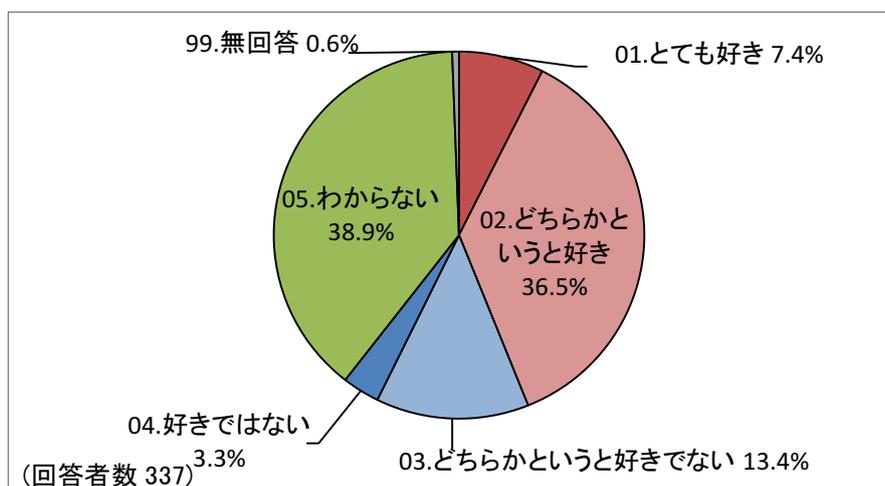
高校生

問1：あなたは、湖南省市が好きですか。(1つ選択)

(1) 全体の傾向

湖南省市が好きかどうかについては、「05. わからない」が最も多くなっています。「01. とても好き」が7.4%、「02. どちらかというとき好き」が36.5%で、合わせると回答者の43.9%が「好き」と回答しています。

一方、「03. どちらかというとき好きでない」が13.4%、「04. 好きではない」が3.3%で、合わせると回答者の16.7%が「好きでない」と回答しています。



小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

(2) 性別の傾向

「01. とても好き」、「02. どちらかというとき好き」の合計が、男性は48.3%。女性は40.1%で、女性の方が若干低くなっています。

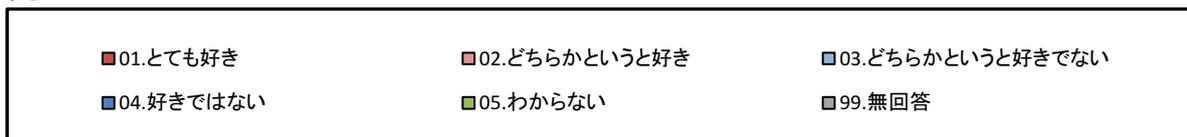
(3) 居住地区別の傾向

湖南省市に住んでいる人は「02. どちらかというとき好き」を、湖南省市以外に住んでいる人は「05. わからない」を選択する割合が最も高くなっています。

(4) 高校別の傾向

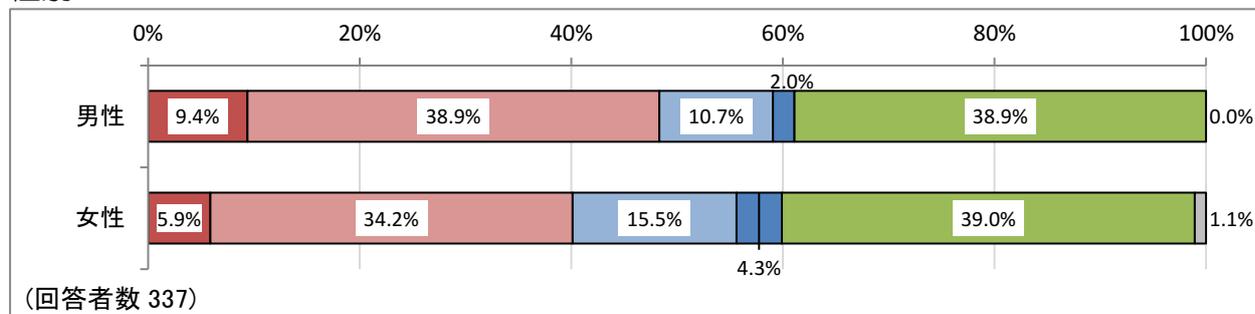
石部高校生は「02. どちらかというとき好き」を、甲西高校生は「05. わからない」を選択する割合が最も高くなっています。

凡例

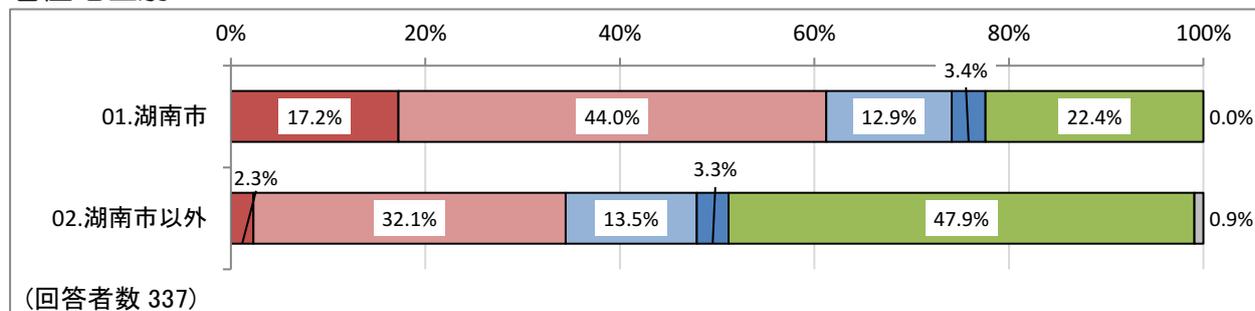


小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

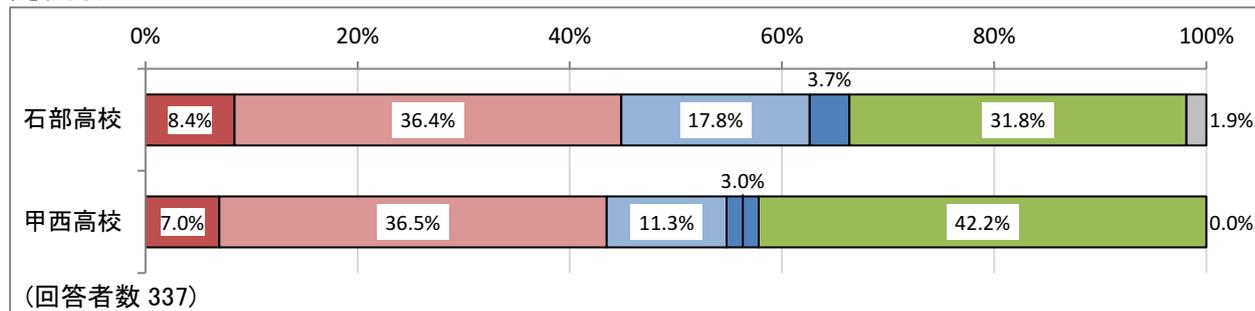
性別



居住地区別



高校別



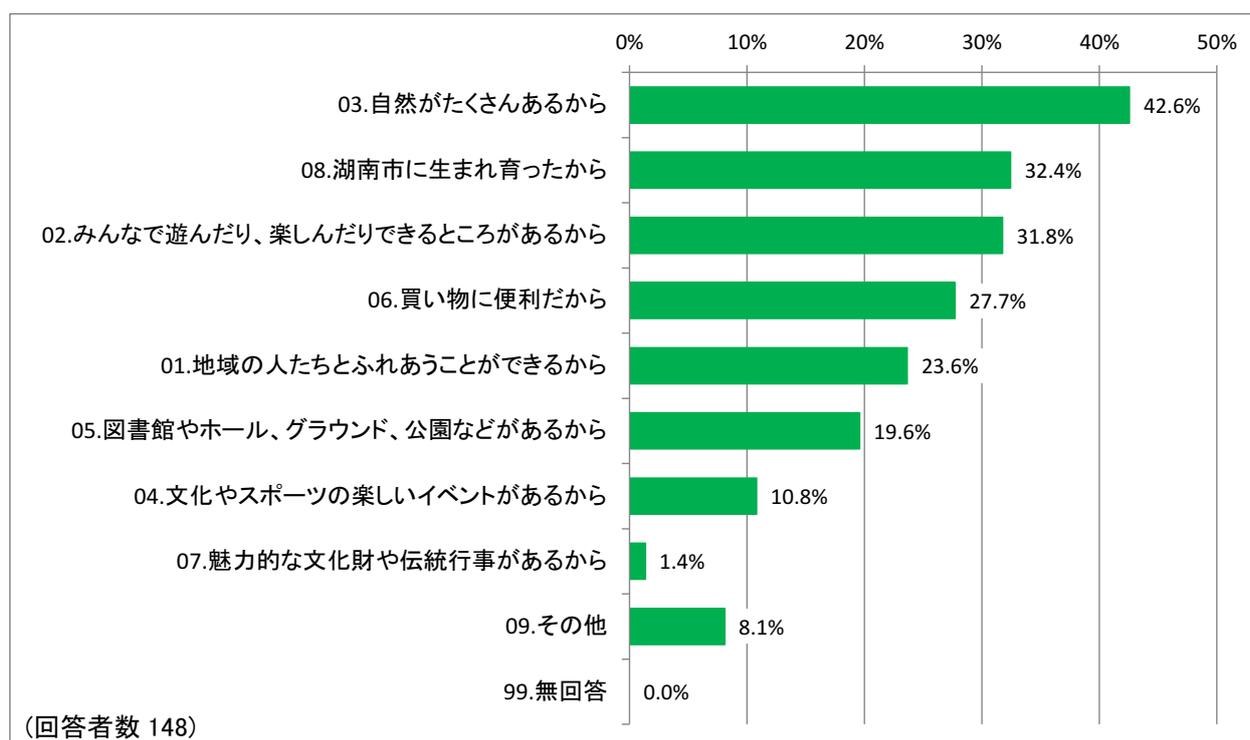
2) 好きな（好きでない）理由

高校生 好きな理由

問2-1：問1で、「01.とても好き」、「02.どちらかというとき好き」を選んだ方にお聞きします。
好きな理由は何ですか。（3つまで選択）

(1) 全体の傾向

「好き」とした生徒の選択理由は、「03.自然がたくさんあるから」が最も多く、回答者の42.6%となっています。次いで「08.湖南省に生まれ育ったから」、「02.みんなで遊んだり、楽しんだりできるところがあるから」の順となっています。



(2) 性別の傾向

男女共に「03.自然がたくさんあるから」を選択する割合が最も高くなっています。

男性は女性に比べて「02.みんなで遊んだり、楽しんだりできるところがあるから」を選択する割合が高くなっています。

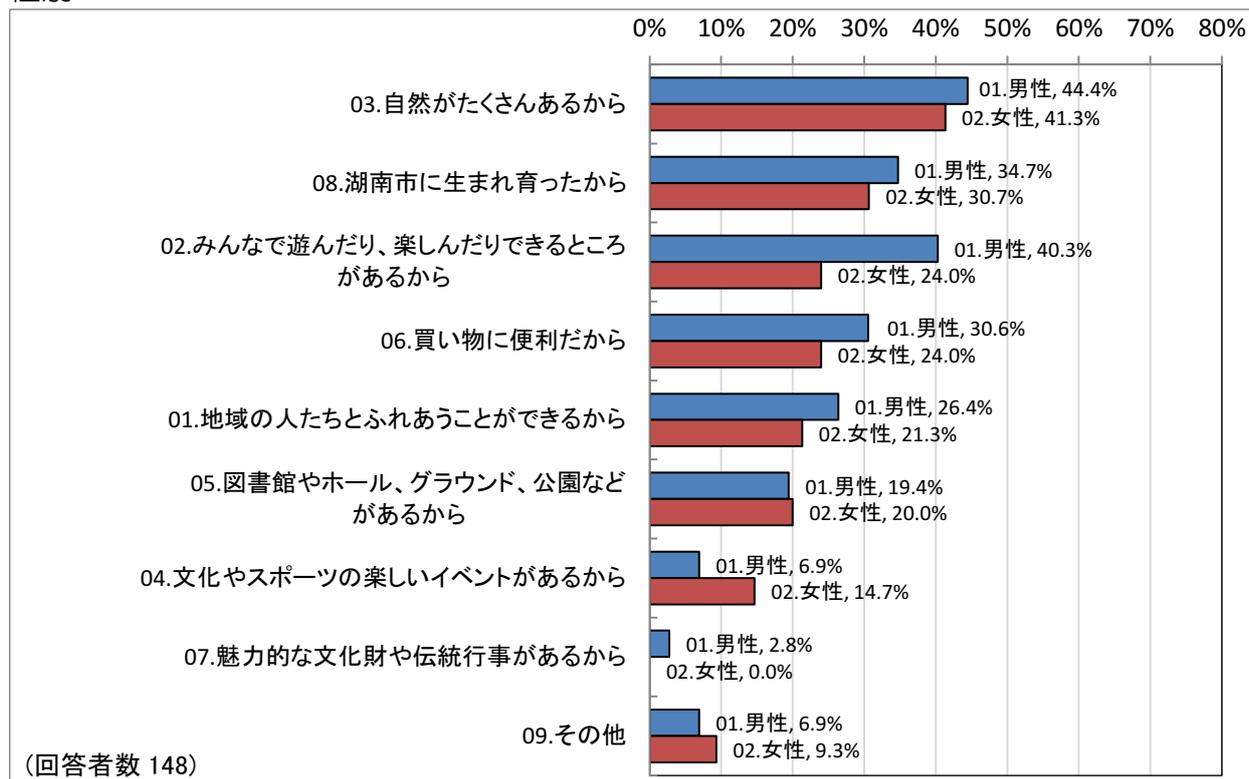
(3) 居住地区別の傾向

湖南省に住んでいる人は「08.湖南省に生まれ育ったから」の割合が高く、60%以上の人が回答しています。湖南省以外に住んでいる人は「03.自然がたくさんあるから」の割合が最も高くなっています。

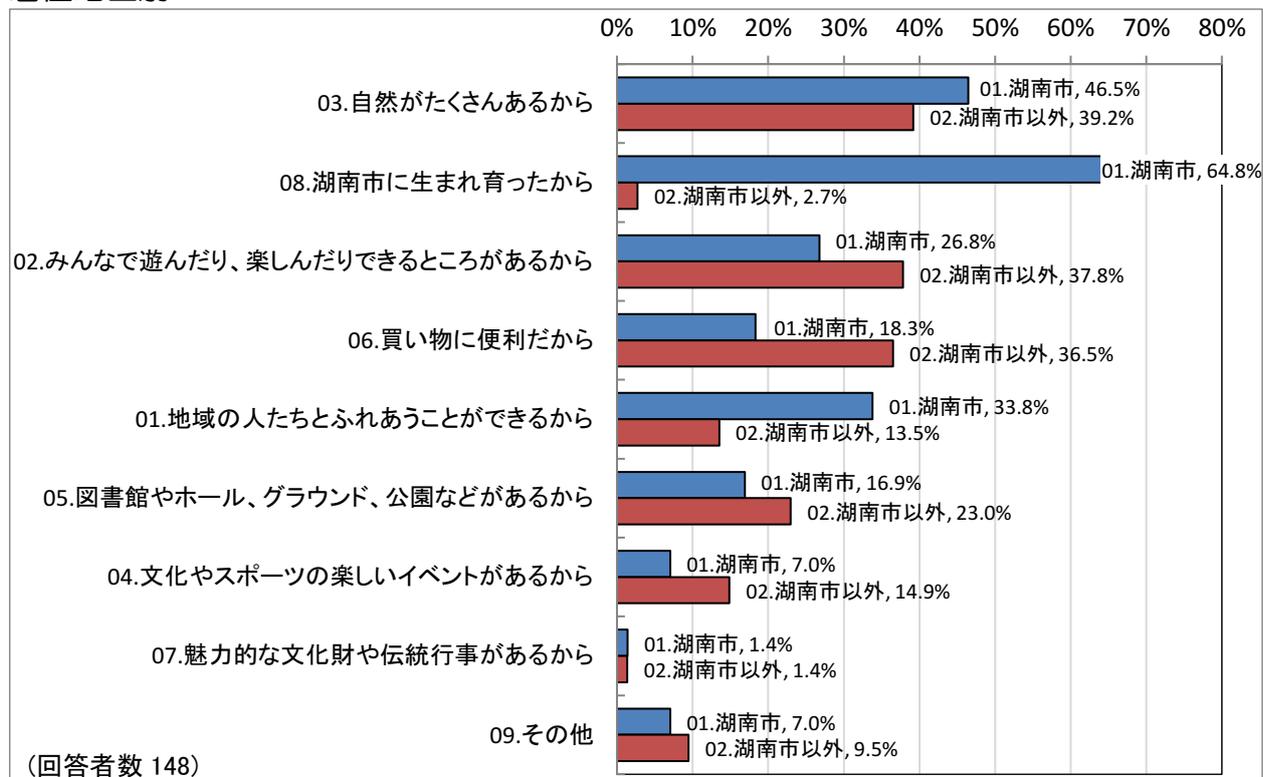
(4) 高校別の傾向

両校とも「03.自然がたくさんあるから」が最も多く、特に石部高校生は58.3%を占めています。次いで高いのが、石部高校生は「02.みんなで遊んだり、楽しんだりできるところがあるから」、甲西高校生は「06.買い物に便利だから」となっています。

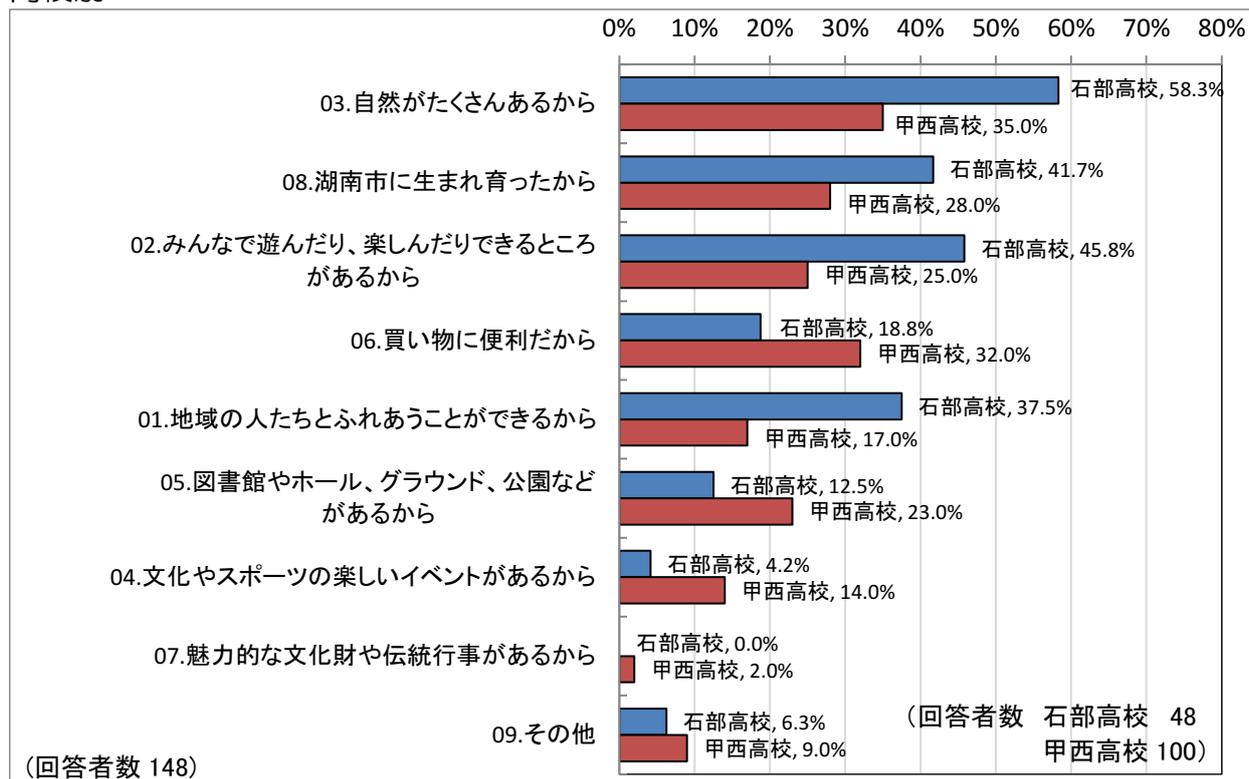
性別



居住地区別



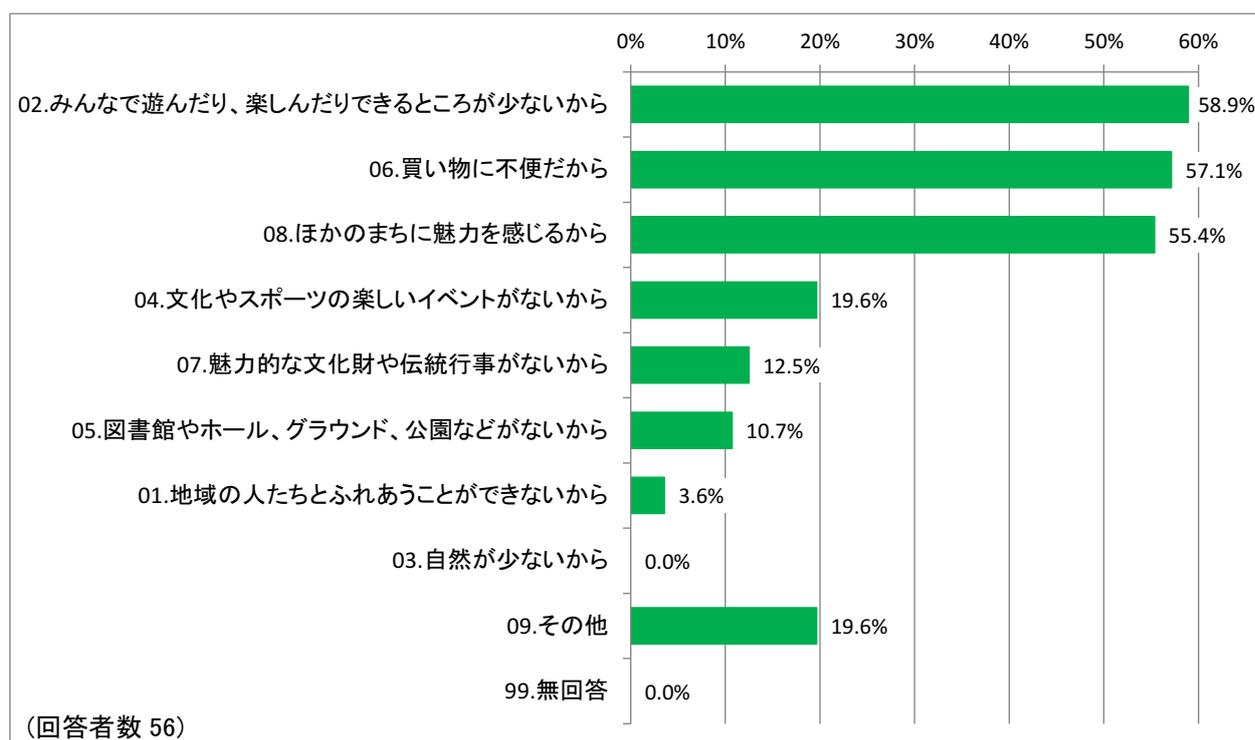
高校別



問2-2：問1で、「03.どちらかという好きでない」、「04.好きでない」を選んだ方にお聞きします。好きでない理由は何ですか。（3つまで選択）

(1) 全体の傾向

「好きでない」とした生徒の選択理由は、「02.みんなで遊んだり、楽しんだりできるところが少ないから」が最も多く、回答者の58.9%が選択しています。次いで「06.買い物に不便だから」、「08.ほかのまちに魅力を感じるから」の順となっており、いずれも回答者の50%以上が選択しています。



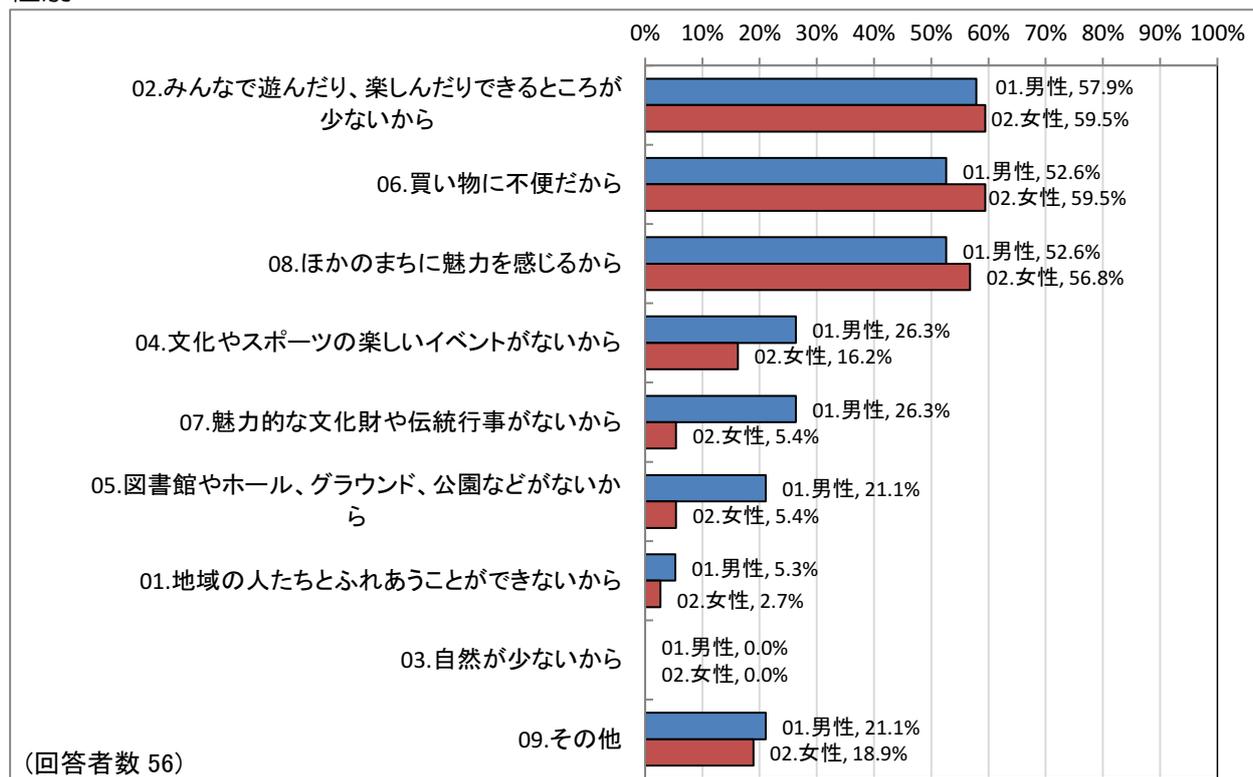
(2) 居住地区別の傾向

湖南省に住んでいる人は「08.ほかのまちに魅力を感じるから」を、湖南省以外に住んでいる人は「06.買い物に不便だから」を選択する割合が最も高くなっています。

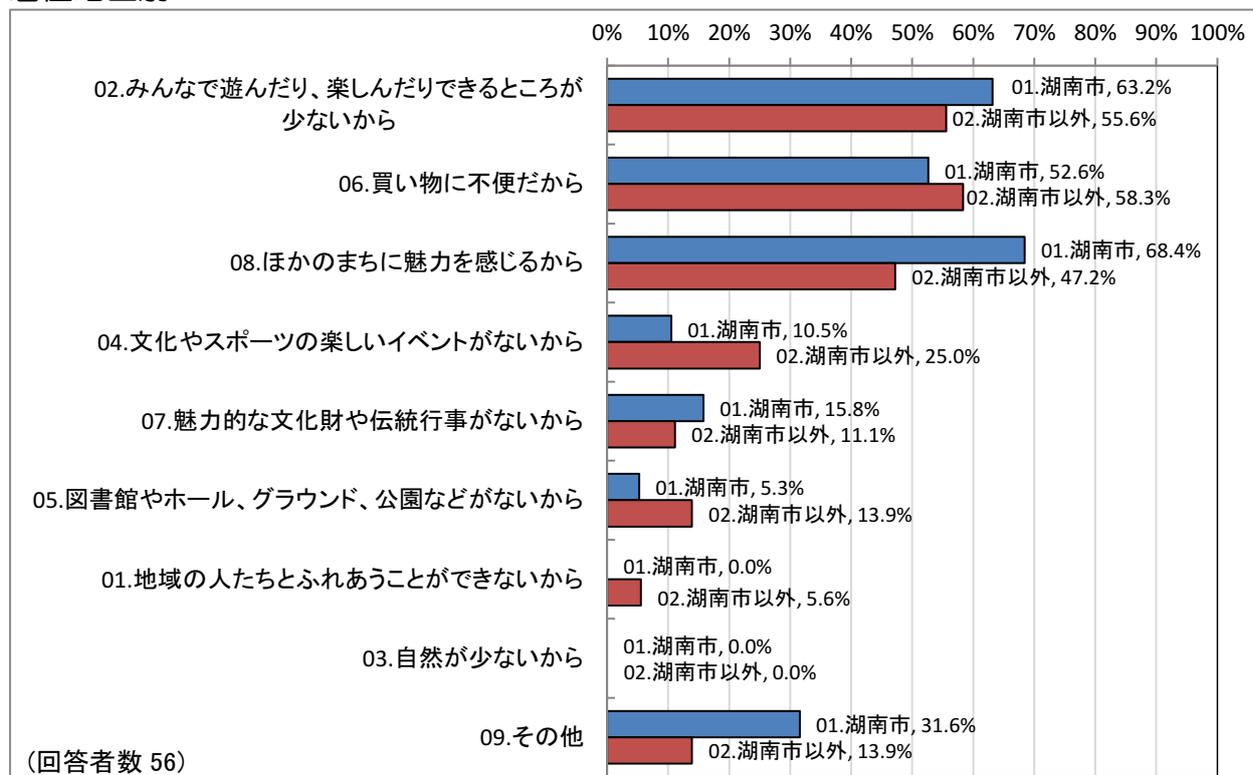
(3) 高校別の傾向

石部高校生は「06.買い物に不便だから」、甲西高校生は「08.ほかのまちに魅力を感じるから」を選択する割合が最も高くなっています。

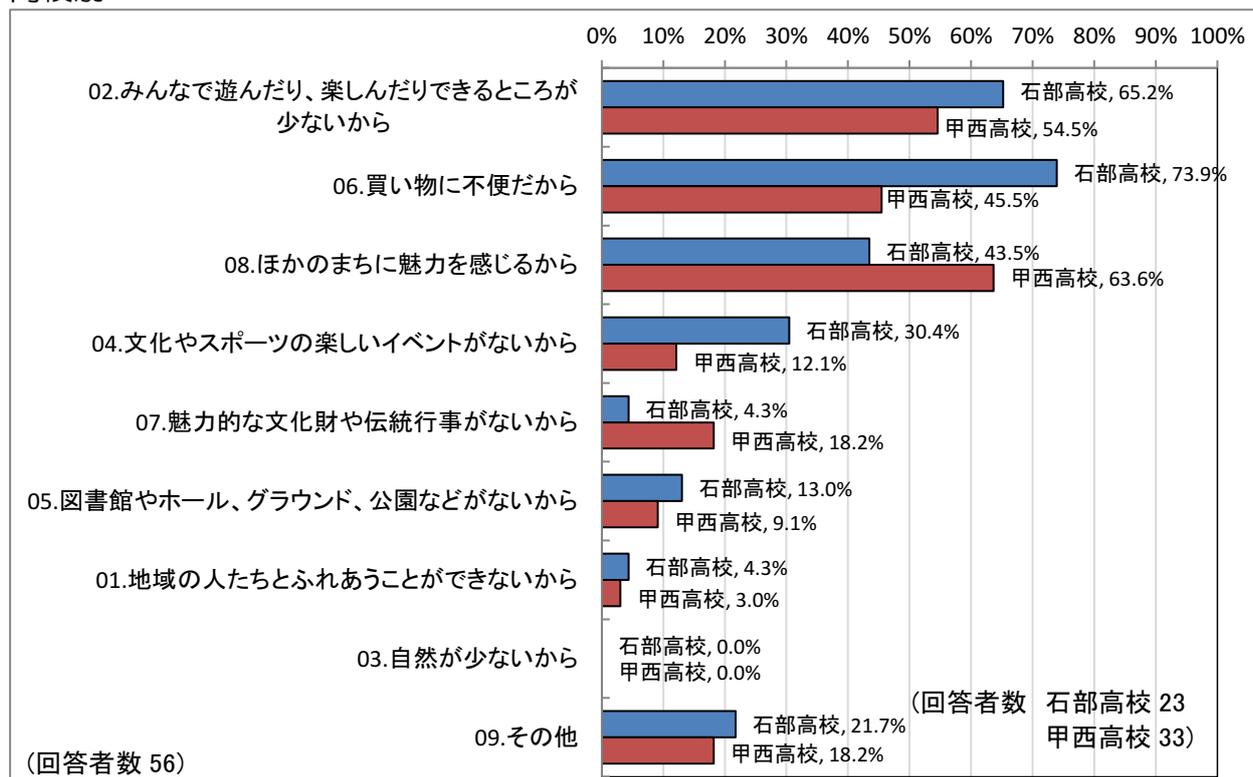
性別



居住地区別



高校別



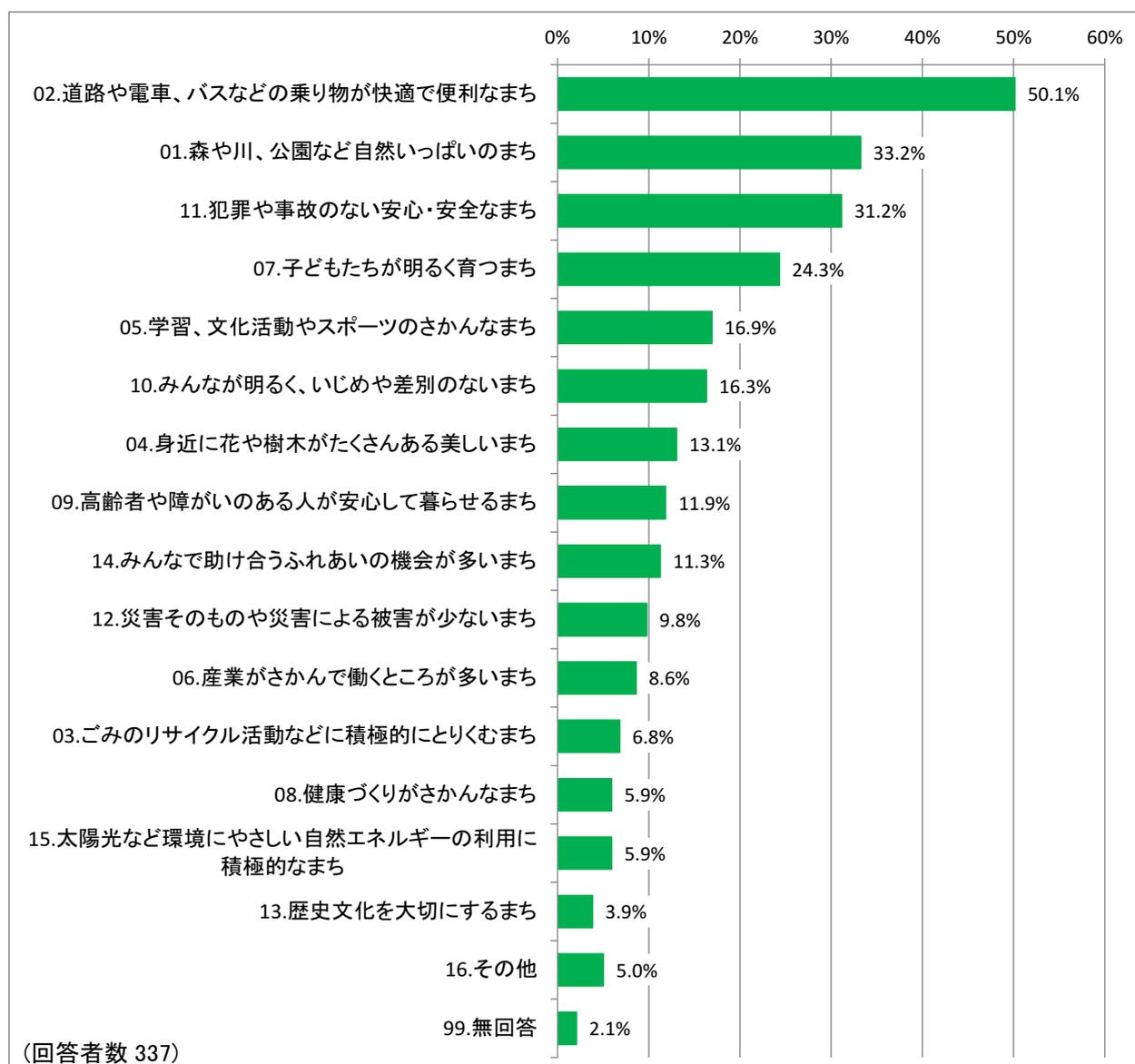
3. 湖南省の将来のイメージについて

高校生

問3：みんなが住み続けたい湖南省にするために、あなたならどのようなまちにしたいですか。(3つまで選択)

(1) 全体の傾向

どのようなまちにしたいかについては、「02. 道路や電車、バスなどの乗り物が快適で便利なまち」が最も多く、回答者の50.1%を占めています。次いで「01. 森や川、公園など自然いっぱいのまち」、「11. 犯罪や事故のない安心・安全なまち」の順となっています。



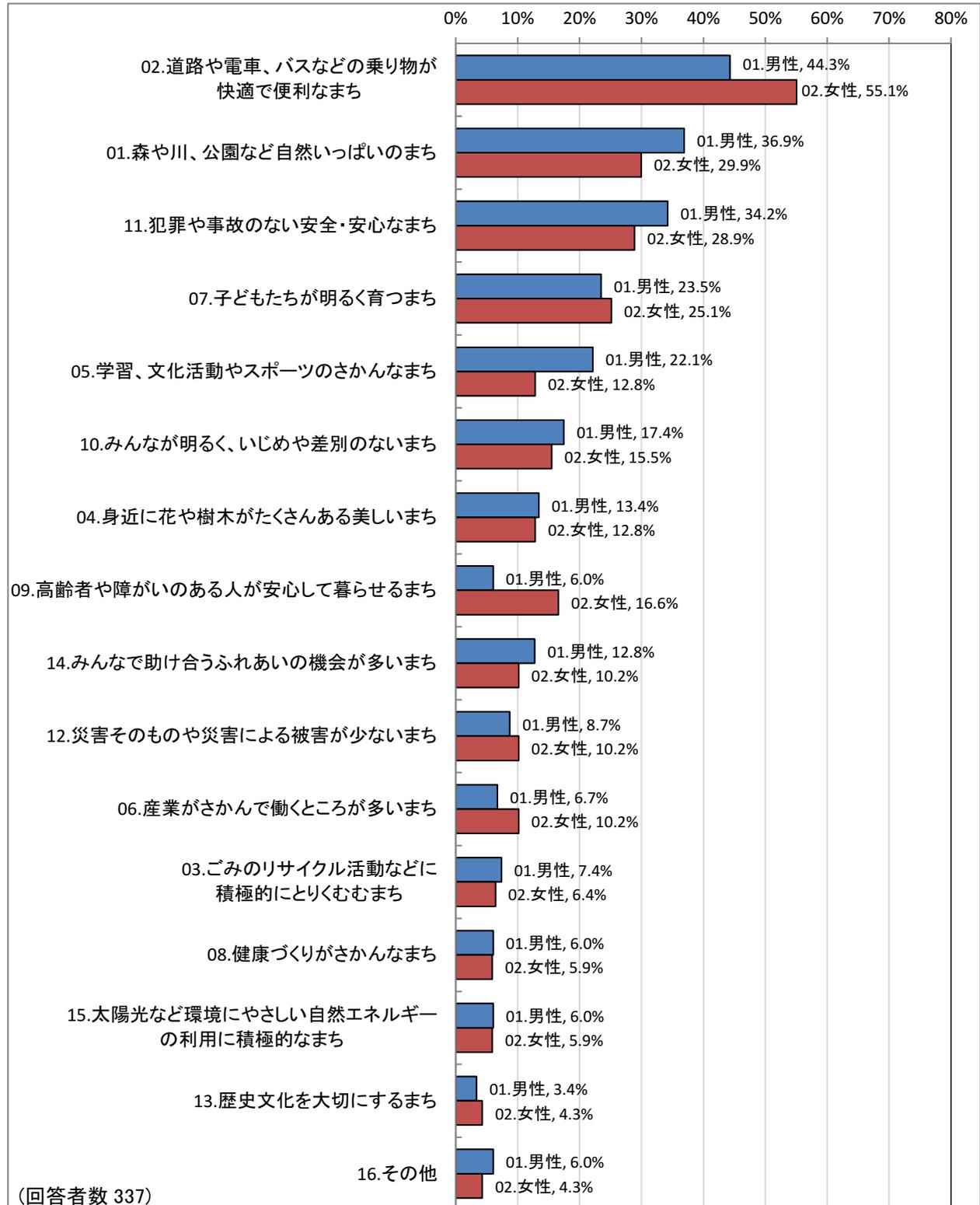
(2) 居住地区別の傾向

湖南省に住んでいる人も、湖南省以外に住んでいる人も「02. 道路や電車、バスなどの乗り物が快適で便利なまち」を選択する割合が最も高くなっています。

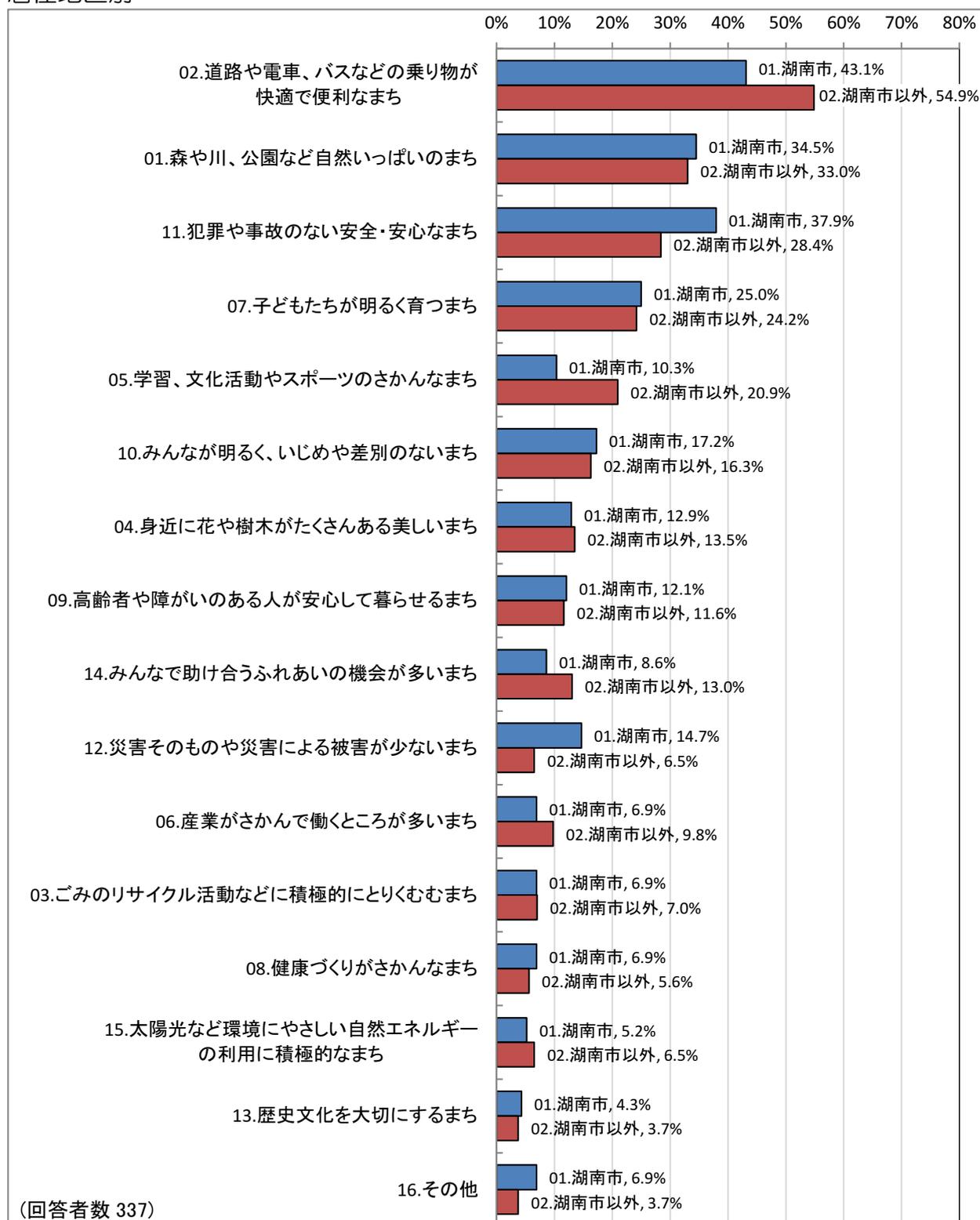
(3) 高校別の傾向

石部・甲西高校生共、「02. 道路や電車、バスなどの乗り物が快適で便利なまち」を選択する割合が最も高くなっています。

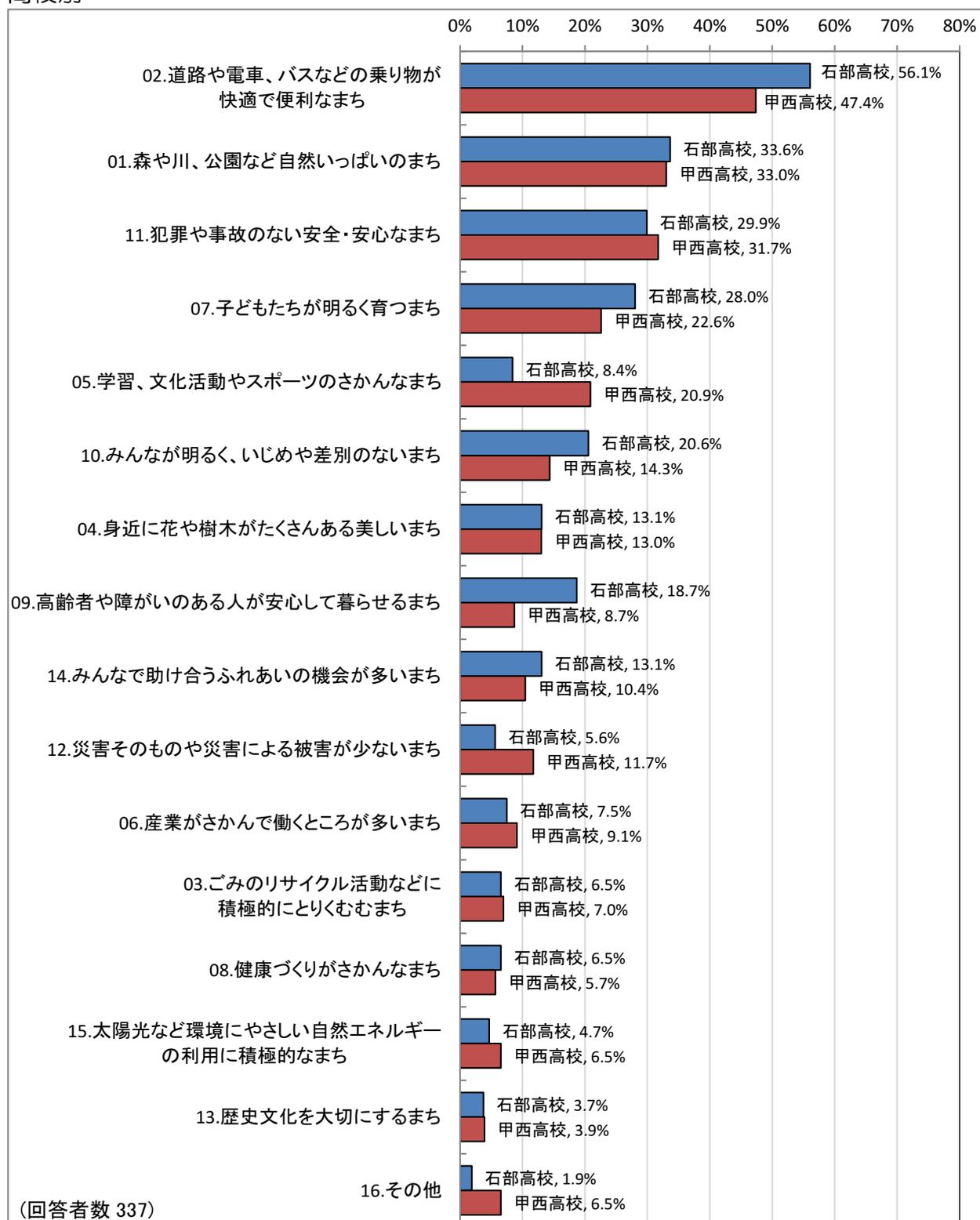
性別



居住地区別



高校別



4. 結婚や子どものことについて

1) 結婚について

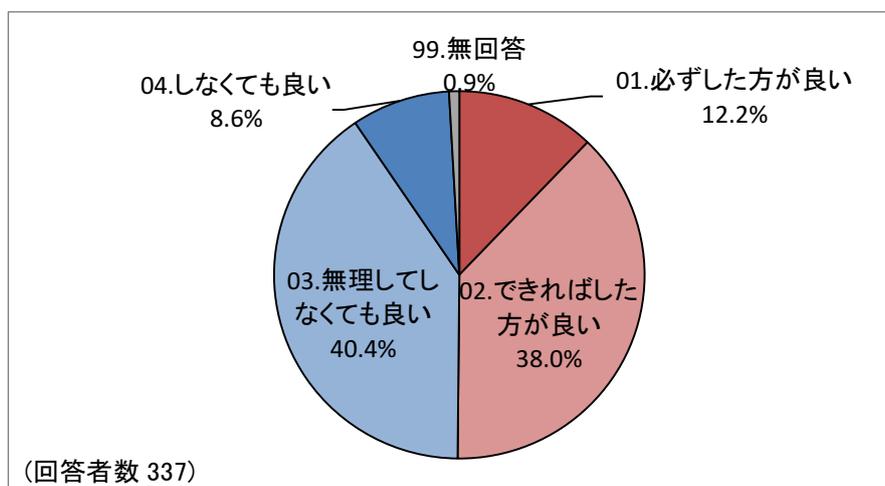
高校生

問4：あなたは、結婚についてどのように考えていますか。(1つ選択)

(1) 全体の傾向

結婚については、「01. 必ずした方が良い」が 12.2%、「02. できればした方が良い」が 38.0%で、合わせると回答者の 50.2%が「結婚した方が良い」と回答しています。

一方、「03. 無理にしなくても良い」と「04. しなくても良い」を合わせた「結婚しなくても良い」は、49.0%となっています。



小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

(2) 性別の傾向

男性は「01. 必ずした方が良い」の割合が 19.5%あるものの、女性は 6.4%と低くなっています。

(3) 居住地区別の傾向

湖南省に住んでいる人は、「03. 無理してしなくても良い」の割合が最も高くなっています。

湖南省以外に住んでいる人は、「02. できればした方が良い」と「03. 無理してしなくても良い」の割合が最も高くなっています。

(4) 高校別の傾向

石部高校生は、「02. できればした方が良い」と「03. 無理してしなくても良い」の割合が最も高くなっています。

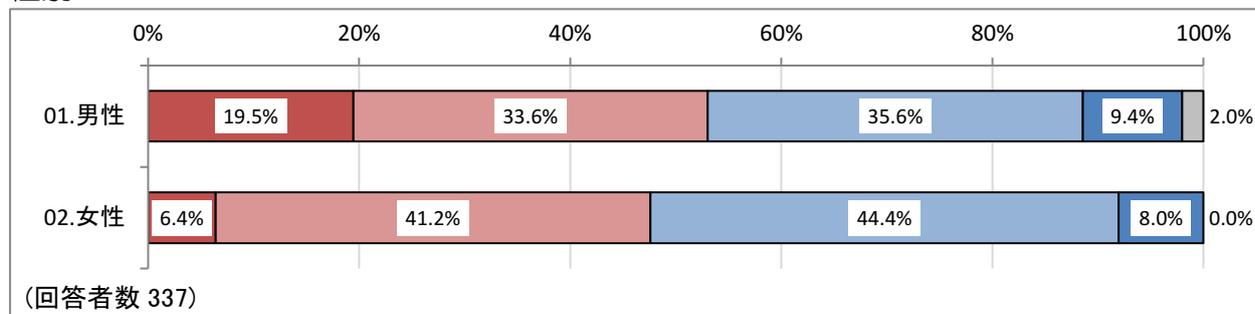
甲西高校生は、「03. 無理してしなくても良い」の割合が最も高くなっています。

凡例

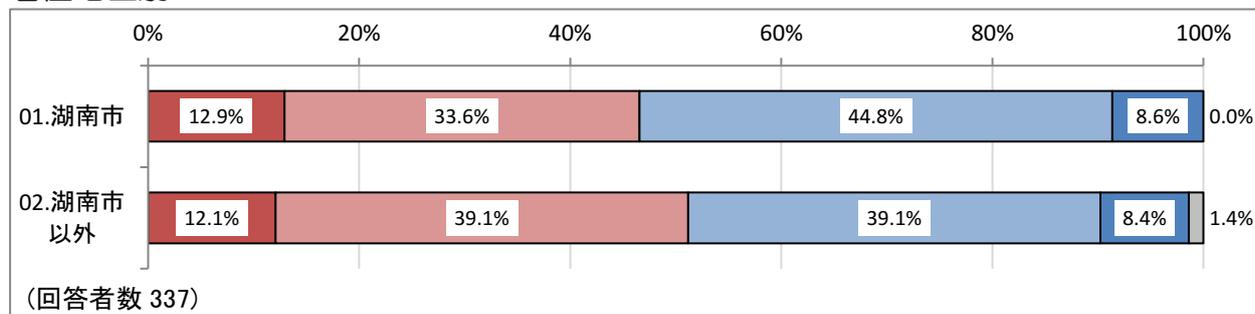
■ 01.必ずした方が良い ■ 02.できればした方が良い ■ 03.無理してしなくても良い ■ 04.しなくても良い ■ 99.無回答

小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

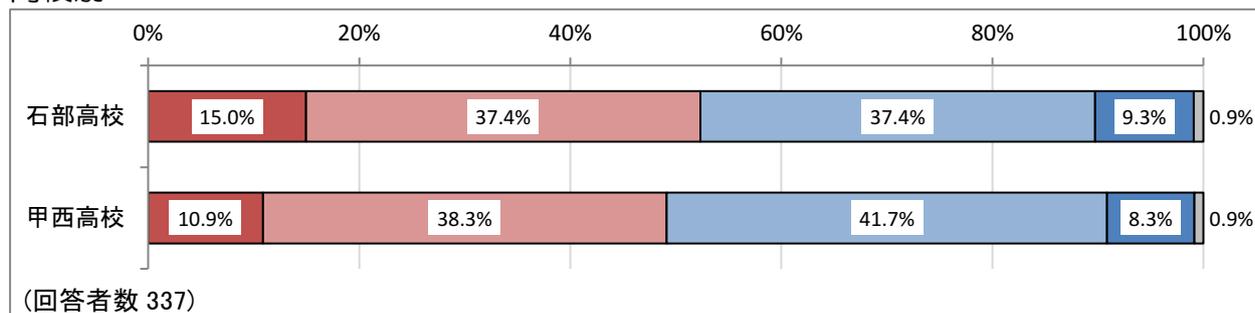
性別



居住地区別



高校別



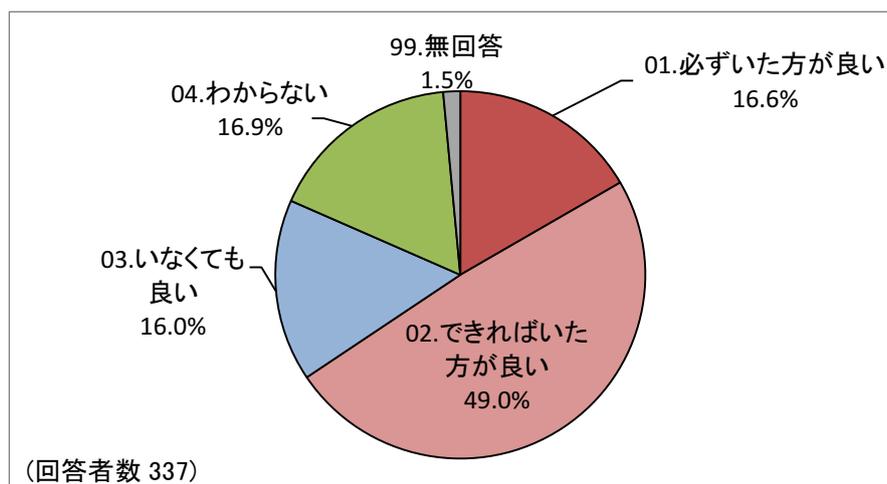
2) 子どものいる暮らしについて

高校生

問5：あなたは、子どものいる暮らしについてどのように考えていますか。(1つ選択)

(1) 全体の傾向

子どものいる暮らしについては、「01. 必ずいた方が良い」が 16.6%、「02. できればいた方が良い」が 49.0%で、合わせると回答者の 65.6%が「子どもがいた方が良い」と回答しています。



小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

(2) 性別の傾向

男女共「02. できればいた方が良い」の割合が最も高くなっています。

(3) 居住地区別の傾向

湖南省に住んでいる人も、湖南省以外に住んでいる人も「02. できればいた方が良い」の割合が最も高くなっています。

(4) 高校別の傾向

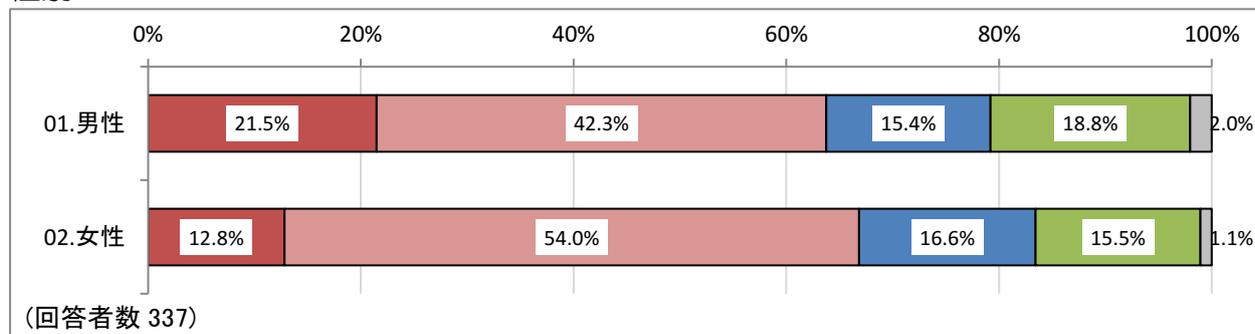
石部・甲西高校生共「02. できればいた方が良い」の割合が最も高くなっています。

凡例

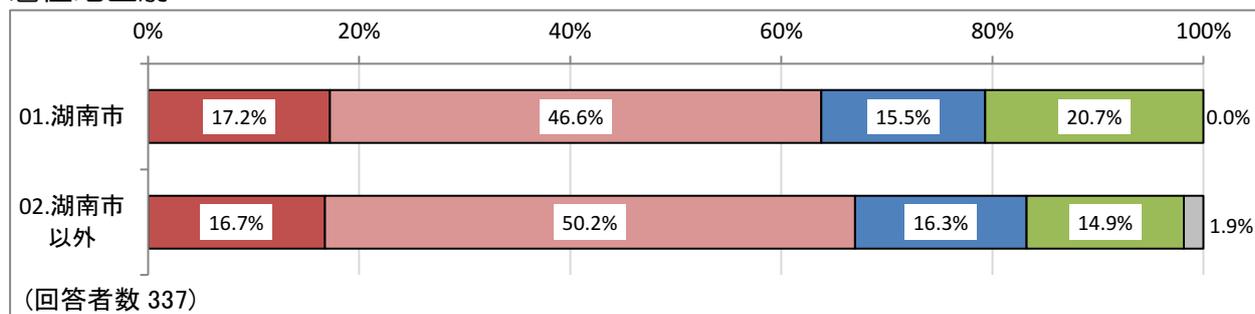


小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

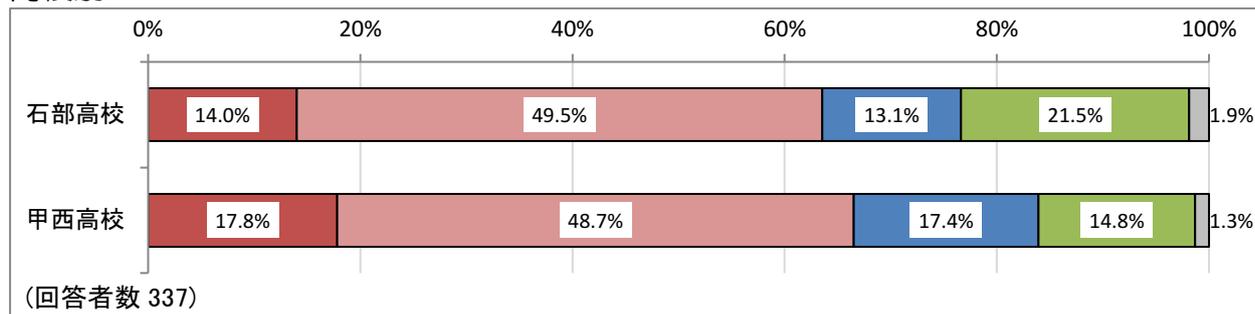
性別



居住地区別



高校別



5. 将来のことについて

1) 定住意向

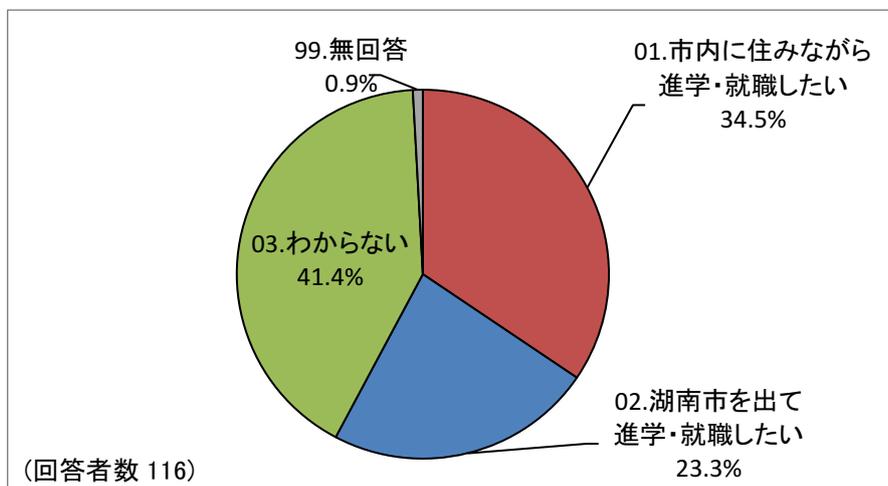
高校生

【湖南省にお住まいの方にかがいます。】

問6：あなたは、今後進学や就職するときに、湖南省に残りますか、それとも湖南省を出て行きますか。(1つ選択)

(1) 全体の傾向

今後進学や就職するときに、湖南省に住むことについては、「03. わからない」が最も多く、回答者の41.4%が選択しています。次いで「01. 市内に住みながら進学・就職したい」、「02. 湖南省を出て進学・就職したい」の順となっています。



小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

(2) 性別の傾向

男女共「03. わからない」の割合が最も高くなっています。

女性は男性よりも「02. 湖南省を出て進学・就職したい」を選択する割合が高くなっています。

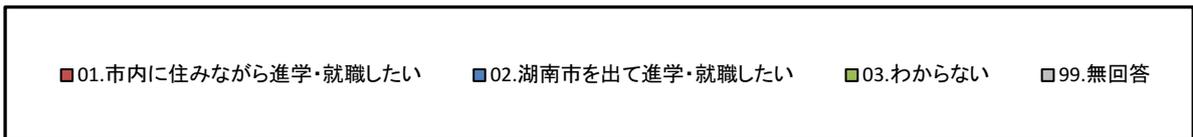
(3) 高校別の傾向

石部高校生は「03. わからない」の割合が最も高くなっています。

甲西高校生は、「03. わからない」と「01. 市内に住みながら進学・就職したい」の割合が最も高くなっています。

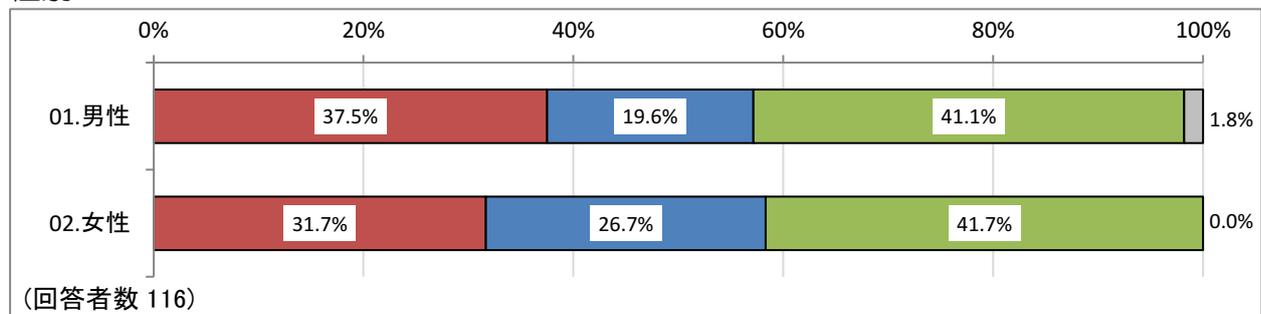
甲西高校生は「02. 湖南省を出て進学・就職したい」の割合が29.9%あるものの、石部高校生は14.3%と低くなっています。

凡例

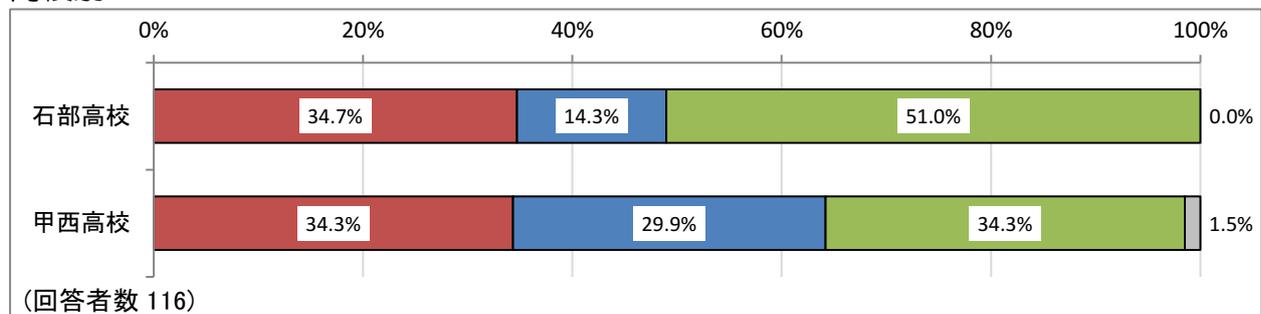


小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

性別



高校別



2) 定住意向理由

高校生 湖南省に住みたい理由

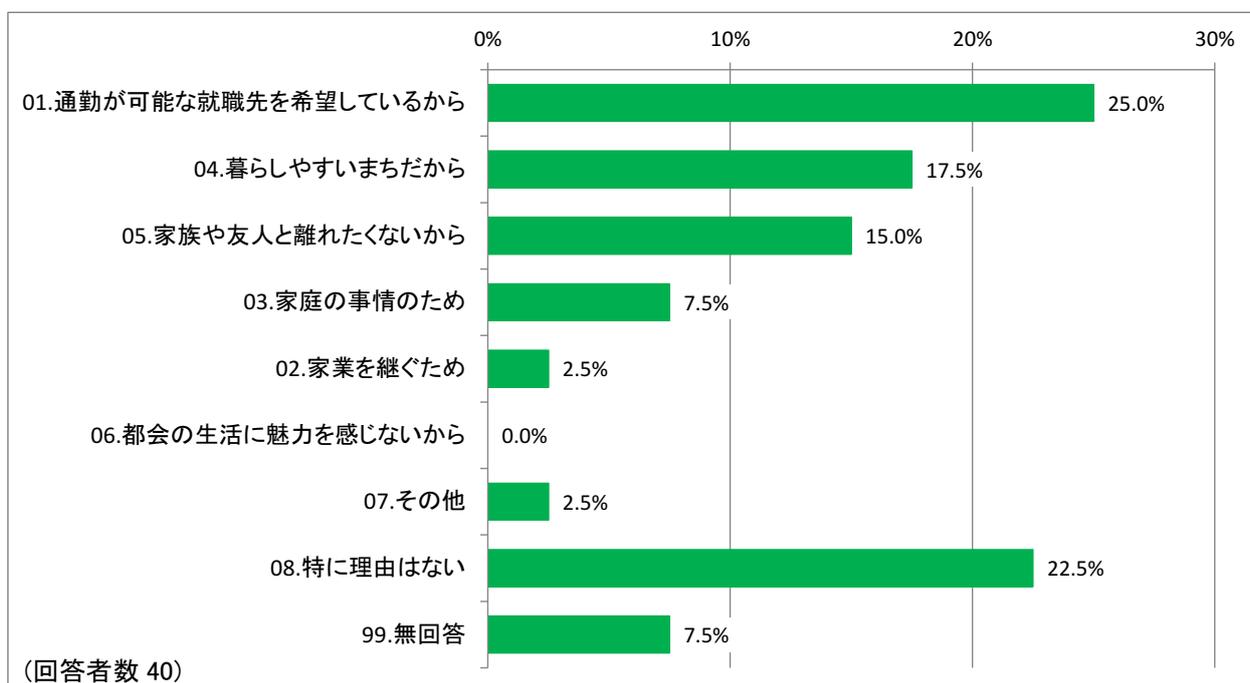
【問6で「1.市内に住みながら進学・就職したい」を選択した方にうかがいます。】

問6-1：あなたが（将来的に）市内に住みながら進学・就職したい理由は何ですか。（1つ選択）

(1) 全体の傾向

市内に住みながら進学・就職したい理由は、「01. 通勤が可能な就職先を希望しているから」が最も多く、回答者の25.0%が選択しています。次いで「04. 暮らしやすいまちだから」、「05. 家族や友人と離れたくないから」の順となっています。

一方、回答者の22.5%が「08. 特に理由はない」を選択しています。



(2) 性別の傾向

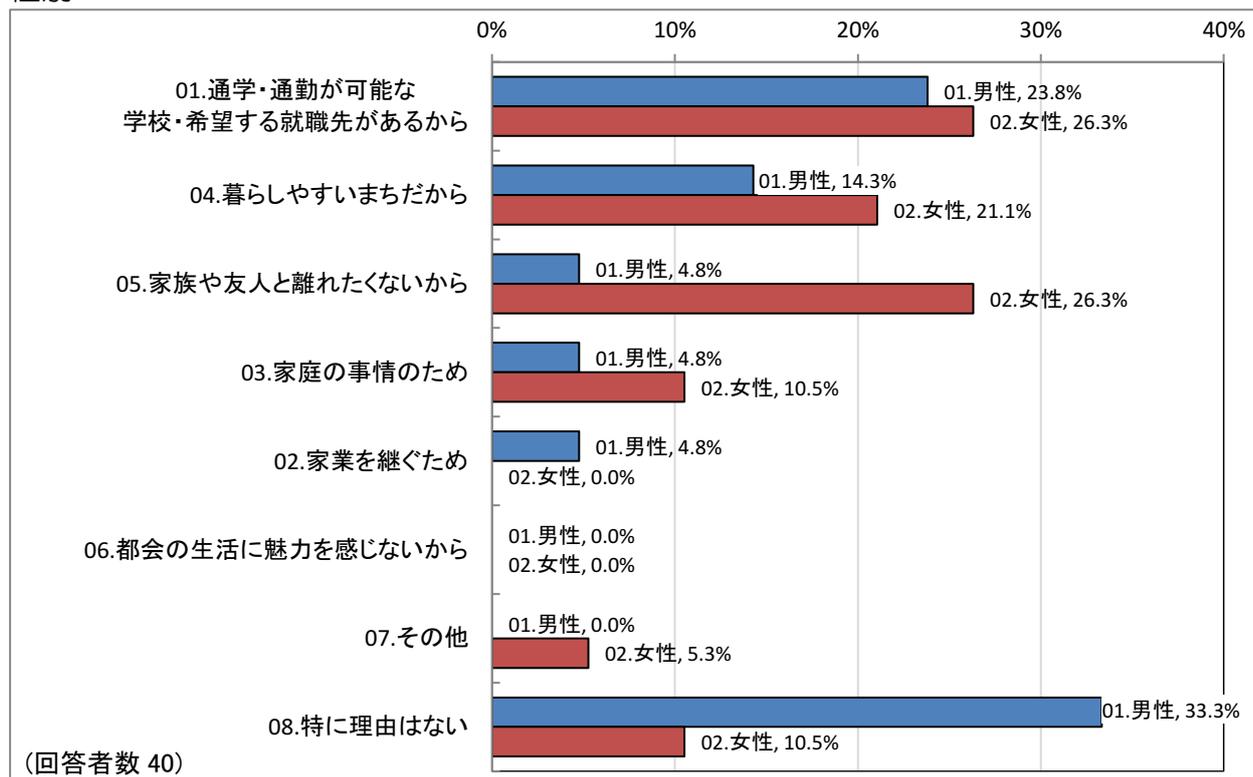
男性は「01. 通学・通勤が可能な学校・希望する就職先があるから」の割合が最も高くなっています。

女性は「01. 通学・通勤が可能な学校・希望する就職先があるから」と「05. 家族や友人と離れたくないから」の割合が最も高くなっています。

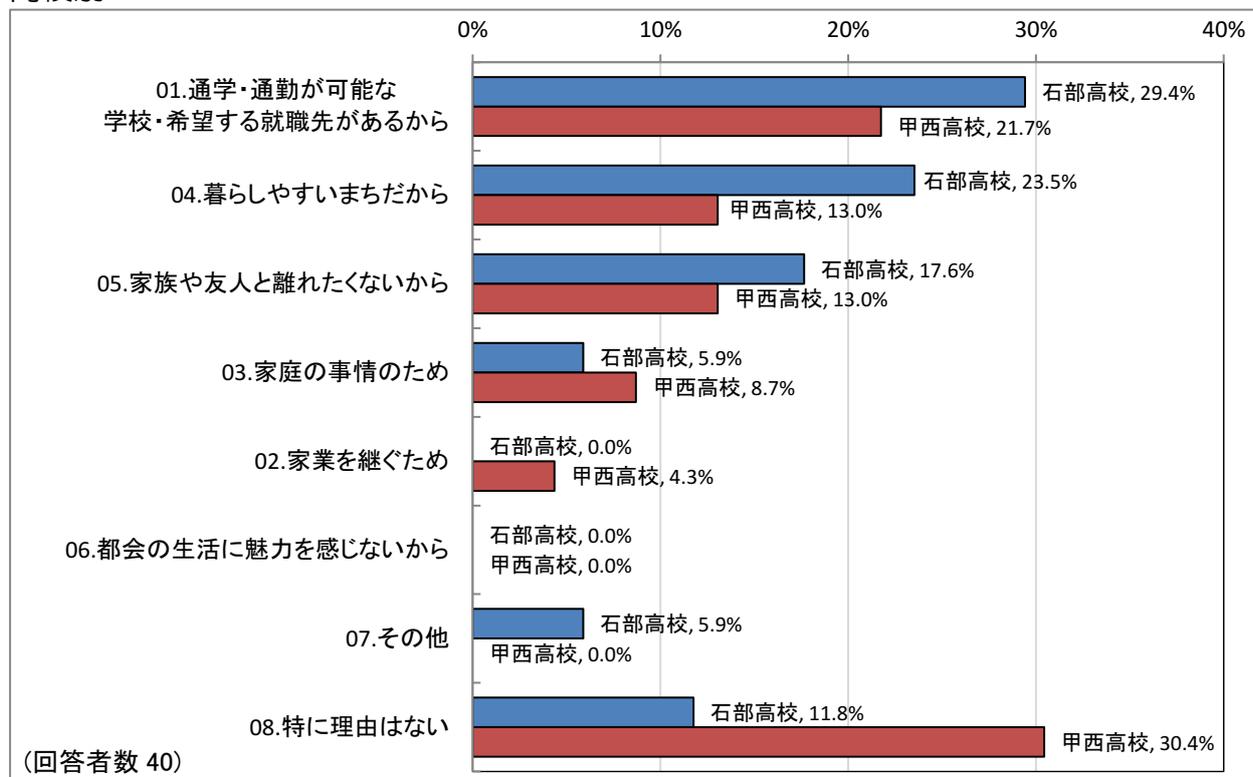
(3) 高校別の傾向

石部・甲西高校共に「01. 通学・通勤が可能な学校・希望する就職先があるから」の割合が最も高くなっています。

性別



高校別



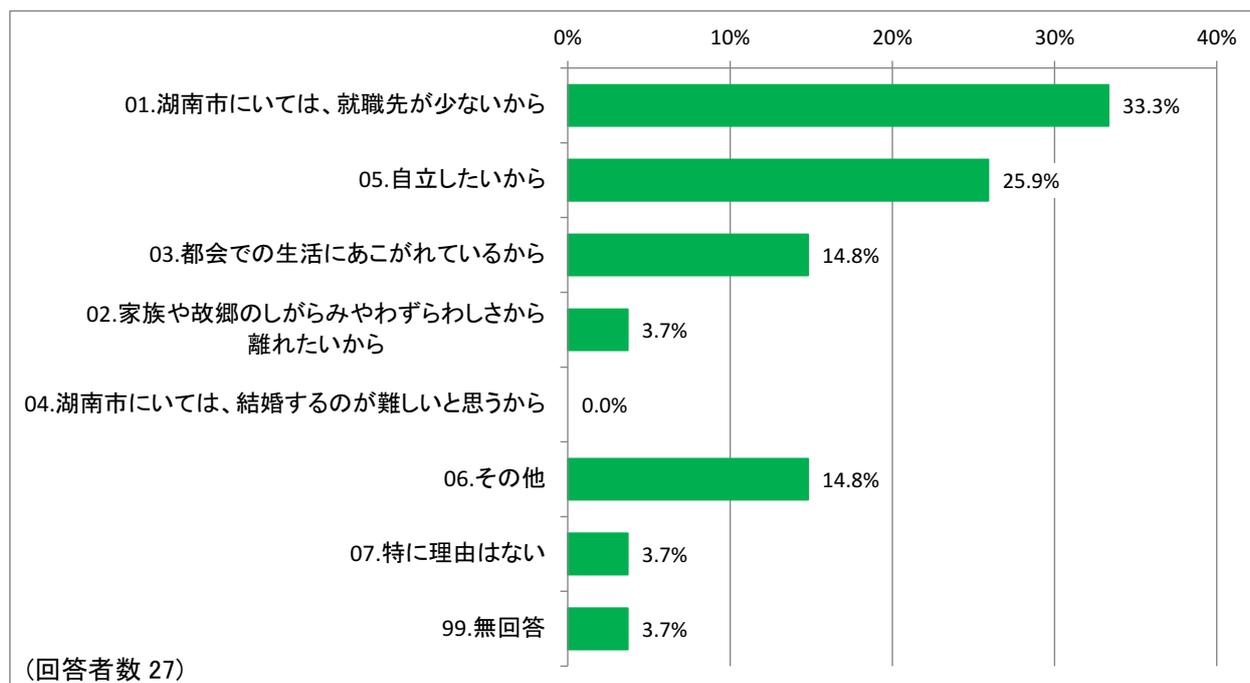
高校生

【問6で「2.湖南省を出て進学・就職したい」を選択した方にうかがいます。】

問6-2：あなたが(将来的に)湖南省を出る(出たい)理由は何ですか。(1つ選択)

(1) 全体の傾向

湖南省を出たい理由は、「01. 湖南省には、就職先が少ないから」が最も多く、回答者の33.3%が選択しています。次いで「05. 自立したいから」、「03. 都会での生活にあこがれているから」の順となっています。



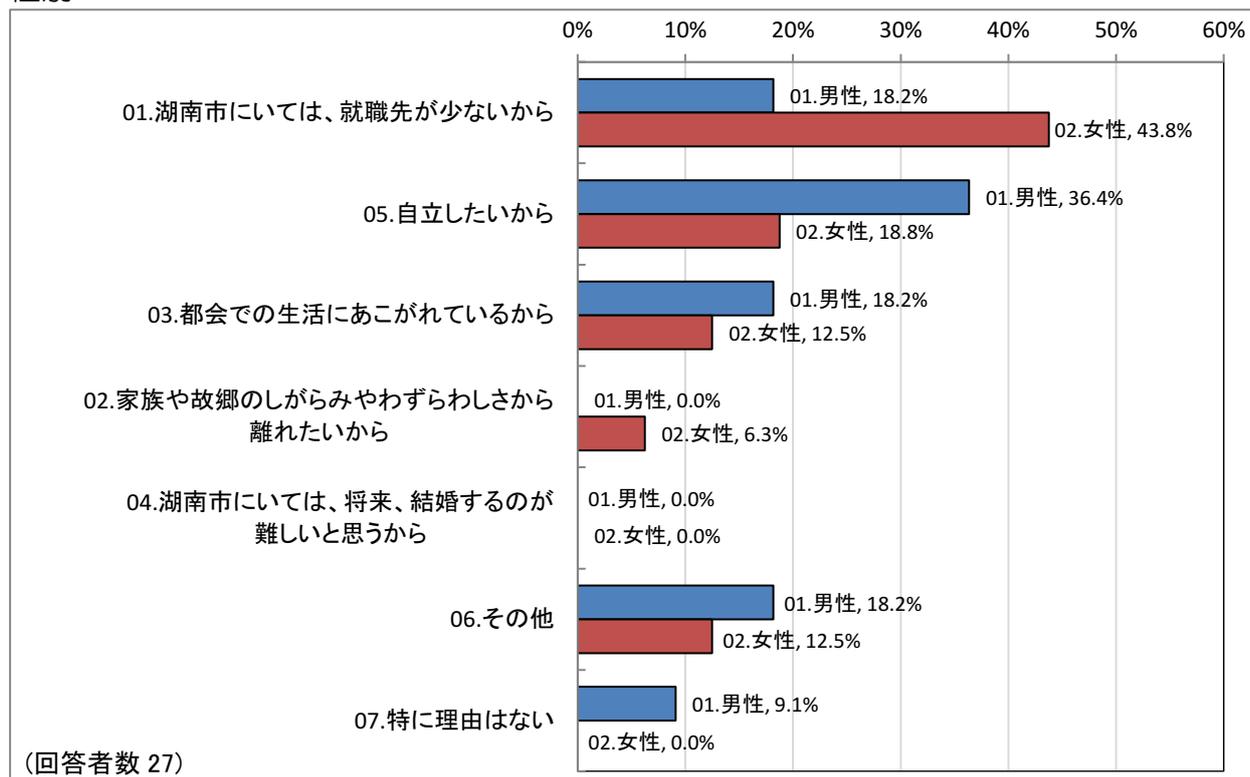
(2) 性別の傾向

男性は「05. 自立したいから」を、女性は「01. 湖南省には、就職先が少ないから」を選択する割合が最も高くなっています。

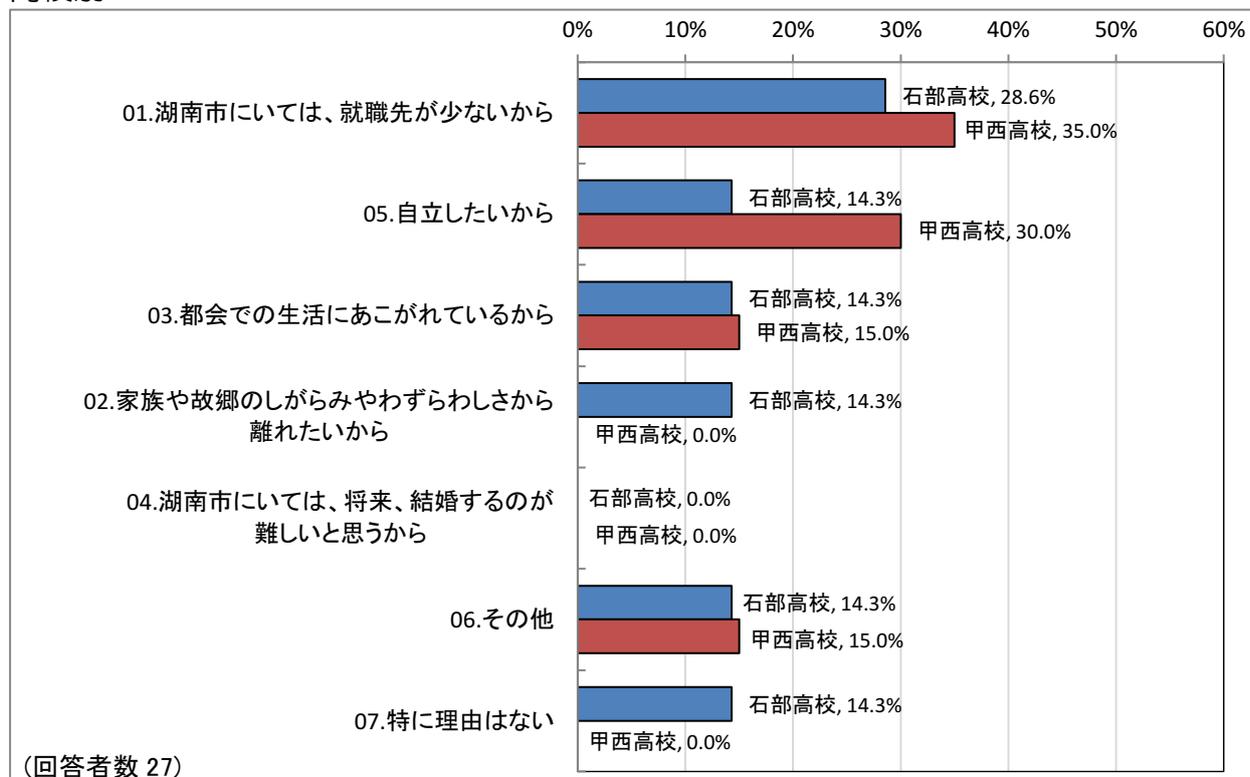
(3) 高校別の傾向

石部・甲西高校生共に「01. 湖南省には、就職先が少ないから」の割合が最も高くなっています。甲西高校は「05. 自立したいから」の割合も高くなっています。

性別



高校別



3) Uターン意向

高校生

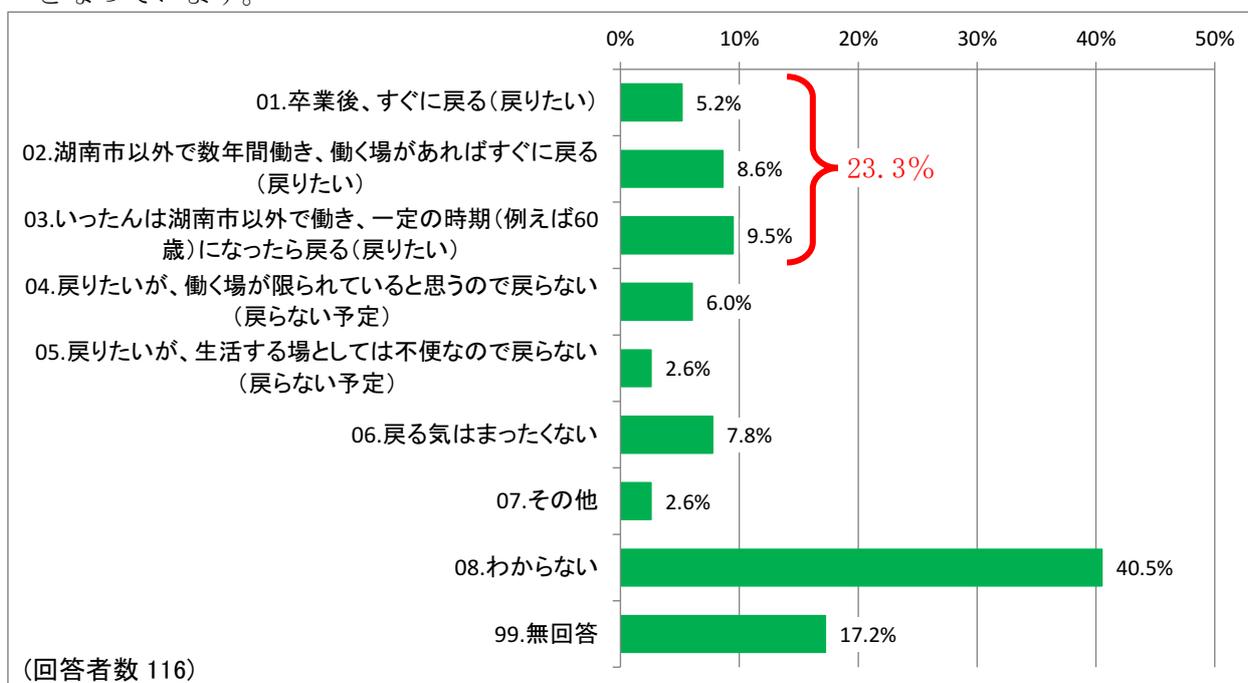
問7：あなたは、湖南省市を出て進学・就職した場合、湖南省市に戻ってきたいと思いますか。(1つ選択)

(1) 全体の傾向

湖南省市に戻る意向は、「03. わからない」が最も多く、回答者の40.5%が選択しています。

「01. 卒業後、すぐに戻る(戻りたい)」(5.2%)と「02. 湖南省市以外で数年間働き、働く場があればすぐに戻る(戻りたい)」(8.6%)、「03. いったんは湖南省市以外で働き、一定の時期(例えば60歳)になったら戻る(戻りたい)」(9.5%)を合わせた「湖南省市に戻る(戻りたい)」は23.3%となっています。

一方、「04. 戻りたいが、働く場が限られていると思うので戻らない(戻らない予定)」(6.0%)と「05. 戻りたいが、生活する場としては不便なので戻らない(戻らない予定)」(2.6%)、「06. 戻る気はまったくない」(7.8%)を合わせた「湖南省市に戻らない(戻らない予定)」は16.4%となっています。



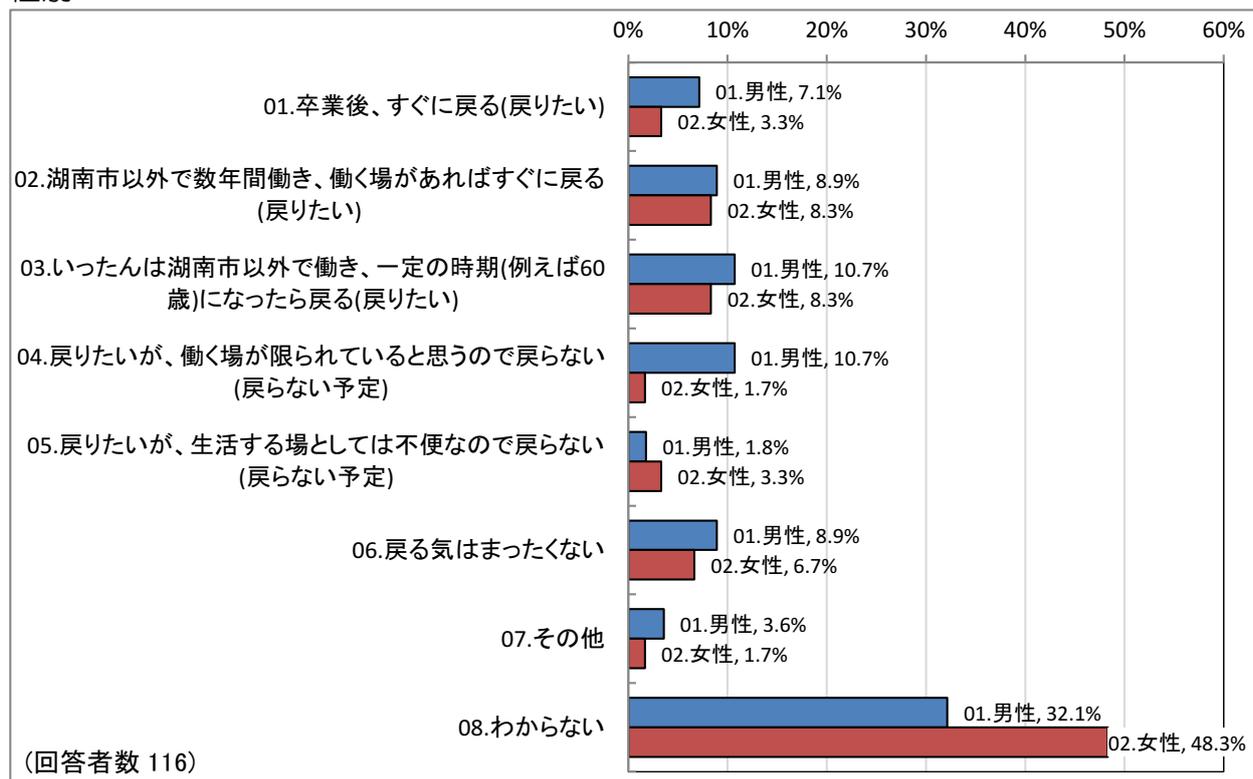
(2) 性別の傾向

男性は「03. いったんは湖南省市以外で働き、一定の時期(例えば60歳)になったら戻る(戻りたい)」、「04. 戻りたいが、働く場が限られていると思うので戻らない(戻らない予定)」の割合が高く、女性も「03. いったんは湖南省市以外で働き、一定の時期(例えば60歳)になったら戻る(戻りたい)」、「02. 湖南省市以外で数年間働き、働く場があればすぐに戻る(戻りたい)」の割合が高くなっています。

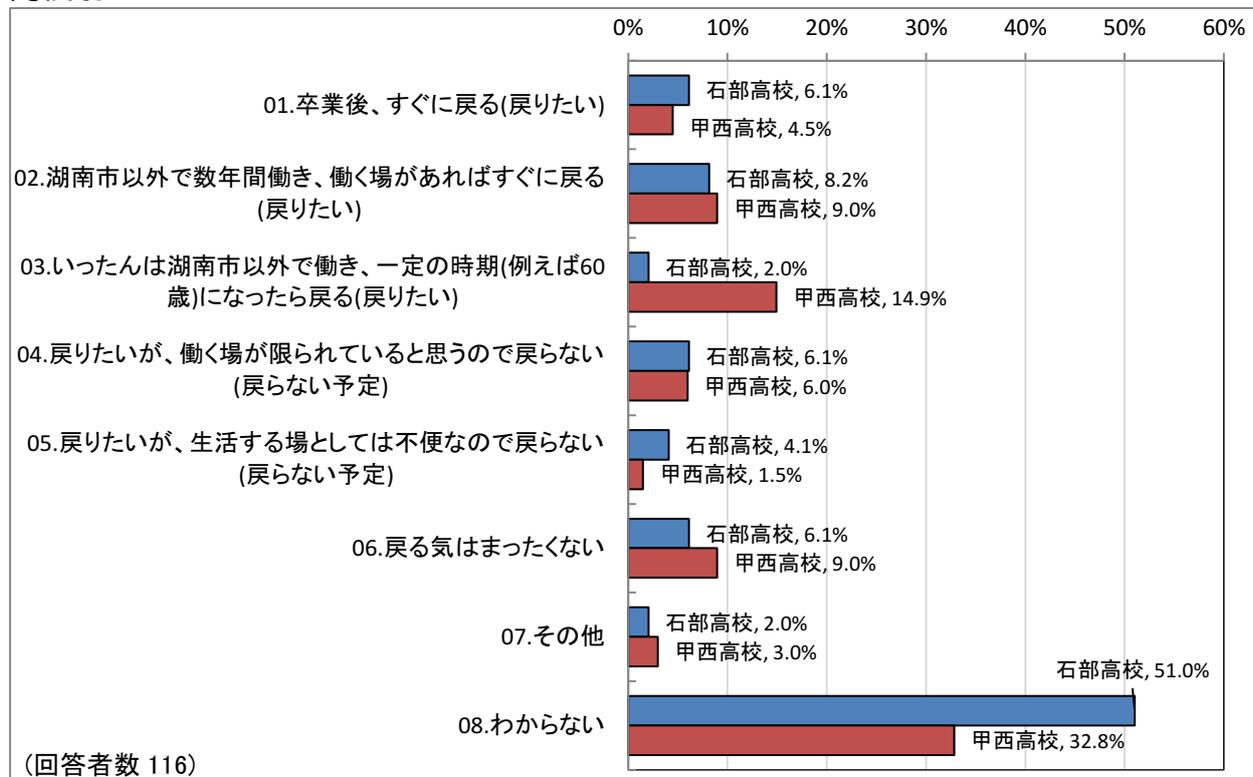
(3) 高校別の傾向

高校別に比較すると、石部高校は「02. 湖南省市以外で数年間働き、働く場があればすぐに戻る(戻りたい)」、甲西高校は「03. いったんは湖南省市以外で働き、一定の時期(例えば60歳)になったら戻る(戻りたい)」が最も多くなっています。

性別



高校別



6. 自由記述

高校生

自由記述については、61人の方から76件の意見が得られました。

大分類別にみると、「生活基盤」に関する意見が28件で最も多く、次いで「産業」に関する意見が多くなっています。また、小分類別にみると、「公共交通利便性向上、駅舎改善等」が最も多くなっています。

6つの目標	大分類	小分類	件数
みんなで共に進めるしくみをつくろう	人権尊重 1	外国人との交流	1
	自立・自助、共助 0		
うるおいのあるまちをつくらう	自然との共生 6	身近な公園等の整備等	4
		自然環境の保全（森林の保全等）	2
活気あるまちをつくろう	生活基盤 28	公共交通利便性向上、駅舎改善等	20
		安全に利用できる道路整備	1
		市街地整備（駅前整備・中心核づくり・土地利用等）	5
		住環境の整備・良好な景観形成	2
	産業 16	商業振興（大型店舗、飲食店、アミューズメント施設、コンビニ等）	16
ほっとする暮らしをつくらう	健康で暮らし続ける 0		
	互いに支え合う 1	地域で支え合う地域福祉の促進	1
	安心・安全 4	防犯対策（街灯の整備等）	2
		市民マナーの低下（ごみのポイ捨て等）	1
安全で安心なまちづくり	1		
いきいきとした暮らしをつくらう	市民文化を創造する 6	図書館の充実、スポーツ振興、まちづくり活動センター等	5
		学校教育・施設の充実、青少年の健全育成等	1
明日を拓くしくみをつくろう	行財政システム 4	行政の効率化（財政健全化等）	1
		まちづくりの展望の提示	2
		税金負担減	1
その他	その他 10	暮らしやすいまちづくり	1
		その他	9
合計			76

「第二次湖南省総合計画後期基本計画」
策定に係るまちづくりアンケート調査
結果報告書

令和2年（2020年）3月

発行者：湖南省 

〒520-3288 滋賀県湖南省中央一丁目1番地

TEL 0748-72-1290(代)

FAX 0748-72-3390(代)

URL : <https://www.city.shiga-konan.lg.jp/>

e-mail : info@city.shiga-konan.lg.jp